

はじめに

世界中が、現在、新型コロナウイルス感染症への対応に追われています。高等教育界においても、オンライン授業・会議などが実施されましたが、学生・教職員共に戸惑っているのが現状でしょう。わが国でも、デジタル化、オンライン化については、以前から議論が進められていましたが、人工知能（AI）などのデジタル技術の活用に課題があることが指摘されています。

最近の高等教育における大きな潮流は、「学修者本位の教育」であり、「個々人の可能性を最大限に伸長する教育」への転換が声高に叫ばれています。学修者本位の教育の観点から、一人ひとりの学生が自らの学びの成果（学修成果）として身につけたコンピテンシー（知識やスキルだけではなく、自律性、責任感、倫理観などを含めた能力）を自覚し、活用できることが求められています。学生が、その学修成果を自ら説明し、社会の理解を得ることも肝要です。

高等教育機関に対する期待は、「リカレント教育」です。日本では、少子高齢化が急速に進み、人生 100 時代を迎え、18 歳人口が減少している現状のもとで、わが国全体の生産性をあげるためにリカレント教育は喫緊の課題です。

以上のような認識を基盤として、当機構は、令和 3 年度文部省委託事業「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」として、次の三つの事業を提案し、採択されました。

- A FD・SD 事業「体系的な教職員研修プログラムの実用化に向けた改善・普及・展開」
専修学校の教職員が、多様な学生を対象とした生産性の高い学修を推進するために必要な知識・スキルを研修するためのプログラムを構築し、オンライン双方向授業を実施しました。
- B コンピテンシー事業「学校評価の充実等を目的とした資格枠組の共有化・職業分野別展開とその有効性の検証」
学修成果の可視化および国際間、教育セクター間における人材・教材の流動性を高める目的で作成した資格枠組について、複数の職業分野において共有化を図るとともに、有効性を検証しました。
- C ポートレート事業「職業実践専門課程版ポートレートの構築」
説明責任を果たし、情報公開を促進するために、学修に必要な情報を効率的に入手することが可能となり、職業教育の国際通用性にも配慮したデータベースシステムの構築に取り組みました。

本書は、以上のうち、令和 3 年度における A（FD・SD 事業）の主な成果として、カリキ

ュラム、シラバス、教材および調査を中心にまとめたものです。本事業は、専修学校教職員の「履修証明プログラム」修了を可能とする FD・SD プログラムとして実施しました。本プログラムが専修学校における専門職高等教育の質保証・向上に役立ち、さらに日本の生産性向上に貢献できることを願っております。

なお、本プログラムの開発・実施にあたっては、ハリウッド大学院大学のご協力をいただきました。また、多くの専修学校や専門職大学院の実施協力をいただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

令和4年3月
一般社団法人 専門職高等教育質保証機構
FD・SD 事業 実施委員会
委員長 川口 昭彦

目次

1 本事業の概要	1
2 本事業の実施内容	2
2.1 本事業の背景.....	2
2.2 本事業の目的と方法.....	3
2.3 本事業の特長.....	4
3 2年目（令和3年度）の本事業の取組	6
3.1 本事業の流れと令和3年度の取組.....	6
3.2 令和2年度事業結果の詳細分析	7
3.3 令和2年度事業結果を踏まえたパッケージ改善.....	46
4 履修証明プログラムの構築	56
4.1 ご案内と受講申込み方法	56
4.2 受講案内.....	56
4.3 シラバス	58
4.4 受講の手引き.....	58
4.5 修得レポート課題	58
5 履修証明プログラムの実施と評価	59
資料1 各講座の配布資料.....	60
A1 MDプログラムと資格枠組	60
B1 学修成果指標（美容分野）	72
B2 ビューティビジネスの国際化.....	80
C2 経営理念研究	99
C3 日本的経営論 ～経営の美学～	102
C5 企業を永続的に発展させる理念経営.....	109
資料2 受講の手引き（オンライン学習用）	152

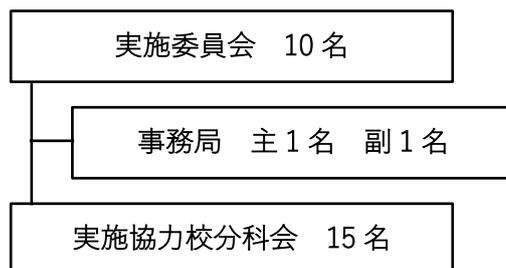
【実施委員】

氏名	所属・職名	役割等
川口 昭彦	専門職高等教育質保証機構代表理事	実施委員長
山中 祥弘	学校法人メイ・ウシヤマ学園理事長	実施委員
小林 光俊	学校法人敬心学園理事長	実施委員
岡本比呂志	全国専修学校各種学校総連合会副会長	実施委員
小林 浩	リクルート進学総研所長	実施委員
池淵 淳	松江理容美容専門大学校長	実施委員
堤下 隆司	修成建設専門学校校長	実施委員
宇佐見眞也	ECC コンピュータ専門学校校長	実施委員

【実施協力校分科会】

団体名、機関名等	具体的な協力方法
ハリウッド大学院大学	実証講座受講者または講師参加
早稲田文理専門学校	実証講座受講者または講師参加
ハリウッド美容専門学校	実証講座受講者または講師参加
星槎大学大学院教育実践研究科	実証講座受講者または講師参加
高崎動物専門学校	実証講座受講者または講師参加
中央情報専門学校	実証講座受講者または講師参加
アリアーレビューティー専門学校	実証講座受講者または講師参加
ECC 国際外語専門学校	実証講座受講者または講師参加
ECC コンピュータ専門学校	実証講座受講者または講師参加
ECC アーティスト美容専門学校	実証講座受講者または講師参加
修成建設専門学校	実証講座受講者または講師参加
高津理容美容専門学校	実証講座受講者または講師参加
大阪ハイテクノロジー専門学校	実証講座受講者または講師参加
朝日医療大学校	実証講座受講者または講師参加
専門学校岡山情報ビジネス学院	実証講座受講者または講師参加
松江理容美容専門大学校	実証講座受講者または講師参加
四国医療専門学校	実証講座受講者または講師参加

【事業の推進体制】



1 本事業の概要

本事業では、3年計画で、専門学校の教職員を対象としたFD（Faculty Development）とSD（Staff Development）における履修証明書の発行も可能な体系的研修プログラムの構築方法をパッケージ化し、実用化を進める。

初年度は、枠組(パッケージ)の構築と実際の履修証明プログラムを実施し、2年目は、枠組の改善と他の高等教育機関（専門学校）による教職員研修プログラムの企画・実践へと枠組の展開を試み、3年目は、さらなる改善と分野固有の研修プログラムの開発へと枠組の応用を試みる。3年間の取組を通じて、専門学校の教職員を対象とした研修プログラムの多様な実用化を実現する計画である。

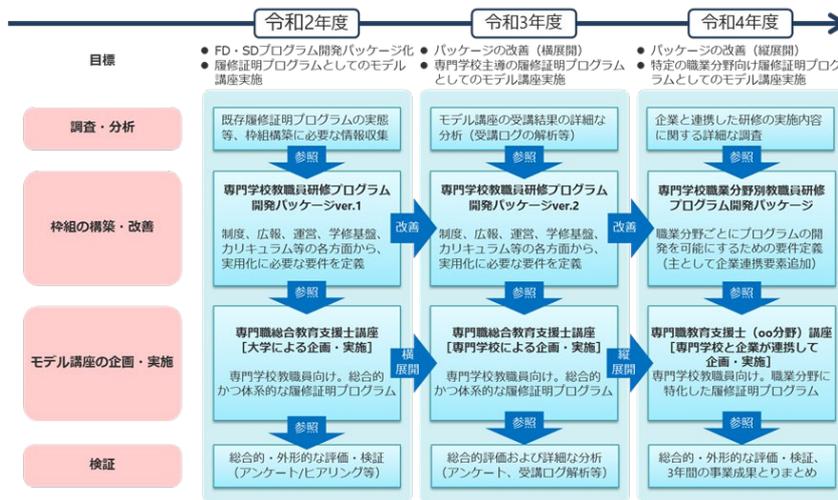


図1 本事業の全体計画

この取組の先駆けとして、初年度（令和2年度）では以下のプロセスで事業を実施した。

① 履修証明プログラム実態等の調査

既存の履修証明書発行プログラムの実態等、実用的な要件定義のために有効な事例を収集する。

② 実用化のための枠組構築

制度、広報、運営、学修基盤、カリキュラム等の各方面から要件定義を行い、「専門学校教職員研修履修証明プログラム」のパッケージを構築する。

③ モデル講座の開発・実施

構築したパッケージに基づき、専門学校教職員の総合的な資質能力向上を目的とした履修証明プログラム「専門職教育支援士」講座を開発・実施する。

④ 展開方向性の検討

①～④のプロセスを総括し、パッケージ機能の有効性、パッケージの展開の方向性等について検証し、本報告書を取りまとめた。その詳細について以下の章で述べる。

2 本事業の実施内容

2.1 本事業の背景

現在、高等教育機関では学校種を問わず「マネジメント」、「内部質保証」の重要性がクローズアップされ、これらに対応する教職員の資質能力向上、すなわち、FD（Faculty Development）とSD（Staff Development）に対するニーズがより増している。

もともと、教育基本法では、

「…教員については、その使命と職責の重要性にかんがみ、その身分は尊重され、待遇の適正が期せられるとともに、養成と研修の充実が図られなければならない。」（教育基本法第9条2項、2006年改正）

として、FDの必要性がうたわれている。

加えて、大学の場合、大学設置基準の2017年における改正により、

「大学は、当該大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。」

という一文が加わり（第42条3項）、学校の職員についてもSDの必要性がうたわれるようになってきた。

以上のことは専門学校においても同様である。

専修学校職業実践専門課程の場合、「専修学校の専門課程における職業実践専門課程の認定に関する規程（平成25年文部科学大臣告示第133号）」において、その認定要件として、

「専攻分野に関する企業、団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること」（第2条2項）、「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること」（第2条5項）

が挙げられている。

現在、1,000を超える専門学校が職業実践専門課程の認定校となり、同数以上の専門学校が高等教育の修学支援新制度の機関認定要件をクリアしている。

この現状において、当該専門学校では、継続的な内部質保証活動を推進し、「職業実践専門課程のフォローアップ制度に定める」、「高等教育の修学支援新制度が求める入学者要件管理を進める」などの対応が求められている。

また、専門職高等教育機関として学修成果をあげ続けると共に、これらの対応を継続するためには、教職員の適切かつ日常的な取組が求められている。

従って、教職員の資質能力の維持・向上には不断の努力が必要であり、それを効率的に進めるには、標準的なFD・SDプログラムの枠組とその実用化のスキームが不可欠である。

2.2 本事業の目的と方法

本事業は、以上のような背景認識のもと、履修証明書制度などを活用して専門学校教職員のモチベーションアップを図り、適切なカリキュラムによって効率的かつ効果的に資質能力を向上させる仕組みの構築を目的とした。

この目的を達成するために、本事業では、専門学校教職員向けの総合的かつ体系的な研修プログラムを実用化する枠組（パッケージ）を構築し、モデル実証的な観点から、その枠組に合った履修証明プログラムを開発・実践する。

実用化の枠組については、主として、制度面、広報面、運営管理面、学修基盤面、カリキュラム面から検討を進めて文書化し、その内容を公開して普及を図る。

以上のプロセスは、令和元年度事業において当機構が実施したFD・SDプログラム実証講座の成果を基礎とし、専門学校および専門学校関連団体、企業と連携しながら推進する。

本事業は3年計画で進め、1年目では上記枠組の構築と総合的かつ体系的な履修証明プログラムをモデル講座として実施した。以降、2年目および3年目では枠組の改善・精緻化を進めるとともに、2年目には他の高等教育機関（専門学校）による教職員研修プログラムの企画・実践に横展開し、3年目には分野固有の研修プログラムの開発に応用する縦展開を図る。

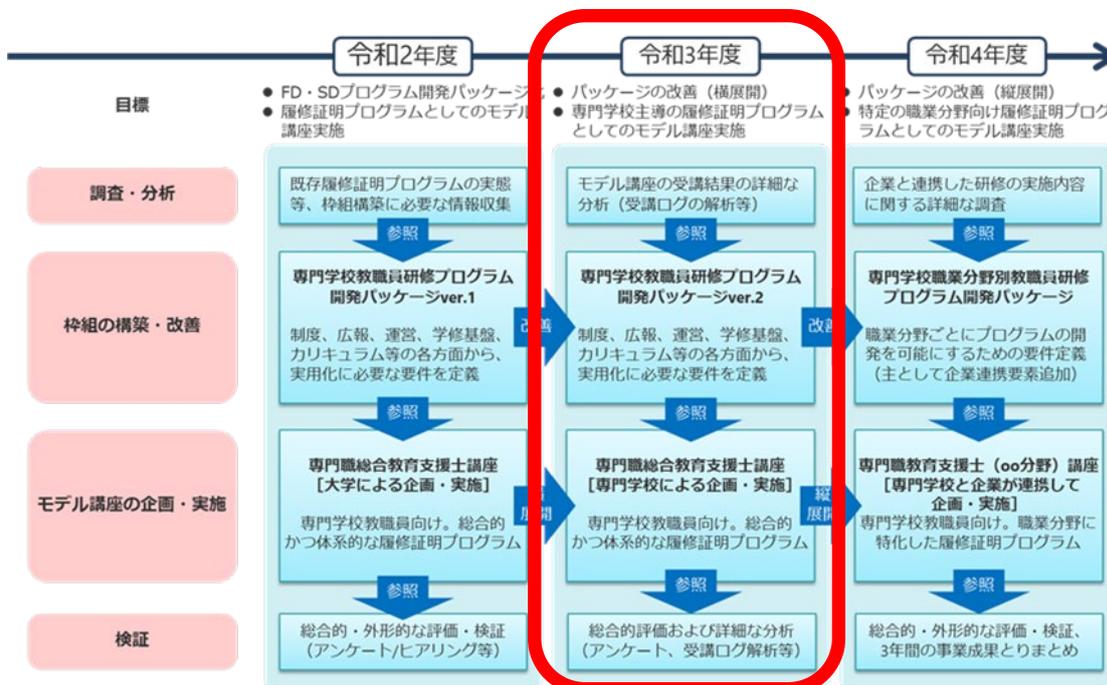


図2 本事業の全体計画と令和2年度の計画

表1 本事業のスケジュール

<令和2年度>
<ul style="list-style-type: none"> ・履修証明プログラム調査 ・パッケージ化（初期） ・履修証明プログラム（モデル講座）開発（大学主導） ・履修証明プログラム（モデル講座）実施 ・パッケージの検証
<令和3年度>
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度モデル講座の詳細分析 ・パッケージ化（改善） ・履修証明プログラム（モデル講座）開発（専門学校主導） ・履修証明プログラム（モデル講座）実施 ・パッケージの検証
<令和4年度>
<ul style="list-style-type: none"> ・特定分野を対象としたパッケージ開発のために必要な調査 ・パッケージ化（職業分野別研修） ・履修証明プログラム（モデル講座）開発（特定分野） ・履修証明プログラム（モデル講座）実施 ・パッケージの検証

2.3 本事業の特長

本事業の特長として、次の点を挙げることができる。

- 専門学校教員養成の実績を持つ高等教育機関が連携するものであること
- 多岐に渡る分野の専門学校の協力を得ることにより実効性の高いプログラム開発を期待できること
- 質保証機関が受託することで、専門学校教員に求められる質リテラシーを身につけた成果を期待できること
- 職業教育マネジメント力育成の視点が加えられていること

なお、当機構からは、本事業を含めて次の三つの事業を提案している。

- A FD・SD（授業改善・業務改善）をテーマとして、
体系的な教職員研修プログラムの実用化に向けた改善・普及・展開（本事業）
- B 学修成果をテーマとして、
学校評価の充実等を目的とした資格枠組の共有化・職業分野別展開とその有用性の検証

C 情報公開をテーマとして

職業実践専門課程版ポートレートの構築（ポートレート事業）

この三つの提案事業は、職業実践専門課程の質保証・向上に直接・間接に貢献しようとする意味において共通性があることはもとより、A～Cの各事業は互いの成果を相乗的に高め合う位置づけにあるといえる。

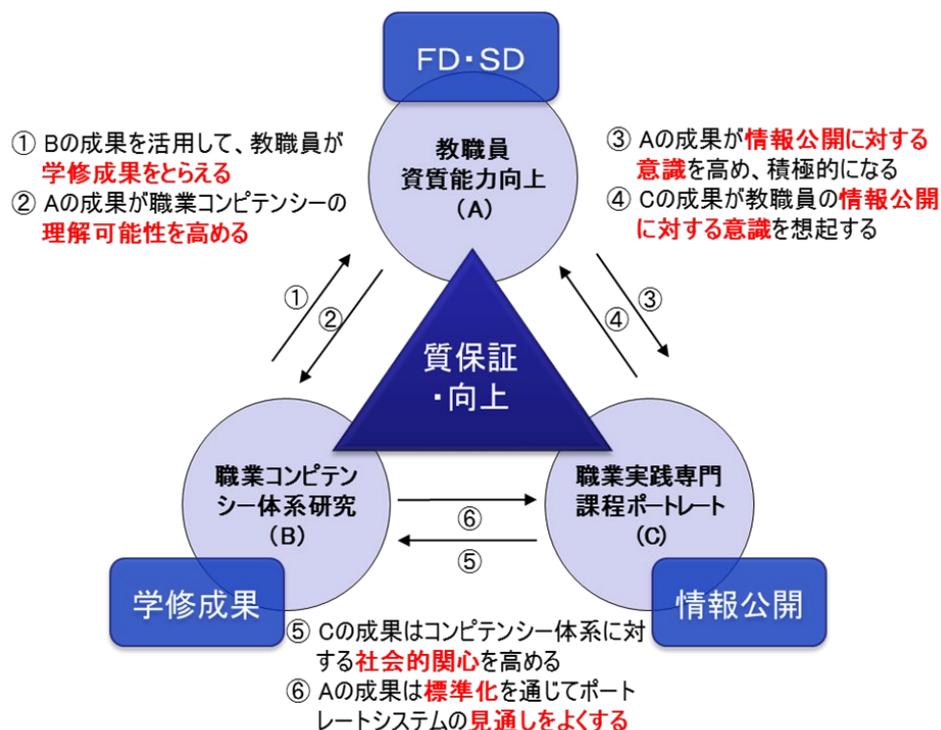


図3 本事業を含めた三つの事業の連携

さらに、委託事業を進めるにあたっては、共通の協力校を設定した試行・実験講座等を行うことや、委員会や成果報告会の合同開催によって、質保証・向上活動の相乗的推進や旅費の節減などを期待できる。

3 2年目（令和3年度）の本事業の取組

3.1 本事業の流れと令和3年度の取組

図2の令和2年度の部分を中心に事業の全体の流れをさらに詳しく描くと、図4のようになる。

本事業における取組は、すでに2.2で述べたように、大きく次の4つの段階、すなわち、①調査、②枠組構築（パッケージ化）、③モデル事業化、④検証と展開（令和3年度、令和4年度）に分けて構想し実施した。

令和2年度事業は、3年計画の初年度として、事業の骨格となる「プログラム開発パッケージ」の構築とそれに基づく「モデル講座」の実施に重きを置いた。また、それら骨格事業の前後に位置する調査や検証についても、2年目以降の事業につながるよう取り組んだ。

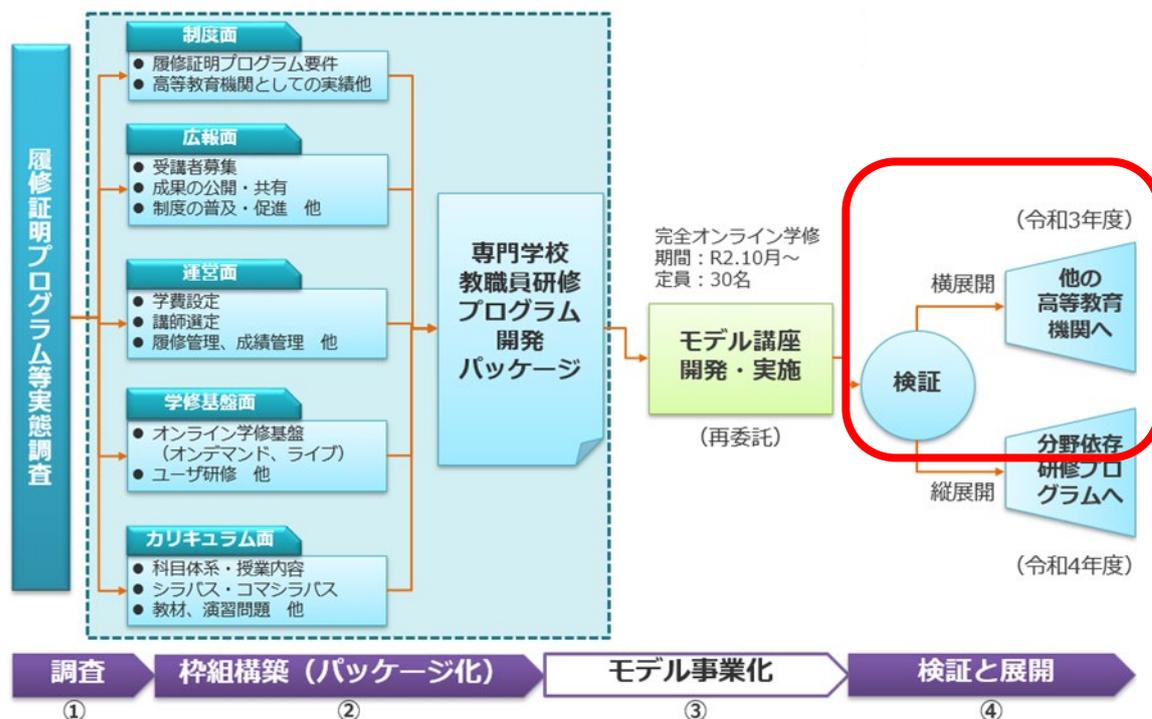


図4 本事業の流れと各年度の取り組み

「プログラム開発パッケージ」の構築においては、図4に示した、制度、広報、運営、学修基盤、カリキュラム等の各方面から要件定義を行い、「専門学校教職員研修履修証明プログラム」のパッケージを構築する。

枠組構築のポイント（定義すべき要件項目）は次のとおりである。

- ・制度面

履修証明プログラムとしての要件、高等教育機関としての実績その他についての要件

・ 広報面

受講者募集方法、成果の公開・共有の内容・方法、制度の普及・促進策その他

・ 運営面

学費設定、講師選定、履修管理、成績管理その他

・ 学修基盤面

オンライン学修基盤要件（オンデマンド、ライブ授業）、ユーザ研修の内容・方法その他

・ カリキュラム面

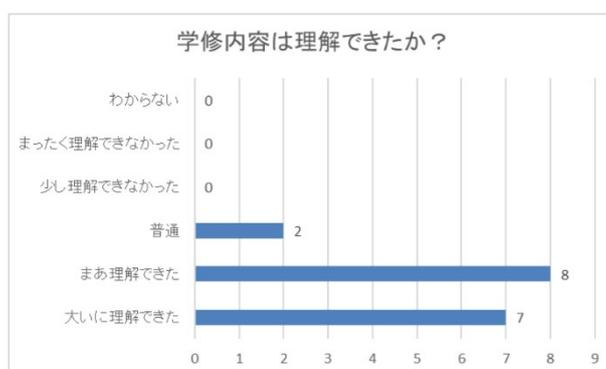
科目体系・授業内容、シラバス・コマシラバスの内容・形式、教材の内容・形式、演習問題の内容・形式その他

3.2 令和2年度事業結果の詳細分析

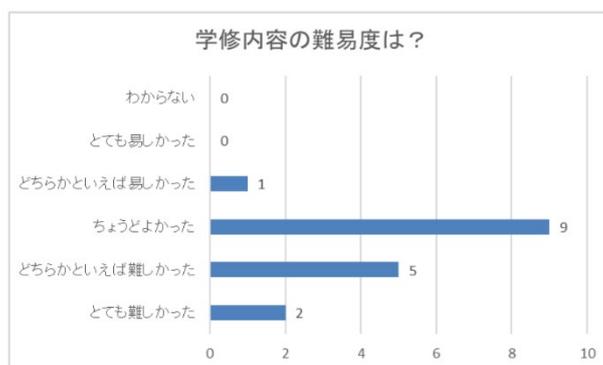
令和3年度の事業に取り組むのに先立って、令和2年度事業結果を詳細に分析することから開始した。令和2年度事業では、科目ごとにアンケートをとる仕様になっているので、そのアンケート結果を分析した。以下はその結果である。

A1 プロフェッショナルディベロップメント

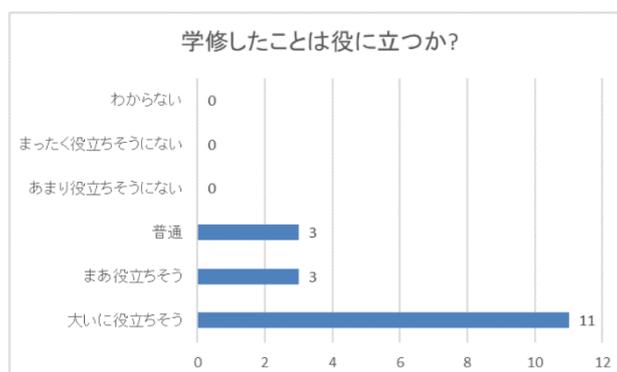
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

担当の先生を始め、他校の先生たちの感想や意見を聞くことで、自己の視野も広がり学びになりました。ありがとうございました。

専門学校の教員は、基本的に教育者としての指導を受けていない。(大学で教職課程を受けている方を除く) 専門知識のみで教員となっている自分にとっては目の覚める思いでした。ありがとうございました。

改めて考えさせられることも多々あり非常に勉強になりました。また、オンラインでの学修も他の教員の先生方の意見や感想も聞くことができ非常に参考になりました。ありがとうございました。

大野先生、三輪先生、ご教授ありがとうございました。ユーチューブ動画授業では正直、抽象的な対象内容のため十分理解できている自信がありませんでした。しかし、ZOOM オンライン授業で実際に先生方の実体験を交えた具体例をお聞きしたり、受講生の質疑応答を通じて理解が進みました。専門学校教員は真のプロフェッショナルになれると言えるのか、真のプロフェッショナルに近づくにはどのような努力や工夫が必要なのか、自分なりに考え直す良い機会になりました。

分かっているようで全然分かっていなかったのがより明確で分かりやすかったです。ありがとうございました

テクニク的な授業力の向上に目が行きがちでしたが、教育観や教員としての資質、能力の大事さを改めて思い出すことができました。日々の業務に追われておろそかになりがちですが、省察を行っていきたいと思います。ありがとうございました。

いつもありがとうございます。内容的に理解が難しい部分もありますが、常日頃の業務遂行に役立つことが多く勉強になります。引き続きよろしくお願いいたします。

専門学校教員にとりまして、プロフェッショナルの概念を丁寧に吟味しながら学生たちの資質・能力の育成だけでなく、職業教育を担保するための自分たちの資質・能力についても深く省察することの重要性を学ぶことができました。ありがとうございました。

あまり普段意識していなかったことを考えさせてもらう機会をいただきました。ありがとうございました。

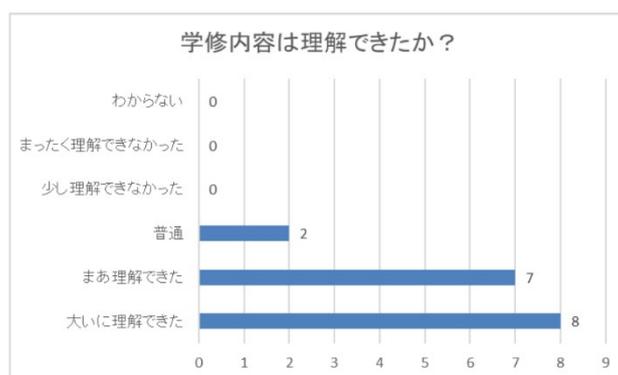
専門学校教員には必須の科目だと思いました。丁寧に教えていただきありがとうございました。
 職場は沼地である、というのは名言だと思います。

貴重な学びの時間となりました。講義いただきありがとうございました。

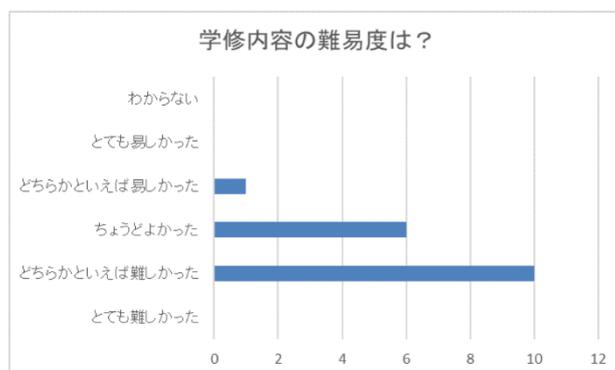
理解度、難易度、役立ち度、いずれも期待通りの結果であった。フリーアンサーを見れば、ともすれば、専門性の授業に期待感が高まる傾向のある専門学校教員にとって、あらためて「プロフェSSIONALとは？」を考えるよい機会になったことがうかがわれる。

A2 専門職教育における三つのポリシー

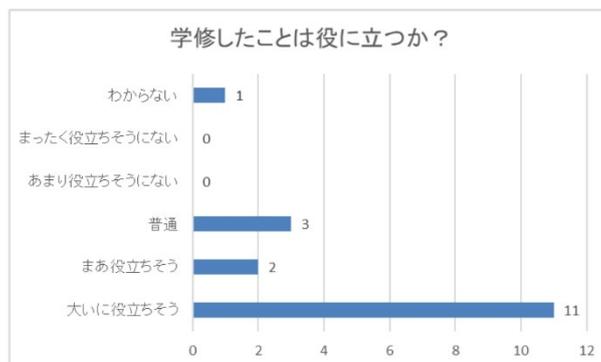
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

いつもありがとうございます。今後の学校運営の参考とさせていただきたく存じます。江島先生の体調が非常に心配ですが。。

FD・SDの背景、質保証が求められている理由がよく理解できました。ありがとうございました。

講義いただきありがとうございました。

非常に良い学びの時間となりました。

オンデマンド授業により忘れていた箇所もありましたが、今回改めてオンライン授業を受講させていただき再確認させていただきました。また、他の学校の先生方の状況や考えなど知ることができ大変有意義な学修でした。ありがとうございました。

本校ではまだ三つのポリシーが策定されていない。AO入試導入にあたりアドミッションポリシーは示しているが、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシーの言語化はこれからの作業である。どのように策定したらよいか迷う部分もあったが、この講座を受け、ヒントをもらうことができた。ありがとうございました。

学校の3ポリシーはできていますが、学科ごとのポリシーを策定しているところです。策定するだけでなく、実践できるよう学科の教師のが意識づけが大切だと感じました。

3つのポリシーは最近様々なところでキーワードとして出てきており、参考となる書籍もいくつか読みましたが、講座ではわかりやすくまとめられており、理解が進んだような気がします。ただまだまだ考えながらの策定、改定になりますので今後とも学習していきたいと思います。

専門学校を取り囲む経営環境が厳しくなっている中、本講義を通じて高等教育における「ディプロマ・ポリシー(DP)」、「カリキュラム・ポリシー(CP)」、「アドミッション・ポリシー(AP)」の3つのポリシーの重要性を再認識しました。私の勤務先の鍼灸師養成学校では、数年前より3つのポリシーを明確化させていますが、改めて相互の整合性についての見直しが必要であることに気がきました。自分自身が入学希望者やその保護者、採用側の企業担当者になったつもりで、社会に必要とされる専門学校になるための条件を複眼的に考えてみます。貴重なご講義、ありがとうございました。

大学において一般化した3つのポリシーについての時代的、法的背景ならびにその要因について理解を深めることができました。高等教育機関の一翼を担う専門学校においても今後ますます内部質保証、外部評価の視点が求められることを理解を深めることができました。ありがとうございました。

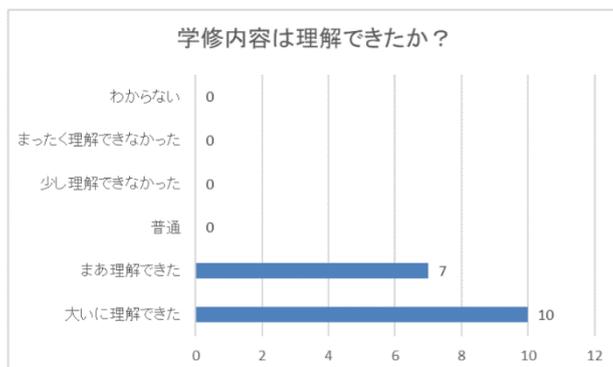
3ポリシーの実例のレビューがとても役に立ちました。

文科省の目指す教育の一部が見えたような気がいたしました。ありがとうございました。猪越

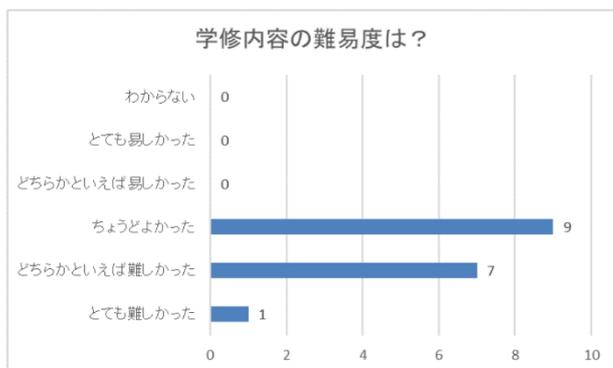
理解度、役立ち度はいずれも期待通りの結果であったが、難易度は少し難しく感じたようであった。フリーアンサーを見れば、三つのポリシーの意味自体を理解していなかった者も多く、各校の三つのポリシーの作成に役立つ内容であったといえよう。

A3 リカレント教育－生産性向上に貢献する－

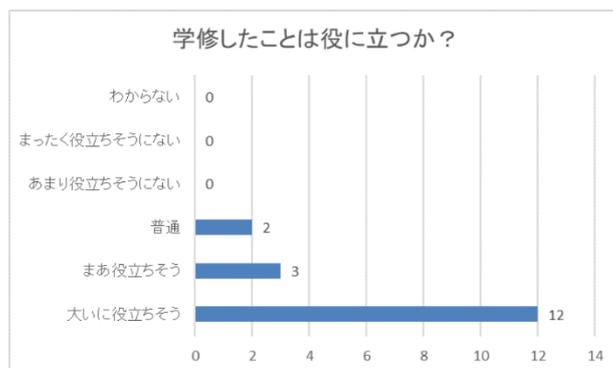
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

有意義な時間をありがとうございました。少子高齢化社会の中でのリカレント教育の重要性、必要性がよく理解できました。本校はリカレント教育への取り組みは遅れておりますが、他校に負けずに頑張っていきたいと考えております。今後とも引き続きよろしく願いいたします。リカレント教育が求められている理由がよく理解できました。ありがとうございました。講義いただきありがとうございました。非常に有意義な時間となりました。

日本において今後リカレント教育の重要性が、この講義やオンライン授業を通し理解することが出来ました。国内全体の生産性をあげる一助を高等教育が担っていることを認識させられました。ありがとうございました。

少子化・大学全入時代でも選ばれる専門学校としての方向性を確認することができました。ありがとうございました。

とても楽しい内容でした。今後の専門学校運営(18歳人口減少にともなう次の一手としてです。ただし最後に補填として考えてはいけないとのこと肝に銘じます)にも関わる内容として大いに参考になりました。ありがとうございました。

受講前は漠然としたイメージであったリカレント教育でしたが、講義を通じてその歴史や意義を理解することが出来ました。私の勤務先の専門学校では、社会人学生の割合が圧倒的に高く、普段からリカレント教育を実践していることとなります。実際の社会人学生への指導や対応の経験に照らし合わせながら学ぶことで、リカレント教育の重要性を再認識しました。オンライン合同授業での川口先生の解説や参加者の発表を聞くことで、より理解が深まったと感じています。ありがとうございました。

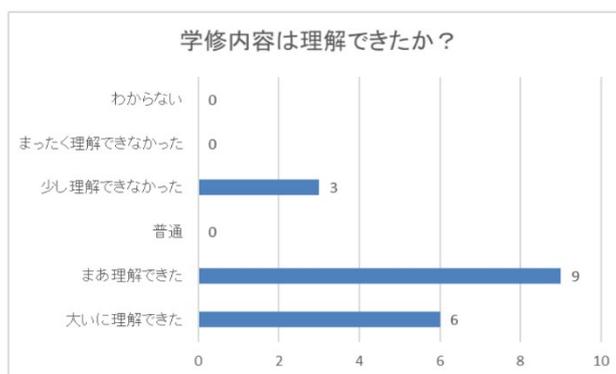
生涯学習社会において求められるリカレント教育について、社会的な背景ならびに世界的な趨勢を踏まえ、高等教育機関における専門学校教育の役割を学ぶことができました。他分野や改めて本務校における職業教育(訓練)の位置づけや役割の知見を深めることができました。ありがとうございました。

自身でも社会人向けの市民講座を担当していることから、実体験をベースにして受講することができ、たいへん良い示唆を受けました。

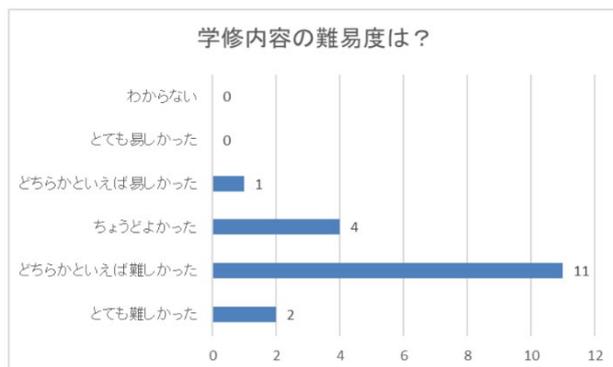
理解度、難易度、役立ち度、いずれも期待通りの結果であった。フリーアンサーでは、リカレント教育の意義、必要性を実感する記述が多くみられ、18歳人口を主体としてみている専門学校を少しでも刺激する内容であったと感じ取れる。

A4 専門職教育質保証の基礎と実践

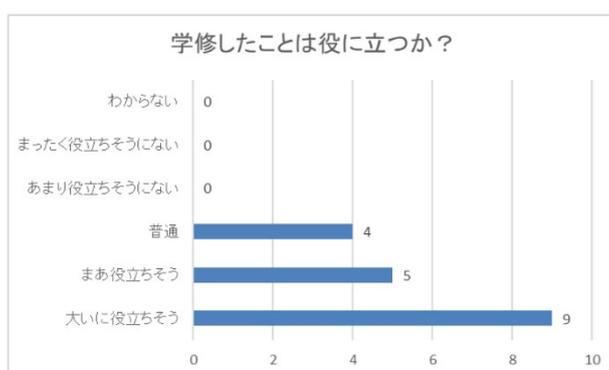
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

貴重な機会をありがとうございました。今後の学校運営に生かしていきたいと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。
現在求められている能力観、質保証が求められている理由がよく理解できました。ありがとうございました。
”講義いただきありがとうございました。
非常に有意義な時間となりました。”
専門職教育質保証の基礎と実践について私にとって非常に難しい内容ではございましたが、オンデマンド授業やオンライン授業を通じご丁寧にご教授いただきありがとうございました。
レポートを書いても自分のものになっていない感覚が残った。大きな枠組みの概念であるように感じる為、今後自分の身近な話題に引き寄せ、振り返っておきたいと感じる。
社会の構造変化や、それに伴う高等教育機関の役割など(個々の単語や定義は難しかったですが)、話は楽しく、よく理解できました。ありがとうございました。
”高等教育における質保証に必要なとされる評価について、自分のなかで曖昧だった「アクレディテーション(認証)」・「オーディット(監査)」・「アセスメント」といった用語の意味が分かり、参考になりました。ありがとうございました。

私が勤務する専門学校でも自己評価や学校関係者評価を導入していますが、これらの内部質保証の意義やあり方について、改めて確認してみようと思いました。”

大学における質保証の動向ならびに高等教育機関において求められる学修成果・教育成果について深く学ぶことができました。高等教育機関とされるようになった専門学校において、今後の社会的なニーズならびにキャリア支援を教育プログラムを通じ、可視化していくことが如何に重要であるかを再認識できました。ありがとうございました。

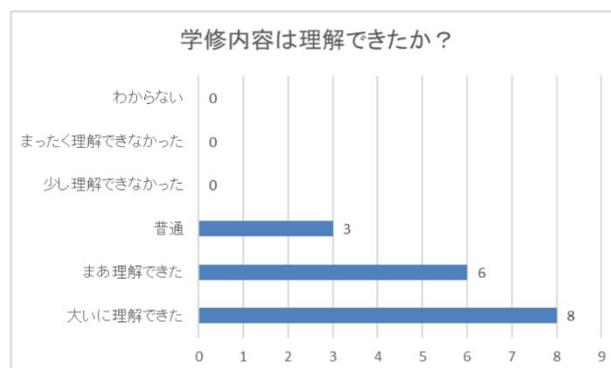
質の最も重要なものは、学習成果ということに共感しました。日頃、いろいろなことに取り組んでいると、学生のために何をしているかということが後回しになりがちです。それを再確認できたことがよかったです。

”歳のせいかカタカナに弱く、日本語の変換で理解をするように努めました。

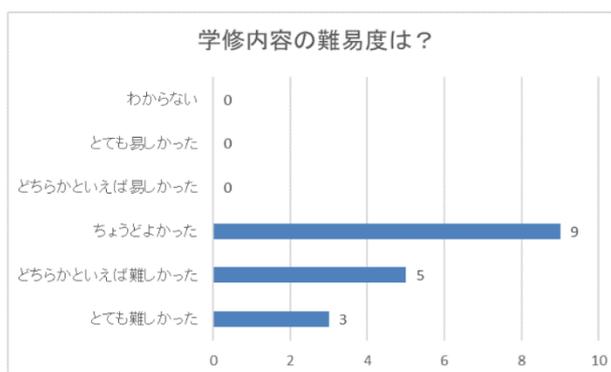
教育関係については、英語圏での研究が高度なのかと理解しました。
ご指導ありがとうございました。

A5 学修成果・教育成果の可視化

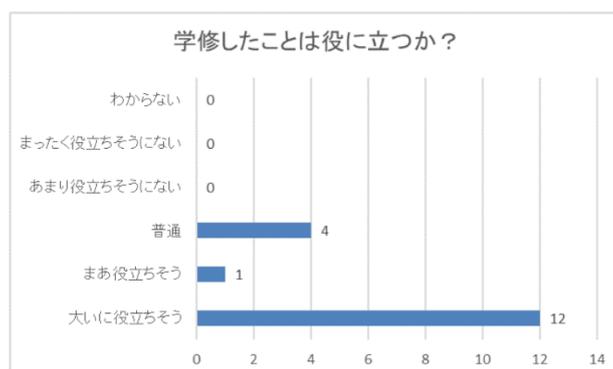
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

可視化のエビデンスとして様々な方法があることは以前から認識していたが、実際に導入するととなると数々の困難がある。

しかしながら今後の学校運営、生き残りのためには客観的な指標が必須と判断される。

今回の講義で学修した成果を活かしていきたいと考える。

長期にわたりご指導ありがとうございました。

現在求められている能力観、学修成果・教育成果の可視化が求められている理由がよく理解できました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びとなりました。

現在の高等教育に求められている学修成果・教育成果の可視化についての必要性やどのように行っていくのかなど分かり易くご講義いただきましてありがとうございました。今後の実践に繋げていきたいと思えます。

介護福祉分野でも学修者のプロフィールを整理し、学修成果指標の作成ができると、社会に対して一層の魅力のアピールにつながると感じました。本校でも試行して、教員間の学生指導の指標にもしたいと感じています。ありがとうございました。

本校においても学生の学習成果を各学科でどのように可視化していくのかを明確にするのが課題となっている。そのため来年度からは早めのカリキュラム作成や学生の学習成果を短い期間で区切りながら可視化していく取り組みを進める予定である。

可視化の必要性に関して、社会的な変化をわかりやすく説明していただきありがとうございました。私にとってはアセスメント(の概念)の理解が鬼門で、まだまだ学習が必要だともっております。今回は本当にありがとうございました。

他の講座で3つのポリシーの重要性などを学んだ後であったため、本講義の内容は理解しやすかったです。本講義では、アセスメントの方法についての理論や方法を学ぶことができ、普段の授業評価の参考になると感じました。個人的な質問への回答も、オンライン授業で行っていただけ改めて感謝しております。ありがとうございました。

学修成果と教育成果の捉え方の違いについて、高等教育への社会のニーズなども背景に、教育内容の質保証に関する知識が深まりました。特に他の専門学校の先生方からのお話もとても参考になりました。ありがとうございました。

講義を受けて、本学では比較的積極的に取り組んでいる状況が確認できたと思います。さらに、充実させたいです。

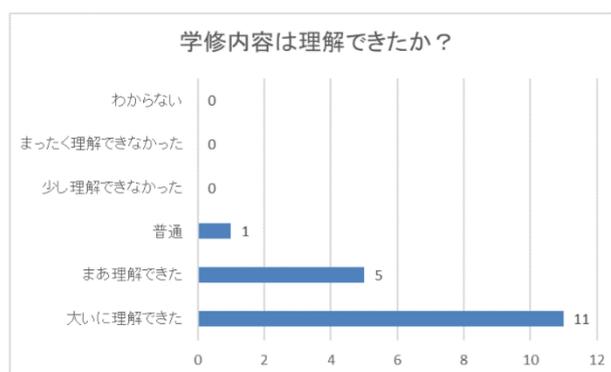
学科と学校の相互関係を考えるきっかけとなりました。

川口 昭彦先生、野田 文香先生ご指導誠にありがとうございました。

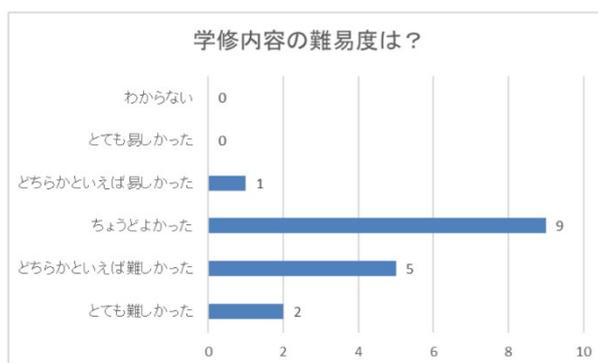
理解度、難易度、役立ち度、いずれもリーズナブルな結果であった。ただ、役立ち度の点で若干、縁の薄さを感じるところもあり、専門学校教員にとっての学修成果とは何なのかを考えさせる結果であったともいえる。

B1 プロフェッショナルディベロップメント

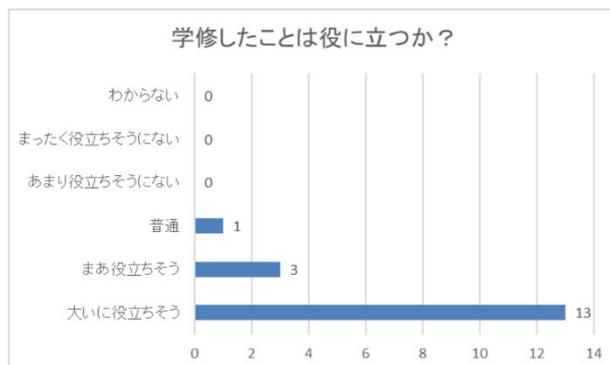
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

いつもありがとうございます。

日々の学校業務の中で学生、保護者への対応が一番難しいと感じております。

カウンセリングの基礎から再確認できたことを今後の業務にいかしていければと思います。

本当にありがとうございました。

自分の教員時代の経験を省察することができました。これからの教員生活に役に立つと思います。ありがとうございました。

講義いただきありがとうございました。大変勉強になりました。

カウンセリング能力という非常に教員の能力として重要なものを大変分かり易くご講義いただきましてありがとうございました。今後の学生指導に生かしていきたいと思います。

聞くことへのこだわりを大事にせねばならないと感じました。

今までの自分の面談の仕方を見直すきっかけになりました。カウンセリングと聞くと、どうも怪しい(失礼)印象がありましたが、考えを改めていきたいです。

現在当校のスクールカウンセラーは、本人が考えることが重要で問題解決はその結果であるというような感じで、よく学生と話をしております。我々は問題解決にすぐ結果を求めてしまいが、少し長い目でみていけないといけないと思うようになりました。

多くの学生と面談をするなかで、自分なりに経験値は高めてきたつもりでいたが、この講義を受けてカウンセリングの難しさを再認識することができました。回数が多かったですが、基本的なカウンセリングの知識を動画で学びました。そして、オンライン授業での実際の大野先生の経験例を聞いたことも、とても参考になりました。今後の学生面談のために役立てたいと思います。ありがとうございました。

勤務校では、カウンセリング業務にあたることはないのですが、本講義の内容は、通常の授業や生徒とのコミュニケーションにおいて意識をしていく多くのことを学ぶことができました。カウンセリングマインドを持ちながら専門職としての役割をどのように果たしていくか、改めて考えることができました。ありがとうございました。

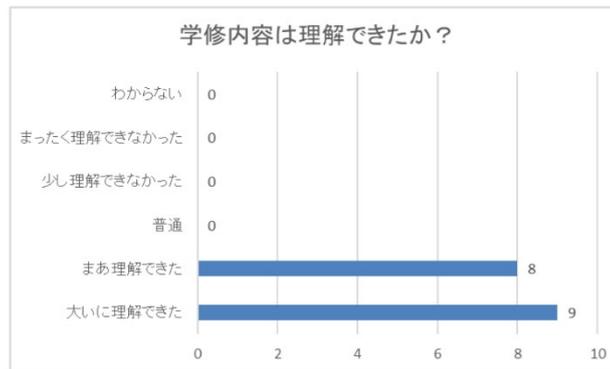
講義全体を楽しく拝聴することができました。ライブ感のあるお話だったと思います。ありがとうございました。

教育活動の生命線ともいえる、教育心理を深く掘り下げた内容と思います。学生指導に一番大切なところです。大野精一先生！ありがとうございました。

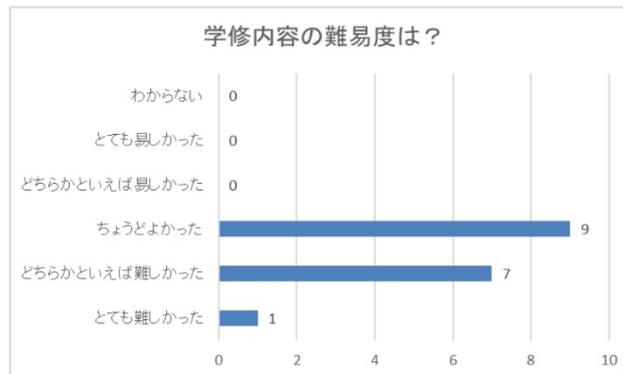
理解度、難易度、役立ち度、いずれも非常に理想的な回答であった。カウンセリングという一見難しそうなテーマをやさしく解説しているので、大変説得力があったかと思われる。

B2 キャリアの形成と発展

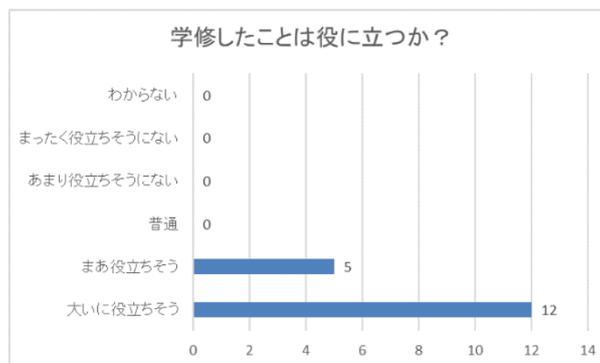
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

いつもありがとうございます。専門学校は出口(就職先)が一番大切であると思います。キャリアの形成の講義で学んだことを今後の学生指導にいかしていければと考えております。引き続きよろしく願いいたします。

自分のキャリアをふりかえるとともに、教師の専門性についてあらためて考察することができました。ありがとうございました。

講義いただきありがとうございました。キャリア形成について整理することができました。

専門学校の教員として資質・能力向上のために何が求められることかが大変よくわかりました。今後も研鑽していきたいと思っております。ご講義いただきありがとうございました。

教員としての基盤の脆弱さへの不安から脱却するきっかけをいただきました。ありがとうございました。

私は教育に関する専門の教育を受けておりませんでしたので、(教職課程も履修していませんでした)曖昧だった言葉の意味が定義されてよくわかりました。ただ、概念的なことはまだ完全に理解できていませんので、提示されていた参考図書を読みたいです。ありがとうございました。

単なる職歴という意味でのキャリアではなく、より個人の人生とつながる本質的な意味でのキャリアの概念を学ぶことができました。ありがとうございました。課題レポートの作成を通じながら、これまでの自分の半生を振り返る良い契機となったように感じています。教員としての今後のキャリア形成にとって何が必要なのか、すぐに明確かつ具体的な答えは出ないと思いますが、ここで学んだことを忘れず意識していきたいです。

教育実践者としての資質・能力を客観的・俯瞰的にとらえ直す必要性を学ぶことができました。そのための省察が常に必要であり、その作業を通じ、幾ばくかでも今後の授業改善につなげていきたいです。ありがとうございました。

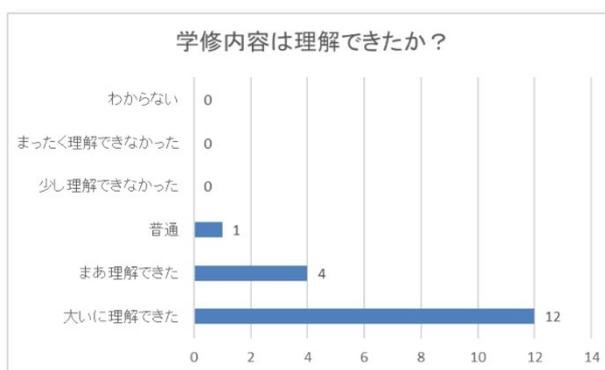
「臨機応変」というのはもともと好きな言葉です。この講義では「複雑であいまいな沼地」という表現が気に入りました。

いままで考えていなかった事項を勉強させて頂いており、大野先生、三輪先生の授業の回し方は素晴らしいと思います。

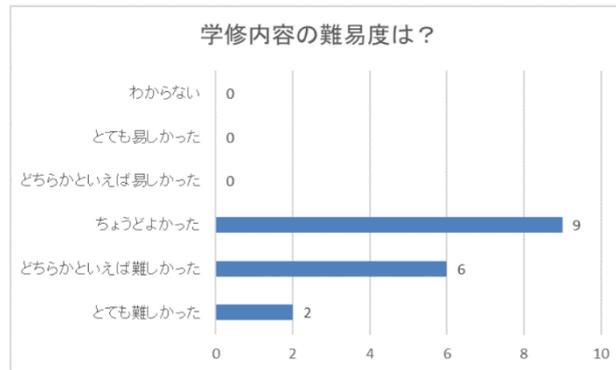
理解度、難易度、役立ち度、いずれも非常に理想的な回答であった。キャリアの形成、発展という身近な話題であったせいかもしれないと思うが、それにしても、大変な成果であった。

B3 発達障害

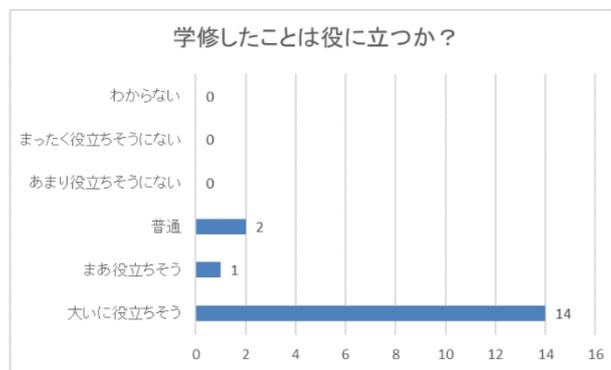
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

貴重な時間をありがとうございました。

発達障害の学生数は年々増加しているように感じられます。大学と異なり筆記試験などで選別しているわけではありませんので、同じクラス内に発達障害を持つ学生とそうでない学生が混在している現状、どのようにクラス運営すべきか？日々悩んでいる状況です。

本日の研修内容を踏まえて今後も対応していきたいと思います。

短い授業時間にもかかわらず、様々な障害の特徴と合理的配慮について要点を教えてください、私は教員としての経験を省察することができました。ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

現在教育現場で起こっている発達障害に関する問題や悩みなどを非常に分かり易く講義いただき、そしてオンライン授業を通じ解決もさせていただき非常に良かったです。ありがとうございました。

発達障害のある学生についての指導について、振り返ることができました。ありがとうございました。

発達障害と診断されている学生たちより、グレーの学生が増えてきている中で、教師の学生への関わりの難しさを感じていた。今回の講義でそのような学生にどう対応していけばよいのかを本校の教師たちにも広めていけたらと思う。

今回の講座は発達障害の知識の端緒だと思いますが、学習できてよかったです。またオンデマンド授業もよかったです。リアルタイム授業の方がより理解が深まりました。今後は発達

障害を持って入学する学生も増えると思いますが、今回の講義をもとに対応していきたいと思っています。ありがとうございました。

日々の学指導にあたり、一部の学生に発達障害の可能性を感じるがありますが、本講義を通じて発達障害の特徴や対応への注意点を学ぶことができ、とても参考になりました。4つの認知特性のバランスを指標とするなど、学生の行動観察の指標に役立つ知識が得られましたので、合理的配慮も踏まえつつ、今後の学生指導に応用させたいと思います。対面の質疑応答も含め、分かりやすい講義でした。

ありがとうございました。

発達障害についての基礎的な理解とともに、様々な生徒たちの個性やニーズに教育を提供する際に留意すべき知見を多く学ぶことができました。

今後も多様化というキーワードとともに、生徒たちの良い面をより引き出すという視点からも、合理的配慮の在り方を考えていこうと思います。ありがとうございました。

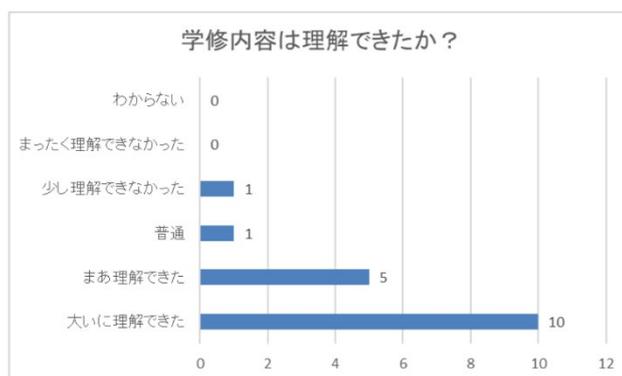
本学では、このようなケースが多く、重要なテーマのひとつであると考えました。

専門職としての教員なので、教職課程を取っていません。この発達障害はとても役に立っております。専門職教員としても一番必要な学修かと思います。岩澤一美先生 大変ありがとうございました。

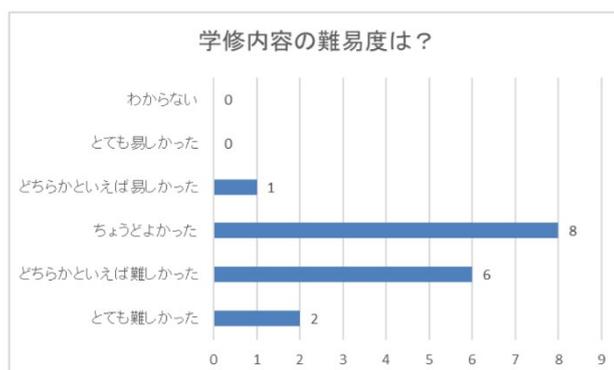
理解度、難易度、役立ち度、いずれも理想的な回答であった。加えて、役立ち度が「非常に役立った」の頻度が大変大きく、専門学校教育現場での話題に直結した内容であったと言える。

C1 カリキュラムデザイン

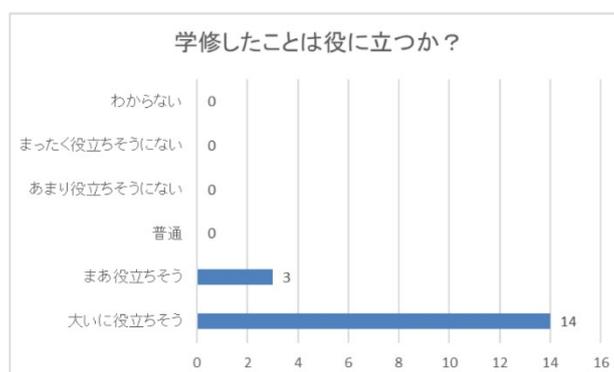
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

貴重な時間、内容をありがとうございました。

私は授業担当教員ではないので、講義内容は正直難しかったというか、ピンとこない部分もございました。しかしながら学校運営において重要なポイント、ヒントをたくさん頂戴したと思います。今後の参考とさせていただきます。

短い授業時間にもかかわらず、学習理論の変遷にもふれながら、カリキュラムの設計、実施、評価のありようの要点を教えてくださいました。ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

まさに今現在の授業に直結する内容のご講義でした。さらに教育用語を覚えることの重要性を感じました。非常に実のあるご講義ありがとうございました。

ケラーの ARCS モデルを参考に、実際の授業を変えてみる事ができました。今後も継続して工夫していきます。ありがとうございました。

授業デザインを考えていく中で、自分に合った方法で、学生の「学ぶ力」を身に付けさせる学習方法を今後も自分自身が学び続けていきたいと思える講義でした。

授業の内容で、先生の仰っていたことは、うなずかされるものばかりで、また参考としてあげていただいた理論も説明をしていただいたころはとてもよく理解できました。ただ、あとは自分自身の問題で、いかに表面的な理解にとどまらず十分に知識や経験として身につけられるかだと思っています。まだまだ先は長いですが、カリキュラムデザインのスタートに立ったところで、まだまだ先は長いですが勉強していこうと思います。授業ありがとうございました。

カリキュラムと教育課程の違いなど、基本的な用語の意味について学び直すことが出来ました。教員歴を重ねるにつれて、正直なところカリキュラムデザインにも慣れやマンネリ化が生じていると感じていました。本講義を通じて、これからの先を見据えたカリキュラムデザインの方法や課題を知ることが出来たので、次年度の授業運営の改善につなげたいと思います。色々な気づきがあり、とても参考になる講義でした。ありがとうございました。

具体的な授業改善に関する理論と方法を学ぶことが出来ました。そして今後の自身の授業改善のヒントを得ることが出来ました。講義内容の理論的な内容やカリキュラム改善などを通じ、自身の省察を深めて行きたいと思います。どうもありがとうございました。

学修体験の総体を考えることが重要であるように思いました。また、先達の理論を知っていると分析がしやすくなると感じました。

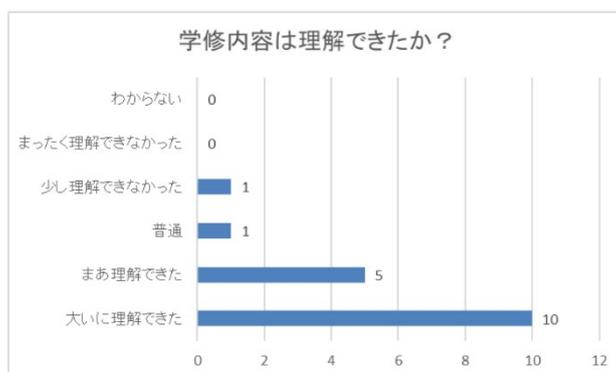
いつの間にか教員あので、覚悟と基礎ができてませんでした。

沖先生 ありがとうございました。

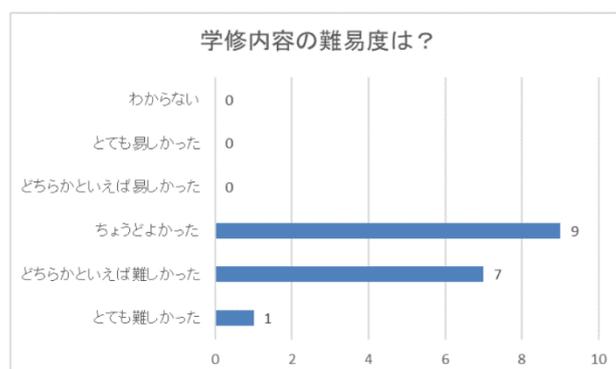
理解度、難易度、役立ち度、いずれも理想的な回答であった。難点があるとすれば、理解度でやや理解できなかった者が1名、難易度でやや易しいと感じた者が1名いた点であるが、役立ち度が「非常に役立った」の頻度が大きかったことが印象的である。

C2 ファシリテーション

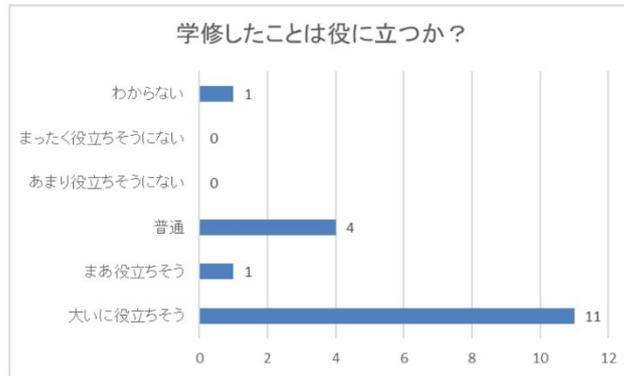
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

いつもありがとうございます。

オンラインでもコメントさせていただきましたが、時間の経過があつという間でした。非常に有意義な講義だったとおもいます。本当にありがとうございました。

正直、「紙とペンを持参」と指示があったときに「絶対何かやらされる。嫌だな。」と思ってしまいましたが、実際に受講してみると非常に面白く有意義な内容でした。

私は教員ではないため、直接授業を実施する機会は殆どありませんが日常業務にいかしていきたいと思います。

プロセス・スキルとしての教育、教授方法としてのアクティブラーニングについては考えるところがありますが、短い授業時間にもかかわらず、行動主義的ファシリテーションのありようについて教えていただきました。ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

授業や会議を行う際のファシリテーションの重要性や実用性を学ばせていただきました。また、オンライン授業では分かり易い講義で、さらに Zoom についての発見などもあり大変役立つ講義でした。ありがとうございました。

すぐに授業で活用できる様々なヒントをたくさんいただき、とても嬉しく、さっそく活用させていただいています。が、やり込みの不十分さを日々感じています。これまで以上にしっかり準備して取り組みたいと思います。ありがとうございました。

ファシリテーションの役目や運営方法など具体的な内容でわかりやすい講義でした。

実際にスクーリングでグループワークを体験でき、なんとなくですが理解できたような気がします。他の受講生の方と話ができて、とても楽しい授業でした。またファシリテーションの意味は誤解していたころがあったのですが、プロセスを整える人という説明は納得ができました。本当にありがとうございました。

本講義ではファシリテーションの意義・基本内容を学べただけでなく、即実践に活かせるプログラムデザイン曼荼羅図のようなテクニックも知ることができ、大変勉強になりました。オンライン合同授業でも曼荼羅図のほか、ライブ・レコーディングの実践法といった具体例を学べたことは、すごく視野が広がる経験になりました。ありがとうございました。

具体的なファシリテーションの理論的な背景に加え、より実践的な講義内容がとても参考になりました。勤務の関係でオンライン授業を受講できずとても残念でしたが動画教材からも多くの方法や気づきを得られ、今後の自身の授業改善にとっても参考になりました。ありがとうございました。

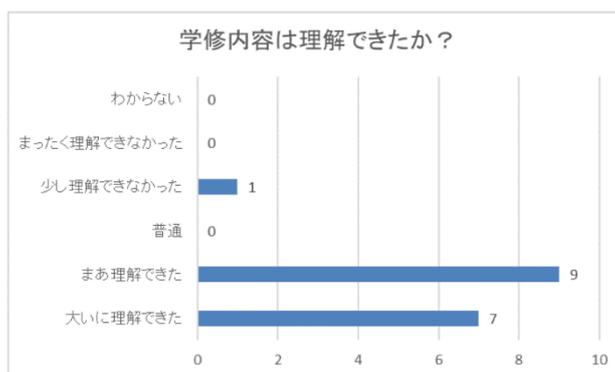
オンラインの授業の仕方としてたいへん参考になりました。ありがとうございました。

文部科学省の教員免許を持たない、教育とは縁のない社会からの教員となった私にとって、一番学習すべき課題でした。三田地真美教授には、大変感謝しております。ありがとうございました。

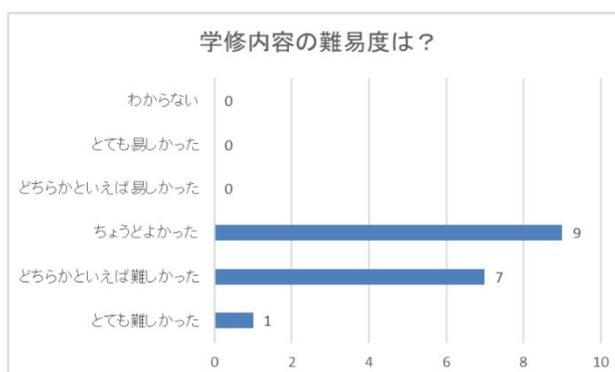
役立ち度で唯一、「わからない」と回答した者がいた。テーマは身近なものなので、役立ち感が「わからない」というのも変である。ただ、それ以外についてのアンケート項目は適切な結果であった。

C3 学習指導能力

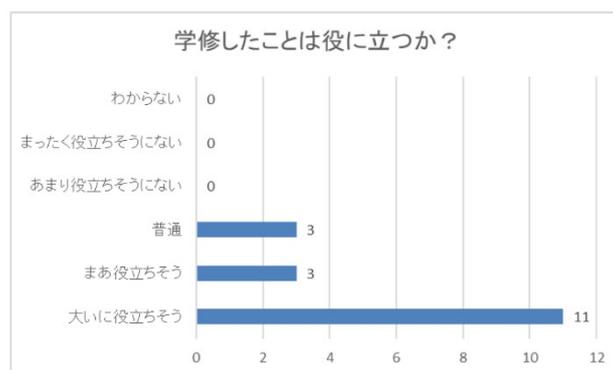
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

業務都合で途中参加となり申し訳ありませんでした。

今後の学校運営に非常に参考となる話ばかりでした。引き続きよろしくお願いいたします。

私としては、教師の資質・能力と学習指導能力を「教科や現代的課題の知識・技能・技法による指導力の向上から」を「対人関係力・授業観・学生観・教育観・探求心をふり返る(省察する)力の育成へ」と捉え直していただいていることがもっとも共感します。大学で教職の学生向けに、三輪先生ご翻訳の『省察的实践とは何か』を読む授業をいたしました。なかなかここまで伝えられませんでした。ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

学習指導能力ということで実際教育現場に立っているのだけれども今まで気づいていなかったことに気づかされました。自身を高めるうえでも非常に重要な講義となりました。ありがとうございました。

教育の専門家ではない、専門学校教員としてのアイデンティティの揺らぎに対し、具体的な解決の手法をいくつか提示していただきました。今後の専門学校教員としての自分に必要なものを自らつかみ取っていけるよう、学び続けたいと思います。ありがとうございました。

初めは教員の能力向上のヒントを学習し、教員の方との共同で授業改善ができればと考えていましたが、教員の能力向上だけでなく、学校職員の能力向上にも応用できる内容だと思いました。特に修得レポートで記入しました「ラウンドテーブル」を活用して、教職員の意識改善と前向きな雰囲気づくりに役立てたいと思います。

やはり全 10 回の講義は時間的に大変でした。抽象的な概念が多い前半は難しく感じましたが、第 7 回の Kate のアクションリサーチといった具体例の紹介があると理解しやすくなりました。学習指導能力は終わりのない課題ですので、今回の講義で学んだ理論・技法をこれからの学校活動に反映させていきたいと思っています。ありがとうございました。

専門性が高い専門学校においては、特に学習指導能力という観点から自身のキャリア開発が非常に重要であることを学ぶことができました。そのための具体的な理論や方法について大変参考になりました。自身でも取り入れていきたいと思っています。どうもありがとうございました。

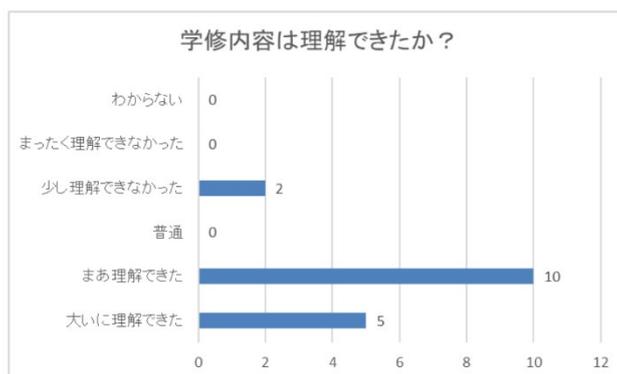
多くのインプットがありました。具体的な課題をイメージしていくことができました。ありがとうございました。

専門馬鹿で、教育のイロハを知りませんでした。教育学をも講座でご指導頂き誠にありがとうございました。

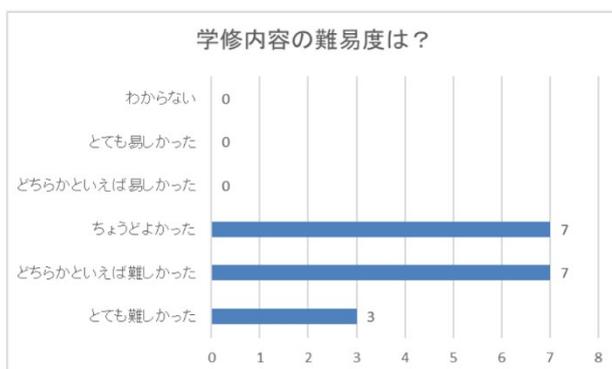
理解度で「少し理解できなかった」者が1名いたが、全体としてはリーズナブルな結果であった。フリーアンサーを見ると、専門学校ではなかなか教育学的な見地からアプローチすることが難しいか、そういう機会に乏しい実態が浮かぶ。

C4 学級運営

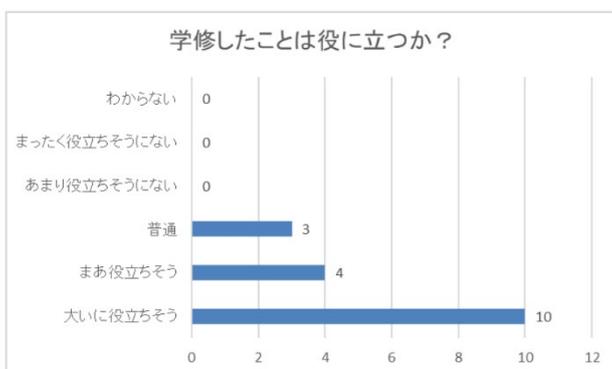
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

いつもありがとうございます。

私は教員ではないため、実践に落とし込むことは難しいかもしれません。しかしながら学校運営において先生からご教授いただいた内容は必ず役に立つと考えられます。今回はこのような素晴らしい場をご提供いただき本当にありがとうございました。

私は、長らく中学校、高等学校、大学へと学級担任やゼミ教員を続けてまいりましたが、このように学級自体のあり様、あり方について考察することはありませんでした。しかし、私自身の力不足を恥じながらも振り返ってみると、私もまた学級の成員であったわけでこのように分析的に省察できなかったかもしれません。ご指導ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

自身も担任を持っておりますので、学級運営には日々考えさせられることが多々あります。そのような中で今回の講義で得たもの、考えさせられたことは非常に重要なものでした。今後も今回学ばさせていただいたことを活用し学級運営に励んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

勉強不足で大変難しく感じました。レポートは書きましたが、自分のものになっている感じが乏しいのが正直な感想です。ただ、専門学校教員として大変に重要な学びであるので、これを機会に学びを進めたいという強い決意は持っています。ありがとうございました。

理論に基づいた授業で、学級運営に関しての考えが整理できました。実際にある参考資料をもっと学習しなければと思いました。また現場(当校)でおきている現象に関して当てはめてみたいとも感じています。ありがとうございました。

全10回の講義であったので、正直少し大変でした。

私の勤務する専門学校は社会人が多く、学級の学生自治に委ねやすい環境にあります。しかし、もし自分が高校新卒者などが多い学校に勤務していると想定した場合、本講義の内容は参考になると思いました。学びの3つの場の概念図などは、現在の学校状況を振り返るにあたっても有益でした。ありがとうございました。

勤務の関係で、残念ながらオンラインでは受講できませんでしたが、学級運営について理論的な枠組みで学びへ向かう、学びを支える学級の在り方について深く学ぶことが出来ました。ありがとうございました。クラス担任制という専門学校が多いと思われ、本務校においてもクラス担任制により学級運営がなされており、直接的、間接的にとても参考になる内容でした。どうもありがとうございました

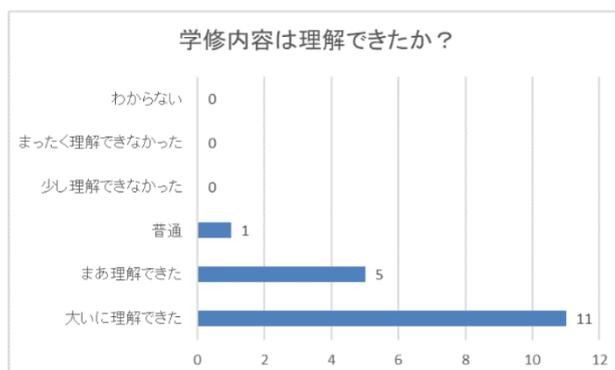
少し難しいところがありましたが、多くのインプットがありました。具体的に課題をイメージしていくことができました。ありがとうございました。

教員履歴の浅い小生としては、学修システム、方法論等の勉強となりました。

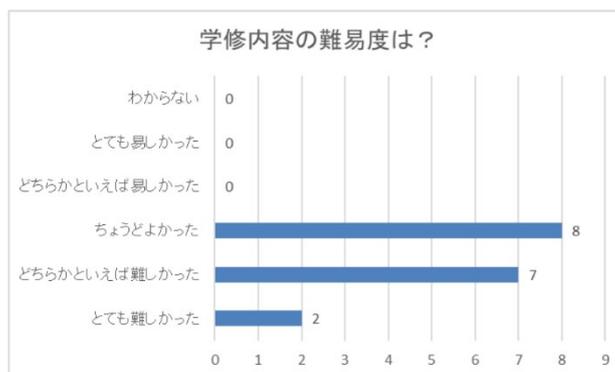
アンケートの結果は、C3「学習指導能力」と同様の傾向を示したことが興味深い。C3とC4に共通することは10回という長い講座であり、かつ、どちらかと言えば年少者を取り扱うクラスのことであるという点が挙げられる。

C5 IT 活用教育実践

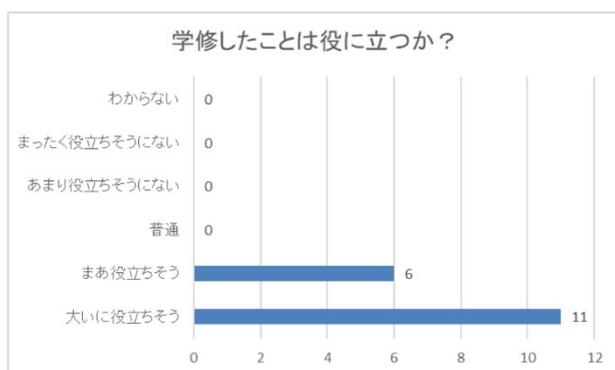
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

貴重な内容をご教授いただきありがとうございました。

コロナの影響で急遽進んだ感じが否めないICT活用ですが、アフターコロナの時代となってもなくなることは有り得ないと考えます。

例えば採用試験などは今後一層 ZOOM を活用した一次試験などが増えると予想されます。

そうした時代の波に乗り遅れないように引き続き頑張っていきたいと思います。

授業時間が非常に短いにもかかわらず、IT の普及時代の能力観、構築主義(構成主義)的な IT 活用教育、学校教育における IT 活用文化、カリキュラムについての要点をお教えた

だきました。私は高校教師、大学非常勤講師時代に、Squeak を導入し、大学教員になってからも学生に見せたことがあります。ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びとなりました。

オンデマンドを受講した時期と現在の時期では全く社会の状況が変化しており、改めて講義を受けさせていただいてIT活用の必要性が非常に良く分かりました。オンライン授業を受けスクラッチというツールの安全性などもよくわかりましたので挑戦してみたいという意欲が湧きました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

必要性・重要性は十分に感じる事ができたが、何から手を付けてよいのか、具体的イメージに乏しいのが実情です。少なくともチャレンジする気持ちだけは持ち続けたいと思っています。

プログラムの知識が乏しく、オンデマンド授業は難しいところもありましたが、内容はとても興味深く、単にITというだけでは意味がないことが良くわかりました。社会の変化が早く、技術の発展に追いついていけない自覚がありますが、紹介していただいたHPやプログラムは、うまく使えば学生の能力は確実に高くなるんだろうなと実感しました。ありがとうございました。

普段の業務で Word や Excel、PowerPoint などを利用していますが、プログラミングは全く不得手で、人任せにしてきました。本講義で Scratch の紹介があり、素人ながらも挑戦できるツールがあることを知れたことは有意義でした。教育現場での IT 活用例の実際をもう少し教えて欲しかったのが本音です。今後の教育で IT 活用が不可欠となることは間違いないので、本講義はもう少し回数が多くても良いと思います。ありがとうございました。

コロナ禍で大きく IT 活用の流れが教育界で加速された状況に加え、今後求められる学校における IT 活用についての方向性を深く学ぶことが出来ました。

それぞれの専門学校の特性を踏まえ、実現可能なチャレンジを自身も自覚的に取り組んでいきたい思います。どうもありがとうございました。

いろいろな対外的な状況を考え、整理することができました。ありがとうございました。

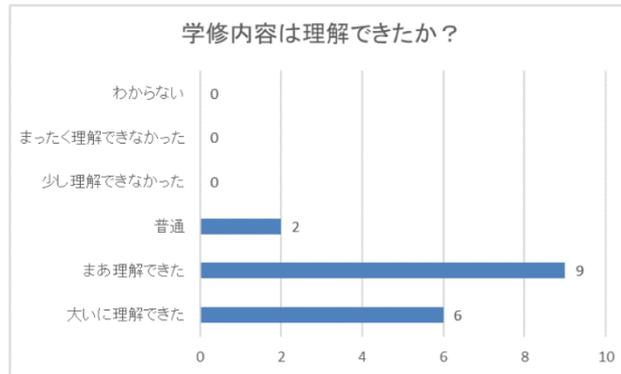
学科の今の立場が、私たちの必要とする入授業でした。

斎藤俊則先生ありがとうございました。

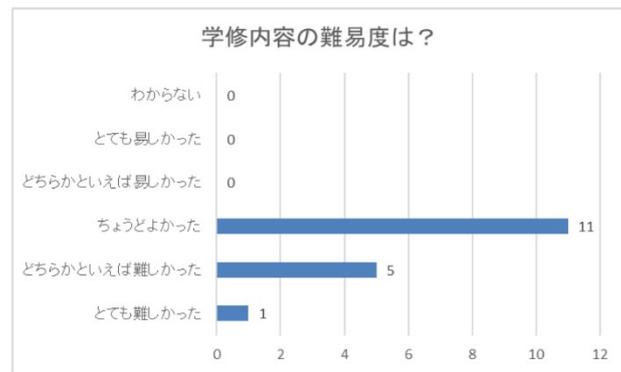
理解度、難易度、役立ち度、いずれも非常に理想的な回答であった。フリーアンサーでは、プログラミング教育の必要性に関することも論点になりそうな議題の提起もあるが、総じて、好評な意見に終始している。

D1 教育課程編成委員会・学校関係者評価の運用

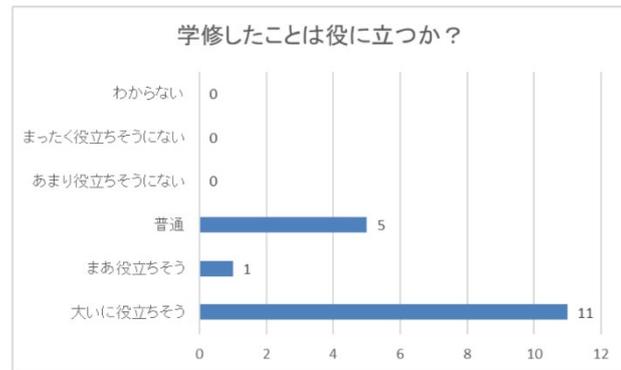
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

いつもありがとうございます。第三者評価の際には非常にお世話になりました。

常日頃、日常業務に忙殺されて忘れがちな内容のリマインドの機会を頂戴しありがとうございます。今後の学校運営の参考にさせていただきたく存じます。

江島先生が回復されることを願ってやみません。

SD・FD、授業改善が求められている背景、特に法令、私も大学教員時代求められていた授業評価アンケート、分析について省察することができました。ありがとうございました。

講義いただきありがとうございました。

教育課程編成委員会や学校関係者評価についてこの講義を通じ改めて自身の学校を振り返り見る良い機会となりました。次回第三者評価を受審する上での学修もさせていただきます。ありがとうございました。

恥ずかしながら、これまでは“しなければならぬから実施する”というスタンスが多少あったが、今回の講義で教育課程編成委員会・学校関係者評価の意義を再確認でき、意味ある委員会にすることの動機づけとなった。また、他校の先生方の取り組みを聞く機会は大変貴重であった。ありがとうございました。

知識としては以前から業務として知っていたことが多かったのですが、レポートをまとめるときに実際に振り替えるともっと活用方法があるのではないかと思いました。特に学校関係者評価の方が、職業実践専門課程で開催を義務付けられているためにおこなっているように感じ、反省しております。この講座の受講をきっかけに再度目的を明確にしていきたいと思いません。

教育課程編成委員会や学校関係者評価は、通常の授業のように頻繁に行うものではないため、その意義や内容を忘れてしまいがちになります。本講義を通じて、これらの重要性を学ぶことができました。私も管理職としてこれらの活動に関わっているため、学んだ知識を次回の委員会や評価に役立てたいと思います。ありがとうございました。

教育課程編成委員会ならびに学校関係者評価についての具体的な要件を学ぶことができました。今後の職業教育の質の向上にはこれらの運用の実効性と内実を如何に充実させるかが問われていると思います。ありがとうございました。

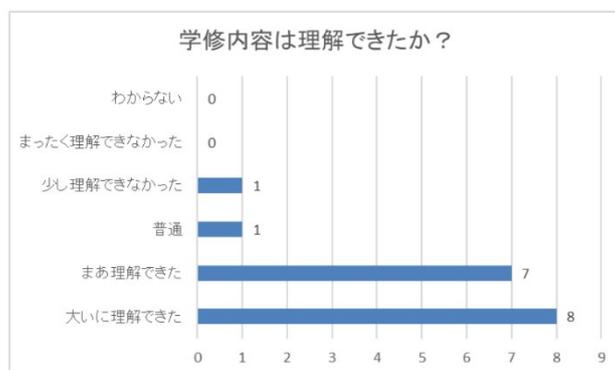
多くのインプットと気づきや学びがありました。ありがとうございました。

ちょうど学科として、職業実践専門課程認可を目指しておりますので良い勉強となりました。ありがとうございました。

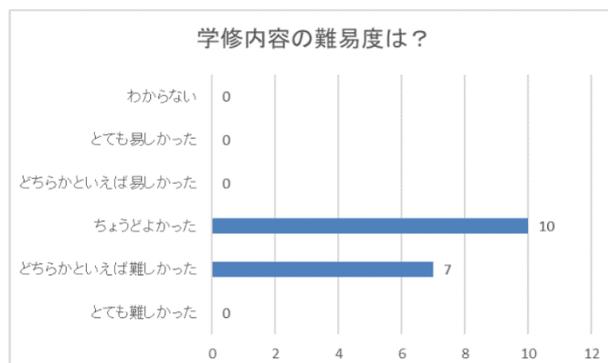
理解度、難易度、役立ち度、いずれも理想的な回答であった。役立ち度が、「ふつう」と「大いに役立つ」に2分されたところ特徴があった。テーマが職業実践専門課程の内容に関わっており、そこに重点的に関わったかどうか要因ではないと思われる。

D2 説明責任と情報公開

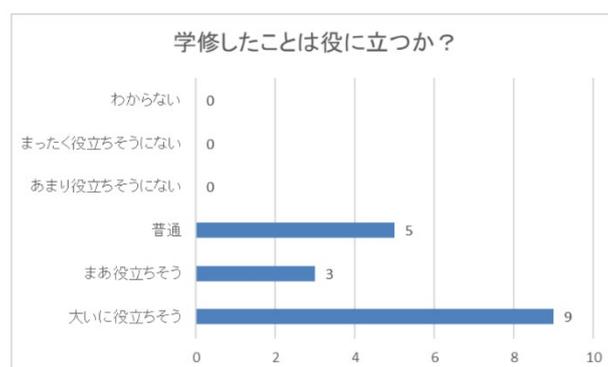
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

業務都合で途中からの参加となり大変失礼しました。講義の中でも発言させていただきましたが、ゲームCG系の専門学校としての難しさを感じながら、社会に向けて情報発信を続けていければと考えております。引き続きよろしく願いいたします。

なぜ、説明責任と情報公開が必要かよくわかりました。ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

説明責任と情報公開について講義・オンライン授業を通じてよく学ぶことができました。ありがとうございました。

社会変革や Society5.0 といった大きな視点で自分の業務を捉え直すことが特に難しく感じました。ただ、これも社会の変化に対応し続ける為のアップデートの一つと感じる為、大変貴重な機会をいただいたと思っています。ありがとうございました。

社会の変化による説明責任と情報公開の必要性について考えることができました。またオンデマンド授業では情報公開の愚痴的な流れや項目も確認することができ、とても勉強になりました。ありがとうございました。

本講義を通じて高等教育機関に求められる説明責任や情報公開の理論を再確認できました。他の講義内容と重複する部分が多く、当初は少し整理しても良いのかなとも思いましたが、課題レポートを書くにあたっては繰り返しの内容が役に立っているように感じました。ありがとうございました。

高等教育機関に位置付けられる専門学校において社会的要請から情報公開と説明責任が求められ、その枠組みの一つには職業実践専門課程などの認定などもあることから、ますますその必要性と方法に関する在り方を検討していくことが重要であると学ぶことが出来ました。ありがとうございました。

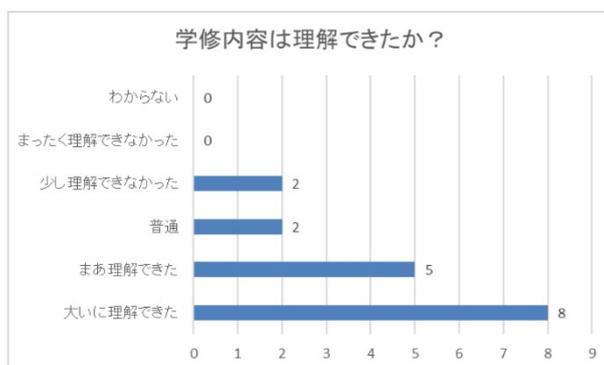
情報が具体的に整理されていて役に立ちました。ありがとうございました。

この講習を受けなければ、日常生活・仕事の流れで見過ごしている事が多いことに気づきました。ありがとうございました。

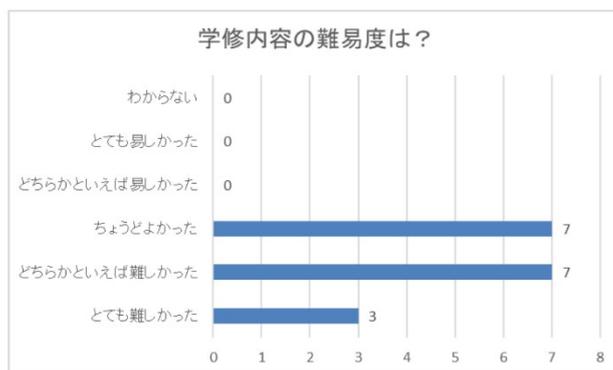
理解度で、「少し理解できなかった」方が一人いらっしゃる以外は理想的な回答であった。内容として法的なことが中心になっていることが、理解できなかった一因として考えられる。

D3 専門学校経営におけるガバナンスとマネジメント

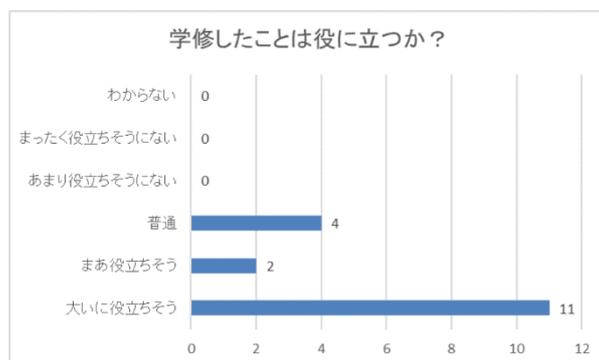
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

いつもお世話になっております。先ほど説明責任のコメント欄に記載させていただきましたが、ゲームCG系の専門学校として社会に向けて情報発信を継続していければと考えております。引き続きよろしくお願いいたします。

最初は、教学マネジメント・ガバナンスという言葉がわかりませんでした。大学教員だったのにその方面に全く関心がありませんでした。ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

学校全体にかかわることで非常に内容的に難しいものでしたが、改めて自身の学校を振り返る点で非常にためになる講義でした。ありがとうございました。

普段触れることの少ない領域について学ばせてもらい、大変貴重な機会となりました。ただ、私自身の理解が十分でない為、すぐに役立つレベルにまで消化できておりません。今後も学び続ける必要性を高く感じました。ありがとうございました。

会計と財務の回は今まで業務として携わって事がなく、理解が追い付きませんでした(私の基礎知識不足です)。ただ、ガバナンスとして考えると必要な項目だと思いましたので、気にしていこうかと思っています。その他の授業も非常にわかりやすかったです。ありがとうございました。

講義内容が細分化されていて、全体を学習するのはやや大変に感じました。しかし、教員だけでなく、管理職、経営層とキャリアアップを図る上では、このような学校マネジメント・ガバナンスの全体像を掴むことは不可欠になります。私は現在、教務側の管理職ですが、不慣れな事務側の知識なども学ぶことができ参考になりました。ありがとうございました。

専門学校を俯瞰的に学ぶことが出来ました。改めて専門学校の経営という大きな視点で考えることが出来たことで当該業界のみに視野が狭くなる現場からは、見えてこない問題意識や課題について考える機会となりました。ありがとうございました。

多くのインプットと気づきがありました。特に、法律の整理や、官庁の組織図などが今後の役に立ちそうです。ありがとうございました。

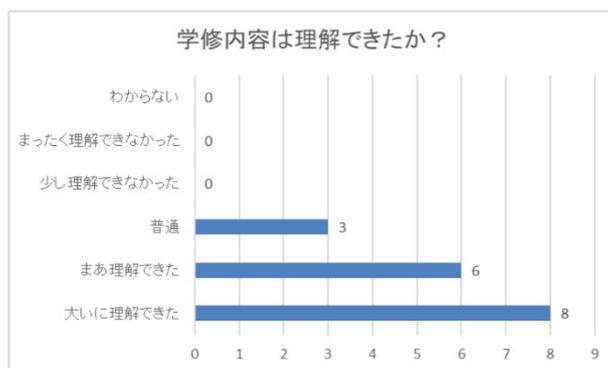
教学マネージメント・ガバナンスを普段はあまり考えることがありません。考えるチャンスをいただきあり待とうございました。

理解度で、「少し理解できなかった」方が二人いらっしゃる以外は理想的な回答で

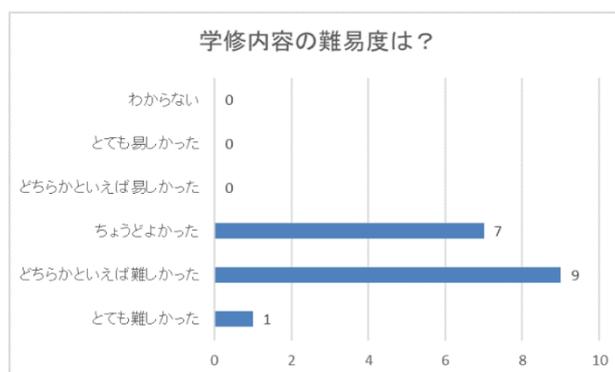
あった。ガバナンスとマネジメントに慣れていられっしゃらない方々も多いと思われるのでしかたない側面もあると思う。しかし、これをきっかけにして育っていく方々も多いのではないかと推察する。

D4 専門職教育質保証の実務

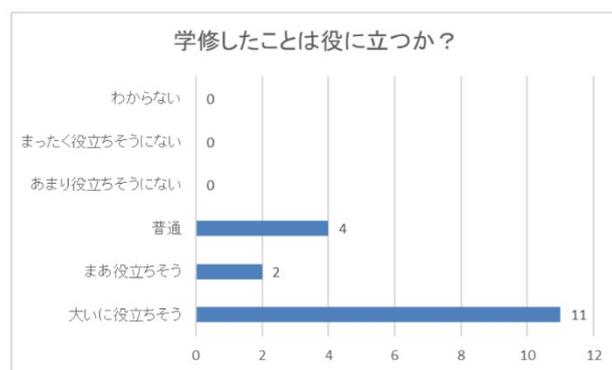
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

いつもありがとうございます。専門学校において「質の保証」が一番難しい問題かつ一番大切な問題だと認識しております。

特に出口＝進路を考えた場合、そこから逆算した質の保証が必要不可欠であることは否めないかと。今後も研修で習得した知識を活かしてよりよい学園作りを目指したいと思います。授業評価は何度も受けていますが、内部質評価という用語は全く知りませんでした。ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

今回の講義を聞き、アセスメントポリシーの重要性や学修成果と教育成果の違いもよくわかりました。分かり易く細かいところまでご講義いただきありがとうございました。

とにかく早急に三つのポリシーの策定が必要であると強く感じているところです。講座で学んだことを手掛かりに、策定を進めたいと思います。ありがとうございました。

学んできた3ポリシーのことは知識として知っている状態でしたが、実際に教務課の業務として何をすべきかがよくわかりました。短期間の視点ではなく、ポリシーの策定から評価まで一貫して教務運営をしていかないと強く思いました。ありがとうございました。

専門職質保証の歴史を知ることができて勉強になりました。大学と専門学校では規模や学生数、資金量、そして社会的影響力にかなりの違いがありますが、質保証にとって必要なことには大きな差がないように感じました。今後の学内・学外の評価の実施の際に、今回の動画講義やオンライン授業での質疑応答の内容を思い出し、活用していきたいと思います。ありがとうございました。

最近の質保証に関する最新動向や評価に関する基礎的な知識から第三者評価についてまで、幅広く学ぶことが出来ました。今後もその必要性が高まることも理解できました。本学においてもこのような取り組みの更なる推進に向け注力していきたいと思います。ありがとうございました。

多くのインプットと気づきがありました。特に、国際的な認証評価については知見がなかったため、勉強になりました。また、評価の基準についての解説も興味深かったです。ありがとうございました。

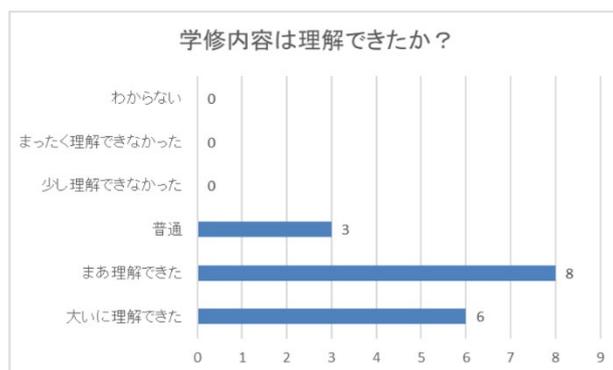
職員室での参加で、川口先生に答弁できず申し訳なく思っております。昼間部・夜間部がありまして、窓口業務に立つこともあり、時間休をもらって別室参加ができればよいのですが、、、

よろしく申し上げます。

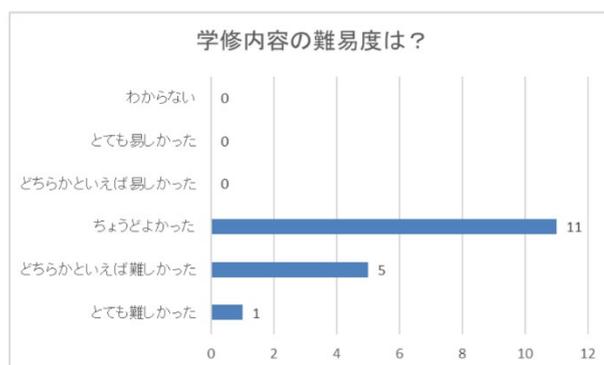
理解度、難易度、役立ち度、いずれも理想的な結果となった。役立ち度については、D群の科目は、普通と大いに役立ったに2極化する傾向が続いている。

D5 授業改善の実務

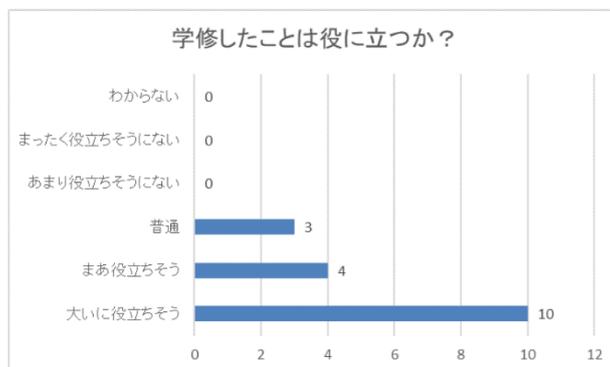
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

いつもありがとうございます。

今後の学校運営の参考とさせていただきます。江島先生のご回復をお祈り申し上げます。

ARCS モデルは知っていました。ありがとうございました。

講義いただきありがとうございました。大変勉強になりました。

授業改善について日々問題点を意識しそれを改善していくことが学生にとって学校にとってそして自分自身にとって利益につながることに再認識させていただきました。ありがとうございました。

授業改善の必要性について、改めて認識することができた。特に ARCS モデルを活用したチェックシートが参考になった。

何度か受講していた内容とリンクするところも多く、断片的だった知識がいろいろつながったように感じます。授業は学校としての本質が問われるところですので、今回の研修をもとに考えていきたいと思います。ありがとうございました。

コロナ禍が続くなか、本校でもオンライン授業が当たり前のような雰囲気になっていましたが、先日改めてWEB学習についての学生アンケートを実施しました。概ねは肯定的な回答でしたが、やはり対面授業を希望する意見もあったため、今後の授業運営のあり方を検討しているところです。そのようなタイミングでの授業改善の実務の講義でしたので、基本を振り返る良い機会になりました。ありがとうございました。

授業改善につながる方法や評価についての具体的な内容を幅広く学ぶことができました。これらを全てを学内で取り入れることは容易ではないと思いますが、今後の質向上の取り組みや自己評価・学校関係者評価ならびに第三者評価などに繋がる非常に重要な実務であることを学ぶことができました。ありがとうございました。

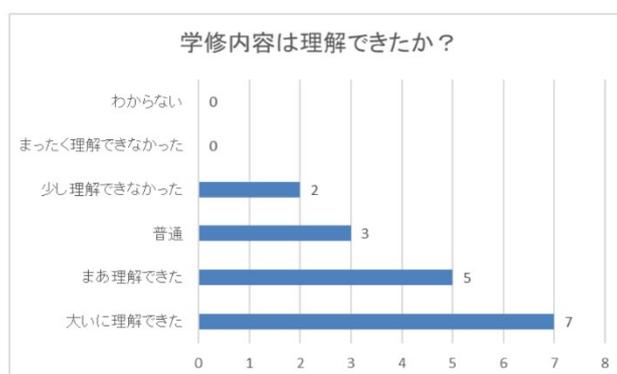
いろいろと気づきがありました。特に、アンケートの標準化については勉強になりました。ありがとうございました。

課題が今の職場になかったので、少し理解を変えて参加させて頂きました。申し訳ありません。

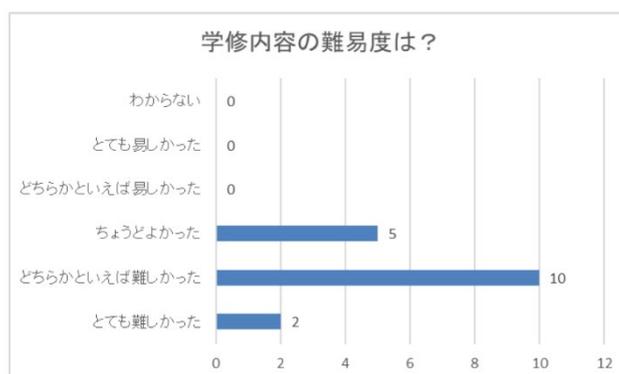
理解度、難易度、役立ち度、いずれも理想的な結果となった。理解度、役立ち度の回答分布から見ると、題材が授業のことなので、分散が見られなかったようだ。

E1 研修方法論

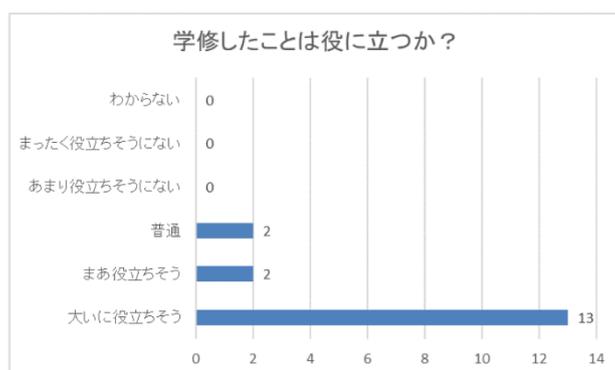
(1) 理解度



(2) 難易度



(3) 役立ち度



(4) フリーアンサー

非常に有意義な時間をありがとうございました。私は教員ではないため、授業を実際に行う機会は殆どありませんが今後の日常業務にいかしていきたいと思います。

行動主義的な研修(授業)ファシリテーションのプロセス・スキルのありよう、アクティブ・ラーニングの解釈にふれることができました。動画による説明、実習もしていただき非常にわかりやすかったです。ありがとうございました。

講義ありがとうございました。非常に有意義な学びの時間となりました。

研究についてどのように行えばよいのかの糸口を発見させていただきました。撮影など実際に行うことで新しい発見もあり今後も活用させていただきたいと思います。また、Zoomの使い方についても知らなかった機能を知ることができ非常に良かったです。ありがとうございました。文字に起こして自分の指導を振り返る機会はほとんどなく、大変いい機会になりました。今後はぜひ教員間の授業見学でも使いたいと思います。ありがとうございました。

リモート授業で活用できる内容でわかりやすかったです。

今まで授業や研修の内容、進め方に関する学習をしたことがなく、全て独学か過去の引継ぎでしたので、とても新鮮で楽しかったです。(その分、実際にシートを書いたり、考えたりすることは一番時間がかかった講座でした。今となってはいい思い出です。)本当にありがとうございました。

研修方法論という科目名に違わず、本講義は進行のプロセスが理解しやすく勉強になりました。コミュニケーションの分析フォームなど、具体的な方法論を示していただけただけで、自分自

身の授業内容や学生との関わりを効果的に振り返ることができました。他の講座(C2 ファシリテーション)の曼陀羅図と同様、実際に使いやすい方法が紹介されることは専門学校教員にとってすごく役立ちます。ありがとうございました。

勤務の関係でオンラインでは参加できず残念でしたが、とても参考になり今後の授業改善にも繋がる取り組みや省察方法を具体的に学ぶことが出来ました。ありがとうございました。別途、ご指示ありましたフォームでも回答いたします。

授業力をあげるには、一にも省察、二にも省察、省察あるのみ、を実感しました。ありがとうございました。

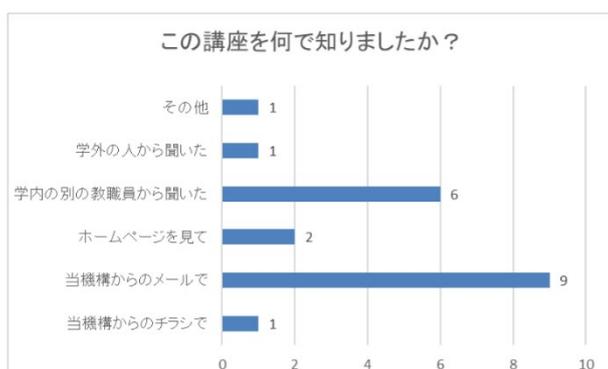
授業法における「気付き」のヒントを三田地先生から頂きました。

ありがとうございました。

理解度、難易度の2つを見ると、若干難しく理解しにくさが感じられる。しかし、役立ち度の分布からは、大変役立つという印象を残したようだ。本事業では、受講者が研修企画をできることを目指すことになっており、その目的は達成されたかと思われる。

全体アンケートの結果

(1) 認知手段



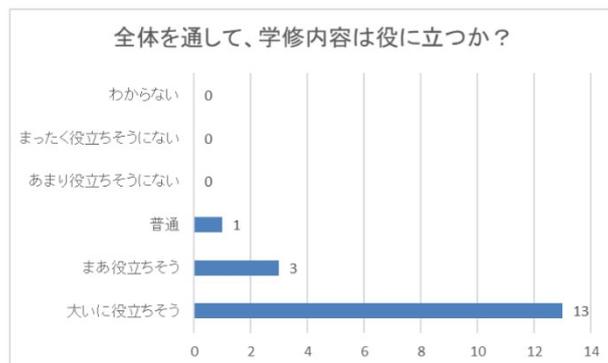
当機構からのメールを軸に認知。

(2) 全体としての理解度



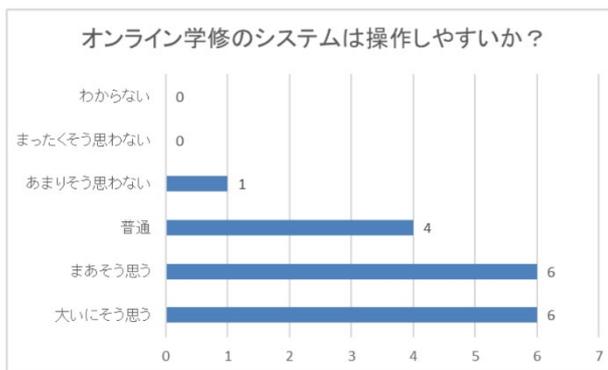
ほとんどの者が理解できている。

(3) 全体としての役立ち度



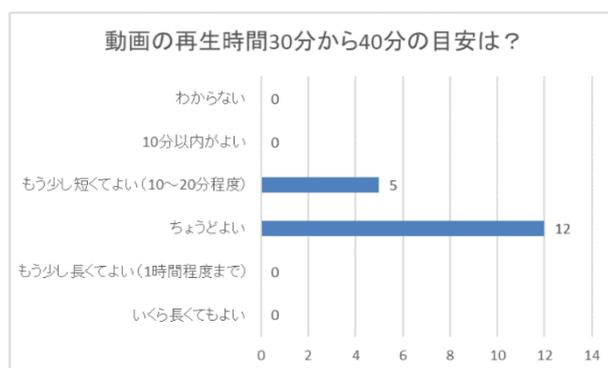
ほとんどの者が役立つと感じていた。

(4) オンライン学習システムの操作性



まあ、操作性は悪くないと感じていた。

(5) 一本の動画 30～40 分の目安



ちょうどよいか、もう少し短くてよい。

フリーアンサー

A 1本の動画再生時間

時間的には丁度いいと思います。

勤務しながらの受講なので、それほどまとまった時間を確保することが(学生と異なり)困難

なので、隙間時間を活用できる時間がありがたかったです。

また、あまり長時間だと集中力が続かないという理由もあります。

上で、「ちょうどよい」にしましたが、3分、10分などがあってもよいと思います。

特にありません。

動画再生時間はちょうど良かったです。時間の都合上一本見続けることが出来ない時に経過時間を確認し改めて観ていましたが、画面上に経過時間もしくは残り時間等が分かり易く表示されているとその場所から見直して便利かなと思いました。

15分程度で分けていただけるといいですね。

続けて1時間の動画については少し長いと感じた。30分ぐらいなら集中して学習できた。

問5でちょうどよいと記入しましたが、30分を超えるとやや疲れがでてきます。ただ、1つの単元が10以上となると、これも全体像がつかみずらく感じます。わがままな受講生で申し訳ありません。

実際に私もオンライン授業の録画をしています。学生への聞き取りでは、30分間くらいまでの動画だと集中力が持続するとの回答が多かったです。講師によって話すスピードに差がありますが、自分が受講者の立場になると、やはり長くても45分間くらいまでの時間が効果的であるように感じました。再生スピードの調節を可能にするか、もし不可であるなら60分間以上の講座は2つに分割する方がよいと思います。

全てのカリキュラムの動画本数や授業時間が統一されていると良いなと思いました。講座内容によって、動画本数ならびに再生時間が同じであると、より取り組みやすくなると思います。

都合によりZoom研修を欠席せざるをえず、その録画をみましたが、長く感じました。

良かったと思いますが、課題のE1パワーポイントが容量が大きく、送る能力がないので失礼いたしました。

適度な時間で、問題ないと思う

B この講座に追加してほしい科目や学修内容のイメージ

具体的な科目名は思いつきませんが、専門学校教職員をターゲットとするならば、学術的な内容よりも実務に役立つ内容であってほしいと思います。大学短大とは異なる存在なので。今回の各講座はそれに合致していたと(私は)判断します。

C1カリキュラムデザインでふれてはいますが、学習観、学習理論の変遷にもっと詳しくふれるべきだと思います。

特にありません。

現在の不安定な世の中ということもあり、学生の状況を知る上での人間行動学や心理学など学んでみたいと思いました。

教員指導や、リスクコミュニケーションに関する科目があると嬉しいです。

リモート学習方法の具体的な事例があると今後の授業の参考になると思う。

今回の講座では教学マネジメント、授業の質向上に関して非常にわかりやすい内容で勉強になりました。イメージとしては教育機関のガバナンス、教職員のモチベーションアップなどがあるとあると嬉しいです。

- ①学生指導・対応にあたって活用できる心理学
- ②理解しやすい Word・Excel 等による資料作成方法
- ③IT 技術・プログラミング
- ④外国人留学生の受入れ・指導の対応

職業教育についての講座があるとよいと思いました。専門職大学の状況や専門学校全体の像についての学修内容があるとよい俯瞰的に多様な分野ごとの特徴や状況など理解が深まると思います。

シラバスの内容の書き方

実務家の業績の書き方

とかがあると良いと思いました。

教育心理学

各実践方法の成功／失敗事例

演習授業の効果的な指導方法や事例多理論的学習。

心理学的な要素

C オンライン学修システムについて改善の要望

正直オンラインの学修、学習に関して素人なので意見、改善要望ができるレベルに到達していません。今後、オンライン授業が一般的になり、もう少し私自身が慣れてくれば意見提案をさせていただけるかと存じます。

メンタリングとメンターが必要だと思います。また、受講者どうしのコミュニケーションが必要です。せっかく様々な専門学校の方がいらっしゃるのでから情報交換にもなります。

履修科目ごとに、時間や課題の難易度が違いますので、検討いただければありがたいです。

特に問題を感じませんでした。

知識領域ではない、スキル化する必要性のある学習領域をどう学びとするか

とくにはない

リアルタイム授業の際は質問はチャットがしやすそうだなと思いました(実際には使用できませんでしたが)。また受講生側の問題でもあるのですが、受講生同士の意見交換もできればよかたと思います。

全体としてオンライン学修システムは使いやすかったと思います。ユーチューブ動画に関しては、再生時間や表示方法をもう少し標準化の方がよいと思いました。あと講師の声以外の雑音が気になる動画があり、これは改善を希望したいです。講師・受講者とのオンライン合同講義は、様々な意見を聞くことができ有意義でした。多くが1時間の限られた枠で

したので、事前にどのテーマを中心にやり取りをするか指定しておいた方が時間の有効活用にもなり、個別の学校のより詳しい詳細・問題点を共有できるように思いました。

進行状態が 100%表示されているのは、とても参考になりました。課題レポートの回答をオンライン授業の前から回答できると助かります。

またオンライン授業の設定時刻をもう少し、固定化して頂けると本務業務と両立しやすくなるかと思います。16:00～ と 19:00 からなど時間調整が難しいと感じる日程もありました。

決まった科目順で並び一覧できるようなモードがあると良いと思いました。

機械に弱いのでついて行くのみ。

都合の良い時間に視聴できるのでよかった

D (教員の場合)あなたが受け持っている科目名 (職員の場合)あなたの主な職務

私は教務課所属の正職員(副責任者)です。

教務課なので、学校全体の教務内容を考えたり授業運営をしたりしております。副責任者という立場上、実務を担当することよりも全体を俯瞰的にみて調整することが多いです。

現在は、看護物理学です。

教員として

介護の基本ⅠⅡ、コミュニケーション技術、レクリエーション実践、健康科学、生涯スポーツ、介護予防

職員

事務部長

理容理論 理容実習 文化論

社会福祉、社会の理解、社会保障論、人間関係とコミュニケーション、介護サービス特論、介護過程、介護総合演習、介護福祉実習、障害の理解、介護基礎講座、介護総合講座等
介護概論(医療、保育)、英会話(保育、国際IT、公務員)、国語(保育、国際IT)

(職員)副校長として教務課と進路課を統括しております。教務課は責任者と兼務です。

担当科目:解剖学、リハビリテーション医学、医療概論、臨床実習

担当職務:学科長(教務の責任者)

運営管理

「デザイン概論」「デザイン史」「総合企画演習」「カレッジライフデザイン」「アカデミックライティング」ゼミ、卒業制作、修了制作、新入生研修

柔道整復理論、関係法規、解剖学、外傷予防技術、検査測定評価、

健康化学1

情報リテラシー、学生指導、就職活動支援など

簿記、オフィスアプリケーション、FP、ERP

3.3 令和2年度事業結果を踏まえたパッケージ改善

昨年度に開発したパッケージに、今年度の事業計画を挿入してみる。

① 基本項目

ID	項目	記入欄
1-1	学校名	ハリウッド大学院大学
1-2	所在地	東京都港区六本木 6-4-1
1-3	課程名	専門職教育マネジメント（美容）
1-4	開設年月日	2021年10月15日
1-5	付与資格	履修証明書
1-6	運営責任者	川島鋼太郎（ハリウッド大学院大学国際交流センター長）
1-7	定員	10名

【記入要領】

- 1-1 設置者名は不要
- 1-2 当該学校の本部所在地
- 1-3 当該プログラウは履修証明プログラムであることを明示
例「専門学校教員のための授業力向上履修証明プログラム」
- 1-4 当該プログラウの内容を決定後、実施を決定して公示した日付
- 1-5 当該プログラウを履修し所定の基準をクリアしたときに付与される資格
- 1-6 運営責任者名
- 1-7 当該プログラウの1クラス定員

【昨年度の例】

ID	項目	記入欄
1-1	学校名	星槎大学大学院教育実践研究科
1-2	所在地	〒231-002 神奈川県横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター5階
1-3	課程名	専門職教育支援士プログラム（教育実践部門）
1-4	開設年月日	2020年11月21日
1-5	付与資格	履修証明書
1-6	運営責任者	大野 精一
1-7	定員	20名

② 学修時間・内容

ID	項目	記入欄
2-1	プログラムの目的	専門職高等教育機関の教職員を対象として、専門職教育マネジメント（美容）の資質能力の向上を目的とする。
2-2	身につけることのできる能力	教育理念を学校経営に反映できる経営能力を開発し、FD・SDの教育成果を経営成果に展開させるためのマネジメント能力
2-3	履修要件	<ul style="list-style-type: none"> リアルタイム授業またはオンライン授業の出席（オンデマンドの場合教材のダウンロードと映像視聴の有無、リアルタイムの場合 Zoom ミーティングの参加の有無）。 各科目に修得レポート課題あり。提示する課題に解答する形式で実施。課題の提出は必須の修了要件。 科目ごとに、出席率と修得レポート課題の結果をもとに総合的な評価を行い、すべての科目で合格と評価されることを修了要件。
2-4	学修期間	2021年10月15日～2022年3月11日
2-5	総授業時数	60時間
2-6	要件該当授業時数	60時間

【記入要領】

- 2-1 当該プログラムが目指すものを示す。
- 2-2 当該プログラムによって身につけることができる能力を具体的に示す。
- 2-3 当該プログラムの修了に必要な要件を具体的に示す。
- 2-4 開始日時～終了日時など。
- 2-5 実施するすべての授業の時数
- 2-6 総授業時数のうち必要最低限時数や必須授業時数など。

【昨年度の例】

ID	項目	記入欄
2-1	プログラムの目的	専門職高等教育機関の教職員として全般的な資質能力の向上
2-2	身につけることのできる能力	専修学校等の専門職高等教育機関で活動する教職員を対象としたFD・SDプログラムとして、教育実践能力を高める
2-3	履修要件	<ul style="list-style-type: none"> オンライン授業の出席（オンデマンドの場合教材のダウンロードと映像視聴の有無、リアルタイムの場合 Zoom ミーティングの参加の有無）。 各科目に修得レポート課題あり。提示する課題に解

		答する（オンライン上で）形式で実施。課題の提出は必須の修了要件。 <ul style="list-style-type: none"> 科目ごとに、出席率と修得レポート課題の結果をもとに総合的な評価を行い、すべての科目で合格と評価されることを修了要件。
2-4	学修期間	2020年11月1日～2021年2月28日
2-5	総授業時数	60時間
2-6	要件該当授業時数	60時間

③ カリキュラム・講義・学習方法

【履修概要】

ID	科目区分	学修目的
A	概論	MD (Management Development) プログラムとしての意味付け、学修成果の大切さを理解する
B	学修成果マネジメント	学修成果のとらえ方、国際通用性のあるビューティビジネスに対する理解
C	経営理念マネジメント	経営理念マネジメントの大切さ、ポイントについて学修する
D	勤務姿勢マネジメント	美容室における接遇の観点から、勤務姿勢のマネジメントのポイントについて学修する
E	まとめ	全体のまとめ

【科目概要】

A 概論

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
A1	MD プログラムと資格枠組	江島 夏実	3.0	オンライン (OD)	MD と美容資格枠組について理解する

B 学修成果マネジメント

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
B1	学修成果指標 (美容分野)	江島 夏実	3.0	オンライン (OD)	美容分野の学修成果指標を理解する
B2	ビューティビジネスの国際化	山中祥弘、寺本義也、蒲生茂	3.0	リアルタイム	ビューティビジネスの国際化の現状と将来を理解する

C 経営理念マネジメント

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
----	-----	----	----	------	------

C1	経営観、宇宙観、人間観、人生観、宗教観、死生観など	大江 弘 (PHP 研究所)	3.0	リアルタイム	経営理念マネジメントの基礎となる経営観などについて理解する。
C2	経営理念研究	佐藤悌二郎 (元 PHP 研究所)	3.0	リアルタイム	松下幸之助の経営理念について理解する。
C3	日本的経営論 ～経営の美学～	(株)日本 生物化学社 長 執行草 舟	3.0	リアルタイム	「理想とは何か」「理想を考え始めた言われ」など理想と日本的経営論の関係を理解する。
C4	中小企業の経営 マネジメント	根田 正樹 (高岡法科 大学 元学 長)	3.0	リアルタイム	「中小企業振興政策論」の論者としての根田氏の話を理解する。
C5	企業を永続的に 発展させる理念 経営	青木 仁志 (アチーブ メントグル ー プ CEO)	3.0	リアルタイム	「企業を永続的に発展させる理念経営」の考え方を理解する。
C6	仕事を通じて生 きることの大切 さ (誇りと理念)	田村 潤 (元キリン ビール副社 長)	3.0	リアルタイム	企業理念の大切さを理解する。

D 勤務姿勢マネジメント

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
D1	歌舞伎における 美	中村 獅童	3.0	リアルタイム	歌舞伎における美とは何かを理解する。
D2	サービス産業の 発展に向けて	小林 哲也 (帝国ホテ ル・特別顧 問)	3.0	リアルタイム	サービス産業の発展に向けた国際ホテル・レストラン・ショー企画委員会の考え方を理解
D3	グローバルビジ ネスマインド	眞野 聖子 (ハリウッ ド大学院大 学講師)	3.0	リアルタイム	グローバルに活躍できるビジネスパーソンになるためのマナーと自己表現力を理解する。

D4	ホスピタリティとビジネスマナーの必要性	眞野 聖子 (ハリウッド大学院大学講師)	3.0	リアルタイム	ホスピタリティの基本を学び美容に関する知識をホスピタリティと融合できる理解。
D5	ホスピタリティ・マネジメント	玉利かおる (ハリウッド大学院大学講師)	3.0	リアルタイム	ホスピタリティマネジメントの適用局面を理解する。

E まとめ

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
E1	まとめ	山中 祥弘	3.0	リアルタイム	全体授業をまとめ、国家戦略特区と外国人美容師の関係を理解する。

【昨年度の例 -履修概要-】

ID	科目区分	学修目的
A	基本科目	専門職教育の意義、方針の理解促進を図る。
B	学修者支援科目	生徒・受講者の学修、キャリア形成の特性に対する理解を助長する。
C	授業運営科目	教員として、授業の効率や効果を高めるのに役立つ知識・方法を学修する。
D	学校運営科目	学校の教職員として、学校の運営・経営を効率的・効果的に進めることに役立つ知識・方法を学修する。
E	研修企画科目	学内研修を企画し、自ら実施する能力を育成する。

【昨年度の例 -科目概要-】

A 基本科目

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
A1	プロフェッショナルディベロップメント	大野 精一 三輪 建二	2.0	オンライン (OD+RT)	専門職教育の意義について理解する
A2	専門職教育における三つのポリシー	江島 夏実	1.75	オンライン (OD+RT)	専門職教育における三つのポリシーを理解する
A3	リカレント教育 -生産性向上に貢献する-	川口 昭彦	1.5	オンライン (OD+RT)	リカレント教育について理解する
A4	専門職教育質保証の基礎と実践	川口 昭彦	1.5	オンライン (OD+RT)	専門職教育質保証の基礎と実践について理解

					する
A5	学修成果・教育成果の可視化	川口 昭彦 野田 文香	2.25	オンライン (OD+RT)	学修成果・教育成果の可視化の方法について理解する

B 学修者支援科目

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
B1	カウンセリング能力	大野 精一	6.5	オンライン (OD+RT)	カウンセリングの手法について理解する。
B2	キャリアの形成と発展	大野 精一 三輪 建二	3.0	オンライン (OD+RT)	キャリアの形成と発展の仕組みを理解する。
B3	発達障害	岩澤 一美	2.75	オンライン (OD+RT)	発達障害の原因と対策について理解する。

C 授業運営科目

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
C1	カリキュラムデザイン	仲 久徳	3.25	オンライン (OD+RT)	カリキュラムデザインの手法・考え方について理解する。
C2	ファシリテーション	三田地真美	3.0	オンライン (OD+RT)	ファシリテーションの意味・役立ちについて理解する。
C3	学習指導能力	三輪 建二	6.0	オンライン (OD+RT)	学習指導能力の高め方について理解する。
C4	学級運営	大隅 心平	6.0	オンライン (OD+RT)	学級運営の方法について理解する。
C5	IT 活用実践	斎藤 俊則	3.0	オンライン (OD+RT)	IT 活用の教育方法について理解する。

D 学校運営科目

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
D1	教育課程編成委員会・学校関係者評価の運用	江島 夏実	1.5	オンライン (OD+RT)	職業実践専門課程認定校における教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会の運用のポイントを理解する。
D2	説明責任と情報公開	江島 夏実	1.5	オンライン (OD+RT)	説明責任と情報公開について理解する。

D3	専門学校経営におけるガバナンスとマネジメント	江島 夏実	5.0	オンライン (OD+RT)	専門学校経営におけるガバナンスとマネジメントの手法について詳細に理解する。
D4	専門職教育質保証の実務	江島 夏実	4.25	オンライン (OD+RT)	専門職教育質保証の実務について理解する。
D5	授業改善の実務	江島 夏実	1.25	オンライン (OD+RT)	授業改善の方法について理解する。

E 研修企画科目

ID	科目名	講師	時間	授業形態	学修目標
E1	研修方法論	三田地真美	3.25	オンライン (OD+RT)	研修の企画・運用等の方法について理解する。

④ 評価

【科目評価】

ID	科目名	講師	評価形態	評価
A1	MD プログラムと資格枠組	江島 夏実	出席状況、試験	出席状況 50%と試験 50%で評価する
B1	学修成果指標 (美容分野)	江島 夏実	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
B2	ビューティビジネスの国際化	山中祥弘、 寺本義也、 蒲生茂	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
C1	経営観、宇宙観、人間観、人生観、宗教観、死生観など	大江 弘	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
C2	経営理念研究	佐藤悌二郎	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
C3	日本的経営論 ～経営の美学～	執行 草舟	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
C4	中小企業の経営 マネジメント	根田 正樹	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
C5	企業を永続的に 発展させる理念	青木 仁志	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する

	経営			
C6	仕事を通じて生きることの大切さ（誇りと理念）	田村 潤	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
D1	歌舞伎における美	中村 獅童	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
D2	サービス産業の発展に向けて	小林 哲也	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
D3	グローバルビジネスマインド	眞野 聖子	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
D4	ホスピタリティとビジネスマナーの必要性	眞野 聖子	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
D5	ホスピタリティ・マネジメント	玉利かおる	出席状況、修了レポート課題	出席状況 50%と修了レポート課題 50%で評価する
E1	まとめ	山中 祥弘	出席状況、試験	出席状況 50%と試験 50%で評価する

⑤ 運営

ID	項目	記入欄
5-1	運営体制 (責任者、組織)	ハリウッド大学院大学 学長 山中 祥弘 (国際交流センター長 川島鋼太郎)
5-2	学費等設定	(委託事業のため無料)
5-3	講師選定	勤務姿勢マネジメント科目のうち、グローバルビジネス マネジメント、ホスピタリティ・マネジメントは内部講 師が任にあたり、その他の科目は業界のオーソリティと もいうべき外部講師が任にあたる。
5-4	履修管理	大学院事務局が、出席状況、修得レポート課題その他の 情報を受講者ごとに管理する仕組みを構築する。

【記入要領】

- 5-1 当該プログラムの運営に関わる組織、人を明記
- 5-2 学費、実習費、受験料等、必要な費用を明記
- 5-3 講師の選定基準・方法等を明記
- 5-4 履修管理方法、出席管理、成績管理、オンライン学習管理の方法を明記

【昨年度の例】

ID	項目	記入欄
5-1	運営体制 (責任者、組織)	星槎大学大学院教育実践研究科 研究科長 大野精一
5-2	学費等設定	(委託事業のため無料)
5-3	講師選定	内部講師については専任の教員があたる 外部講師については一般社団法人専門職高等教育質保証機構の者があたる
5-4	履修管理	出席はオンライン授業の中で確認。成績管理については、大学院事務局の者が出席率、修得レポート課題等の情報を管理する。

⑥ 広報

ID	項目	記入欄
6-1	受講者募集方法	本年度については内部の職員が対象であるため、外部の受講生を募集するためのホームページ等はない
6-2	ホームページ	https://fdsd.qaphe.com/
6-3	成果の公開・共有 の内容・方法	本報告書や、一般社団法人専門職高等教育質保証機構の文部科学省委託事業のページ等において紹介する。
6-4	制度の普及・促進 策	6-2 に示した Web サイトに、制度の普及・促進策等のページを用意する
6-5	費用対効果	(委託事業のため、費用対効果の測定は行っていない)

【記入要領】

- 6-1 募集時期、対象、媒体、内容など受講募集の計画を立て、実行する上考慮すべきことを明記する
- 6-2 ホームページの URL。また、内容作成・更新のタイミングなど、募集活動や学校（または企業など）を広く知ってもらうための方策を明記する。また、広報に役立てるアクセスログの解析方法について明記する
- 6-3 履修証明プログラムなどの成果を公開する方法、またその内容などを明記する
- 6-4 履修証明プログラムなどの制度を広く知ってもらうための方策を明記する
- 6-5 各広報手段の分析と、費用対効果見極めの基準を策定する

【昨年度の例】

ID	項目	記入欄
6-1	受講者募集方法	専門学校職業実践専門課程認定校に郵便やメール等を通じた営業活動を行って募集した。23 名が応募した。
6-2	ホームページ	本学のホームページおよび一般社団法人専門職高等教育質保証機構のホームページに掲載した。

6-3	成果の公開・共有 の内容・方法	一般社団法人専門職高等教育質保証機構の文部科学省委託事業のページに、「専門職教育支援士」履修証明プログラム実施報告書を掲載した。
6-4	制度の普及・促進 策	本学では各種の履修証明プログラムを実施しており、その成果等を各ホームページで公開している。
6-5	費用対効果	本事業は文部科学省委託事業であるため、費用対効果の測定方法、実際の測定結果などは、現段階において測定していない。

⑦ その他

ID	項目	記入欄
7-1	企業連携	企業とリアルタイムで連携した授業は実施していない。

【記入要領】

7-1 授業を企業と連携して行うときに、その内容、時間、授業形態などを明記する。

【昨年度の例】

ID	項目	記入欄
7-1	企業連携	カリキュラム編成、教材作成等の機会において企業と連携するなどの試みを行った。

4 履修証明プログラムの構築

4.1 ご案内と受講申し込み方法

2021年10月1日、本学教職員に対して、「専門職教育マネジメント（美容）」と称する履修証明プログラムの実施を案内し、その案内の中で受講者を募集した。受講希望者は10名であった。

4.2 受講案内

受講案内は次に示すものである。

**専門職教育マネジメント（美容）
履修証明プログラム**

受講案内

この文書は、本プログラムの受講を検討される方を対象に作られたものです。プログラムの目的や概要、科目構成、学修方法などの情報を記載しています。検討のための資料としてご活用ください。

令和3年10月1日
ハリウッド大学院大学
一般社団法人専門職高等教育質保証機構

1

QAPHE 「専門職教育マネジメント（美容）」履修証明プログラム

- はじめに
 - このプログラムは、専修学校等の専門職高等教育機関で活動する教職員を対象としたFD・SDプログラムとしての**履修証明プログラム**です。
 - 履修証明制度は学校教育法第105条の規定に基づき、所定の要件を満たした教育プログラムの修了者に対して、高等教育機関が履修証明書を発行することを認める制度です。このプログラムの修了者には、**ハリウッド大学院大学**が履修証明書を発行いたします。
- 三つのポリシー
 - ディプロマ・ポリシー**
教育理念を学校経営に反映できる経営能力を開発し、FD・SDの教育成果を経営成果に展開させるためのマネジメント能力を開発する。
 - カリキュラム・ポリシー**
ディプロマ・ポリシーを達成するために、「学修成果マネジメント」、「経営理念マネジメント」、「勤務姿勢マネジメント」の3群の科目群を構成する。
 - アドミッション・ポリシー**
美容分野の教育経験を1年以上持った、あるいは、同分野の職員としての経験を1年以上持ったことがあることに受講を薦める。
- 目的
 - 主として、専門職高等教育機関の教職員を対象として、**専門職教育マネジメント（美容）**の資質能力の向上を目的としています。
- スケジュール
 - 開講スケジュール
 - ✓ 開講日 **令和3年10月15日**
 - 閉講日 **令和4年3月11日**
 - ※開講期間は**164日間**です。
 - ✓ 学修時間 **60時間**
- 学習方法
 - すべて**リアルタイム授業**で実施します。
 - リアルタイム授業（45時間）**
 - ✓ 所定の日時に、講師と受講者が一堂に会したオンライン受講も含まれます。
 - ✓ 授業の様子は録画してオンライン学習基盤で発信し、それを受講した者も授業に参加したものとみなします。
 - 修得レポート課題**等に取り組む時間（15時間）
- 成績評価と修了要件
 - 出席をとりまします（Zoomの場合も、**ミーティングの参加の有無**）。
 - 各科目に**修得レポート課題**があります。提示する課題に解答する（オンライン上で）形式で実施します。**課題の提出は必須の修了要件**です。
 - 科目ごとに、**出席率と修得レポート課題の結果**をもとに総合的な評価を行い、**すべての科目で合格と評価される**ことを修了要件とします。
- その他
 - 定員は**10名+若干名**です。

QAPHE 「専門職教育マネジメント（美容）」履修証明プログラム

- カリキュラムとスケジュール

区分	日付	講師	学修時間
			ハイブリッド
A 概論	A1 MDプログラムと資格枠組	QAPHE 江島	3
B 学修成果マネジメント	B1 学修成果指標（美容分野）	QAPHE 江島	3
	B2 ビューティビジネスの国際化	山中学長 寺本義也 蒲生茂	3
C 経営理念マネジメント	C1 経営観、宇宙観、人間観、人生観、宗教観、死生観など	PHP研究所 大江	3
	C2 経営理念研究	元PHP研究所 佐藤	3
	C3 日本的経営論 ～経営の美学～	(株)日本生物化学社長 執行	3
	C4 中小企業の経営マネジメント	高岡法科大学元学長 根田	3
	C5 企業を永続的に発展させる理念経営	アチーブメント社長 青木	3
	C6 仕事を通じて生きることの大切さ（誇りと理念）	キリンビール元副社長 田村	3
D 勤務姿勢マネジメント	D1 歌舞伎における美	中村 獅童	3
	D2 サービス産業の発展に向けて	帝国ホテル特別顧問 小林	3
	D3 グローバルビジネスマインド	メイ・ウシヤマ学園 眞野	3
	D4 ホスピタリティとビジネスマナーの必要性	メイ・ウシヤマ学園 眞野	3
	D5 ホスピタリティ・マネジメント	メイ・ウシヤマ学園 玉利	3
E まとめ	E1 国家戦略特区と外国人美容師	山中学長	3

4.3 シラバス

「専門職教育マネジメント（美容）」履修証明プログラムのシラバスは、令和4年2月28日現在、一部未整備である。同履修証明プログラムの Moodle サイトの上で整備する予定である。

4.4 受講の手引き

本プログラムは、リアルタイムでの実施を基本とするので、そのような実施形態の中では、特に、オンライン学習用の受講の手引きは必要ないとの観点から、受講方法に関する「受講の手引き」は用意していない。しかし、リアルタイムとは言え、すべての講座を録画した映像での受講も認めることとしたので、オンライン学習用の「受講の手引き」は、Moodle サイトからダウンロードできるようにした。

4.5 修得レポート課題

「専門職教育マネジメント（美容）」履修証明プログラムの修得レポート課題は、令和4年2月28日現在、一部未整備である。同履修証明プログラムの Moodle サイトの上で整備する予定である。

5 履修証明プログラムの実施と評価

本報告書の作成時点では、「専門職教育マネジメント（美容）」履修証明プログラムはまだ実施中である。全科目の授業の実施と評価については、プログラム終了後に、とりまとめ、履修証明プログラム実施報告書として当機構ホームページにアップする。

<https://qaphe.com/>

資料1 各講座の配布資料¹

A1 MDプログラムと資格枠組



¹ 以下、講師の許諾を得たもののみ掲載した。

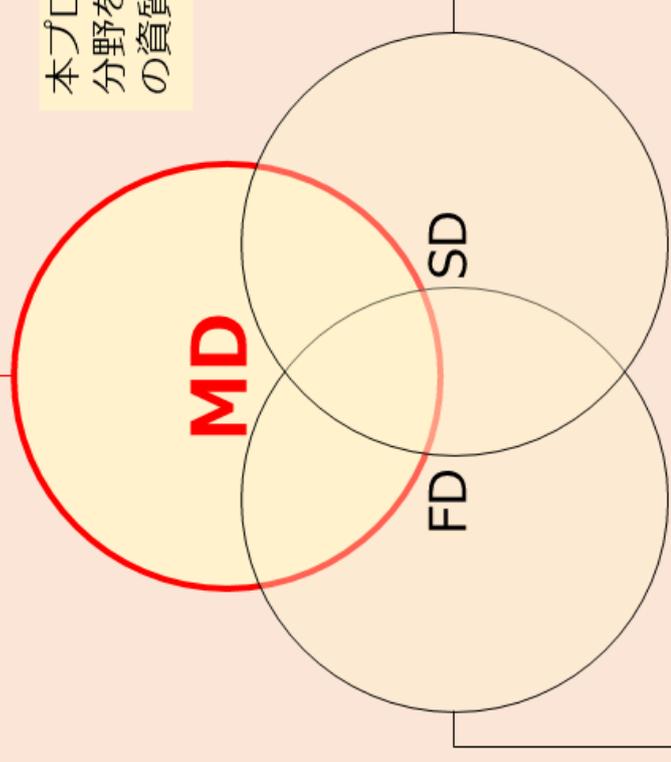


MDプログラム

● FD・SDとMD

MD : Management Development
経営者としての資質能力向上

本プログラムは「美容」分野を事例として、MDの資質能力を高めるもの

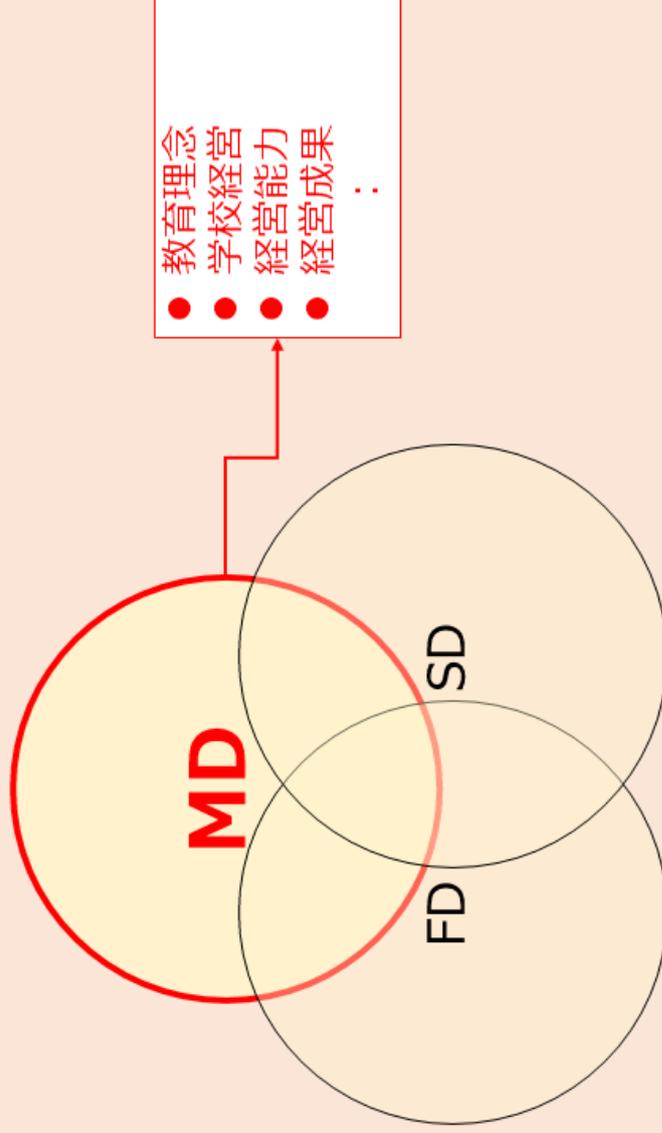


FD : Faculty Development
教員としての資質能力向上

SD : Staff Development
職員としての資質能力向上

MDの目的を達成するために

- FD・SDの教育成果を上げる学校経営は？
 - ・ FD・SDによる教員・職員の能力開発だけでは、十分な教育成果を挙げられない。FD・SDでは授業や管理などの手法の改善に偏りがちで**経営不在**
 - ・ **教育理念を学校経営に反映できる経営能力を開発し、FD・SDの教育成果を経営成果に展開させるためのマネジメント能力の開発**





MDプログラムの全容

- 概論（本授業）からスタートして、
学修成果マネジメント、経営理念マネジメント、勤務姿勢マネジメント
の順

専門職教育マネジメント（美容）

区分		日付
A	概論	A1 MDプログラムと資格枠組
B	学修成果マ ネジメント	B1 学修成果指標（美容分野）
		B2 ビューティビジネスの国際化
C	経営理念マ ネジメント	C1 経営観、宇宙観、人間観、人生観、宗教観、死生観など
		C2 経営理念研究
		C3 日本的経営論 ～経営の美学～
		C4 中小企業の経営マネジメント
		C5 企業を永続的に発展させる理念経営
		C6 仕事を通じて生きることの大切さ（誇りと理念）
D	勤務姿勢マ ネジメント	D1 歌舞伎における美
		D2 サービス産業の発展に向けて
		D3 グローバルビジネスマインド
		D4 ホスピタリティとビジネスマナーの必要性
		D5 ホスピタリティ・マネジメント
E	まとめ	E1 国家戦略特区と外国人美容師

国際通用性の高い美容
分野の学修成果指標

教育理念を経営理念に
反映するマネジメント

美容サービスの接遇マ
ネジメント



資格枠組

● 国際的に通用するもの

- ・ レベル：1～8
- ・ 属性：知識と理解、汎用的技能、職務上の技能、職務上の技能、自律性と責任感、倫理観とプロ意識

属性 レベル	知識と 理解	汎用的 技能	職務上の技能			責任と自律性	
			専門実 践技能	対人能 力	分析技 能	管理・指 導技能	自律性と 責任感
8							
7							
6							
5							
4							
3							
2							
1							

諸属性の各レベルにおける水準を記載。

※レベル1…小学校卒業、2…中学校卒業、3…高等学校卒業、4…専門学校卒業、5…専門学校（3年制）卒業、6…大学卒業、7…修正課程修了、8…博士課程修了



資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター）

●レベル8

資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター）

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能			自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能*1	分析技能*2		
8	<p>学習者は、専門分野や専門的実務分野の最先端の知識について、批判的理解を示す。</p> <p>新しく知識的な知見/実務につながる高度な研究を、主体的に実施・管理・統率する。</p> <p>論文、特許、製品、新規の高度な専門的実務、先進技術、創造的モジュール、芸術作品や言葉などの形で研究成果を産み出す。</p> <p>専門分野の観点、主張、アイデアを、知識と自信をもって提示し、正しいと証明する能力を発揮する。</p>	<p>専門分野や専門的実務分野の最先端にある新しく複雑な抽象概念や課題を、批判的に分析・評価して、総合的複合な抽象的アイデアを提示する。</p> <p>高度な研究手法・解析手法・技法を駆力として、現代の複雑で抽象的な新しい問題や実務分野の新しい知見、理論、解決策、実証方法を創造的に産み出す。</p> <p>ピアレビューや国際基準を満たす知識性の高い研究により、新しい知見、理論、解決策、実証方法を産み出す。</p>	<p>実用的・技術的な技法/実務方法や科学的技法を創り出す。この能力を産出する。この分野の最先端において、複雑で最新の問題を解決するための技法、技術や解決策を開発するものである。</p> <p>複数の分野で、高度で専門的な研究方法論を設計/実施/改良する能力を発揮する。</p>	<p>同業者、研究者コミュニティや一般社会に対して、当該分野の研究成果を効果的に伝える。</p> <p>学習の場や職場の人々、民族や職業が異なるグループ・ネットワークに所属する多様な人々に対応する。</p> <p>専門分野の情報、知見、アイデア、課題や同業者、研究者コミュニティや一般社会に説得力をもって理路整然と伝える。</p>	<p>研究・実務活動の質を高めるために、既存の手法/方法論を利用/選択/改良する、あるいは適切な新しい手法/方法論を開発する。</p> <p>教師や専門家や同僚からの批判的評価を行う。</p>	<p>新しい知見を産み出し、実務、プロセスや製品の高品質化に貢献する研究や実務管理について、主体性、自主性、権限をもって取り組む。</p> <p>リーダーシップ、プロ意識、多様なパートナーと効果的に協力をし、専門職/専門家レベルの新たな問題について、学術的および専門的観点から、社会的、文化的進歩に貢献する。</p>	<p>自分自身の仕事について、全面的に責任を負う。必要に応じて、所属する組織の運営管理全般にも説明責任を負う。</p> <p>生涯学習に対する知見と、新しいアイデア、解決策、システムの開発・融合を図る。</p> <p>ベンチャー事業およびプロジェクトを起し、そのリーダーとなり、社会的、技術的、経済的発展に専門的立場から貢献する。</p>	<p>法律上、職業上の行動規範や、倫理的に健全な行動規範を遵守する。</p> <p>倫理上、職業上の新たな課題を見だし、その複雑さや、専門分野における研究の進展や社会全体への影響を明らかにする。</p> <p>社会的、技術的、経済的発展に専門的立場から貢献する。</p>

- ✓ 資料の出典：一般社団法人専門職高等教育質保証機構の文部科学省委託事業成果ページ
<https://gaphe.com/mext/mext2020/competency2020/competency2020result/>
 特に、資格枠組のレベル定義については、下記のPDFファイル参照
<https://gaphe.com/wp/wp-content/uploads/uploads/competency2020-jp.pdf>



資格枠組のレベル定義 (レベルディスプレイプロクター)

●レベル7、6

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能				自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能*1	分析技能*2	管理・指導技能		
7	<p>学習者は、学習/研究/専門的実務を進めることにより、高度な理論的知識、批判的根拠、創造能力や革新能力に因する理解を基礎として、学習/実務の特定分野における高度な知識を習得する。また、課題に対して、新しい解決策を産み出す。</p> <p>世界でも、知識と能力を生かして、自信をもって行動する。</p>	<p>学問分野または実務分野において、分析的・批判的評価を行い、複雑な情報や専門的な概念・理論・手法・実務をまとめるための知識を、概念的・応用的に行い、知識を批判的・総合的に活用し、学問/実務分野における複雑な課題に対処し解決する。</p>	<p>高度な技術、手法、技能を活用して、新しいアイデア/創造的な実務法を産み出すためのアプローチを幅広く、概念的に行い、知識を批判的・総合的に活用し、学問/実務分野における複雑な課題に対処し解決する。</p> <p>学問分野または実務分野の複雑な問題や課題に対処し解決する能力を発揮する。</p> <p>最低一つの外国語を使い、仕事や高度な学習を行う能力を発揮する。</p>	<p>同業者、専門家、素人に対して、最低一つの国際言語で、適切な方法をを用いて、知識、技能、アイデア、評論、結論/論議を明確に伝える。</p> <p>学習の場や組織の多様な人々や、民族や職業が異なるグループ、ネットワークと協力的なから仕事ができる。</p>	<p>新しい解決策/課題に取り組みのために、アプローチやシステムを調整する。情報、メディア、技術のアプリケーションを幅広く利用して、学習/研究/実務を支援する。</p> <p>数学的手法や他の定量的・定性的手法を適用して、学習/仕事の数種データや図表データを分析・評価するなど、評価業務を設計・立案する能力を発揮する。</p>	<p>複雑かつ予測がつかない状況下で、自分のチーム内の作業や他チームとの協働作業の企画、資源管理、監督、問題解決、作業管理に相当する責任を持つ。</p>	<p>研究者や職業人として成長を遂げることにより自己の向上を図る。</p> <p>ベンチャー事業あるいはプロジェクトを起し、そのリーダーになったりする。</p>	<p>法律上、倫理上、職業上の行動規範を遵守する。</p> <p>批判的洞察や倫理的配慮に基づき、複雑な問題について助言や決定を行う自信を示す。</p> <p>国や世界の社会的、技術的、経済的発展のために、専門的立場で貢献する。</p> <p>市民社会や世界が抱えるさまざまな問題に、自分の専門分野で取り組む能力を発揮する。</p>	
6	<p>学習者は、専門分野での研究開発、創造性や革新が欠かせない専門職の任事に求められる知識と能力を理解する。</p> <p>専門職業人としての姿勢・心構えと柔軟な対応力を持ち、倫理的な組織文化や持続可能性に向けて取り組み、日本の国際目標に沿った一員としての認識を持つ。</p>	<p>学問/研究/実務の分野で、批判的・分析的な能力や評価能力を用いて、当該分野の知識の活用において知的な主体性を発揮する。</p> <p>複雑な用途を管理、解明し、創造的で革新的な解決策を用いて、予測できない問題に対処する。</p> <p>学問/研究/仕事/実務の分野で、技能/知識をさまざまなアプローチに活用する。</p>	<p>広範囲にわたる複雑な問題の解決に、基本的な方法や手法を幅広く応用する。</p> <p>専門分野に関する実務や手法の見直し、調整、監督を行う。</p>	<p>多様な他者に対して、アイデアや考えを、文書および口頭で、適切な表現方法を用いて、自信をもって正確に理解されたと伝える。</p> <p>学習や仕事などの多様なコミュニケーションの人々や、地域や国が異なる多様な人々と協力を図る。</p>	<p>多様なITツールやメディア、アプリケーションを幅広く使用し、学習/仕事を支援する。</p> <p>数種データや図表データを組み合わせて学習/仕事に使う。</p>	<p>多様な組織的枠組みや制約の下で、自主的に仕事をし、各種業務管理でリーダーシップとプロ意識を発揮する。</p> <p>自分や他者の業績について、相当レベルの責任を負う。</p> <p>事前に定めた目標や成果に向けて仕事をすることで、意思決定能力とプロ意識を発揮する。</p>	<p>進んだプロジェクトの中で企業家としての能力を発揮する。</p> <p>自ら定めた方向で、生涯学習や職業の実現に向けて取り組む。</p> <p>地域/国/世界の社会的・政治・経済・文化的に幅広い課題について認識を示す。</p> <p>専門分野で、説明責任を果たす。</p>	<p>社会的・職業上の多様な環境や実務の中で、倫理観を明らかにし、倫理観を持って決断し、専門職業人として行動する能力を発揮する。</p> <p>地元や世界が抱える科学的、技術、ビジネス、社会、環境の課題について、深い認識と知識を示す。</p>	



資格枠組のレベル定義 (レベルディスプレイプロクター)

●レベル5、4

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能				自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能*1	分析技能*2	管理・指導技能		
5	<p>学習者は、相当量の理論的・専門的知識を持ち、職場で複雑な状況に対処することができ、組織や職業で求められることを理解し、それに従うことができる。</p> <p>学習者は、倫理的にも、地域社会や世界で働きたいと生活したりする想いにも、持続可能な方法を用いる能力を持つ。</p>	<p>高度な専門知識が求められる分野で、予測可能な多様な任務/仕事/学習に取り組むために、理論、概念、技術について広範囲の知識と理解を有する。</p>	<p>一つの専門分野または仕事において、専門的・概念的・理論的知識を詳細に認識し、解釈、応用、分析、評価する。</p> <p>曖昧で複雑な定型的・非定型的な状況や、予測できない状況でも、限られた範囲のアプリオリな一歩や自主性をもって、問題や課題を解決する。</p>	<p>実践能力を幅広く活用して、多様な学習や複雑な任務について、必須の方法論や手法を用いている。</p> <p>関連した実地方法やプロセスの見直しや調整を行い、他の人たちを監督する。</p> <p>最低二つの言語で、高い会話力や文書作成能力を示す。</p>	<p>社会的、学術的、職業上の目的で、多様なチームに情報、アイデア、問題、解決策を伝えるために、分りやすい方法を、効果的にコミュニケーションを取ったり交流したりする。</p> <p>最低二つの言語で、説明責任を負ったりする能力を示す。</p> <p>業務分野が専門でない場合を含め、新しい環境で、チーム・リーダーシップを発揮する。</p>	<p>多様なITツールやメディア、アプリケーションを幅広く利用して、学習/仕事を支援する。</p> <p>複雑で定型的、非定型的な数値データや図表データ/視覚データを解釈して使用する。</p>	<p>相当な自主性をもって、かながら仕事を負いながら仕事をこなす。</p> <p>職場で、育達の割り当てや他者の成長に関わる判断について、単独で経営的決断を下す。</p> <p>責任を取ったり、説明責任を負ったりする能力を示す。</p>	<p>関連する特定の状況で、企業家的な能力を発揮する。</p> <p>自ら方向を定めた生涯学習に効果的に取り組む、専門的な共同作業や研究に自主的に参加する。</p> <p>地域や世界で、複数の言語が飛び交う多民族・多文化の状況下で、仕事や学習を行う能力を発揮する。</p>	<p>社会的責任を果たす能力を発揮する。専門職や人に相対しい倫理的慣行や持続可能な慣行に賛う能力を示す。</p> <p>地域や世界で、持続可能な社会をつくるために貢献する。</p>
4	<p>学習者は、一般理論・原理について幅広い知識を獲得し、特定分野の学習/訓練の能力を発揮する。それにより、技術職・専門職・経営職の分野のキャリアにつながる専門的な仕事を行うことができる。</p> <p>学習者は、進学への関心を示す。</p> <p>学習者は、倫理観ある適切な行動を取ろうと努力し、世界の中の日本という視点で、日本の目標への理解を示す。</p>	<p>当該分野の学習/訓練の中で、複雑で定型的/非定型的な任務/学習を行うための複雑な理論的知識・能力について、広範囲にわたる体系的に把握・理解する。</p>	<p>学習/仕事の内容が明確になっている場合、最低限の監督を受け、一般概念/理論/適用原理を認識・解釈・適用・評価する。</p> <p>明確でありふれた問題や、日常的に見られる性質の問題を解決する。</p>	<p>学習/仕事を支援したり、仕事や学習に関するデータを調べたり処理するために、多様なデジタルツールを利用する。</p> <p>学習/仕事を支援したり、仕事や学習に関するデータを調べたり処理するために、多様なデジタルツールを利用する。</p> <p>所定の複雑な数値データや図表データ/画像データを解釈し、適用する能力を発揮する。</p>	<p>他の学生や専門職、業人などに対して、アイデア、情報、問題、解決策を、口頭でも文書でも明確に伝える。</p> <p>単独、またはチームメンバーの一員として、管理者や同僚、部下と効果的に交流する。</p> <p>日本語のほか最低一つの言語で、能力を発揮する。</p>	<p>学習/仕事を支援したり、仕事や学習に関するデータを調べたり処理するために、多様なデジタルツールを利用する。</p> <p>学習/仕事を支援したり、仕事や学習に関するデータを調べたり処理するために、多様なデジタルツールを利用する。</p> <p>所定の複雑な数値データや図表データ/画像データを解釈し、適用する能力を発揮する。</p>	<p>さまざまな状況で実施される明確で非定型的な学習/任務について、幅広い助言や指導を受け、かながら責任と自主性をもって仕事をこなす。</p> <p>職場で各種チームのリーダーと管理を行い、問題に対処する。</p>	<p>企業的な活動について調べたり参加したりする。</p> <p>進学の可能性や自己研鑽の取り組み方を明確にする。キャリアや職業について現実的な目標を立てる。</p> <p>地元・地域社会づくりにつながる専門的活動や市民活動に関心を示し、参加する。</p>	<p>仕事において、組織の倫理や職業倫理を理解し、従う能力を示す。</p> <p>地域社会や世界で働いたり生活したりする場合、持続可能な方法を適切に用いる能力を示す。</p>



資格枠組のレベル定義 (レベルディスクリプター)

●レベル3、2

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能			自律性と責任感	倫理観とプロ意識
				専門実践技能	対人技能*1	分析技能*2		
3	<p>学習者は、中級レベルの事実や原理原則について、基本的、理論的かつ専門的な知識を獲得する。必要に応じて、仕事に関するプロセスの取られた能力を示す。</p> <p>学習者の興味や仕事に関連する学習や訓練に興味を示す。</p> <p>年齢相応に地域社会に参加し、世界の問題に対して年齢相応の認識を持つ。</p> <p>英語など、日本語以外の言語で、初級の言語能力を獲得する</p>	<p>知識や、よく知っている手法、スキルを活用して、定型的任務/学習の予測できる問題を解決する。</p>	<p>知識や、よく知っている手法、材料、技術、材料を使って、定型的・非定型的な任務/問題への取り組み/解決策を組織・適用し、完了させる。</p> <p>日本語以外に最低一つの国際語の初歩的能力を養成する。</p>	<p>他の学生、専門家、業人に対して、単純で、あるいはチームで、口頭または文書によって、アイデア、情報、問題、解決策を効果的かつ明確に伝える。</p> <p>日本語以外に最低一つの国際語の初歩的能力を養成する。</p>	<p>学習/仕事を支援する基礎的なITアプリケーション/仕事に関連するデータを調査、処理する。</p> <p>よく知っていて分かったりやすい数値データや図表データを解釈し、活用する。</p> <p>学習/仕事/任務の成果や成績に対して、よく考え、責任を負う</p>	<p>最低限の指導監督下で、学習による自己研鑽やトレーニングを積んだりする。</p> <p>日本および近隣諸国について、認識と一般的知識を持つ。</p> <p>企業家に求められる知識や能力について、基礎的な理解を示す。</p>	<p>多文化環境の中で行う学習/任務で、職業倫理に資することができ、地域社会や世界に役立つ事例（環境問題など）について、地域社会と積極的に関わる。</p>	
2	<p>学習者は、一定の環境で責任感と倫理観のある職業人として仕事を行うための知識と技能を獲得する。</p> <p>進学や、積極的に生涯学習に取り組むことに関心を示す。</p> <p>地域社会に参加する技能を高める。</p> <p>英語など、一つの外国語の基礎的能力を高める。</p>	<p>知識と技能を、明確な定型的学習/任務に活用する。</p> <p>明確な定型的学習/任務において、よく知っている解決法を応用して予測できる問題を解く。</p>	<p>一般的な基本手法、材料を用いて、指導を受けて、明確な任務を計画し、完成させる能力を発揮する。</p> <p>日本語以外の言語一つ以上の基礎的能力を高める。</p> <p>進学準備に責任を持ち、準備に取り掛かる。</p>	<p>よく知っている日常的な事例について、単純で体系的な情報のやりとりが必要な限られた状況で、コミュニケーションをとる。</p> <p>日本語以外の言語一つ以上の基礎的能力を高める。</p>	<p>教師の監督の下で、所定の任務を行うための基礎的なアプリケーションやITツールを利用して、簡単なデータを処理する。</p> <p>少量の単純でよくある数値データや図表データを解釈する。</p>	<p>体系的な活動において、監督の下で、ほとんど自主性なく、相応な支援を受けて、作業や仕事を完了する。</p> <p>責任や説明義務をほとんど負わずに、チームで作業し、意思交換や相手へのフィードバックを行う。</p>	<p>教師の指導を受けて、学習に一定の責任を負い始める。</p> <p>任務や個人の行い・価値観について考える力を養育する。</p> <p>一定の個人の価値観を学習/任務の中で生かす能力を示す。</p> <p>自分以外の文化や価値体系に触れ続けることで、文化的多様性への理解を深める。</p> <p>政治意識や社会意識を高める。</p>	

資格枠組のレベル定義（レベルディスクリプター）



●レベル1

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	汎用的な技能	職務上の技能			自律性と責任感	倫理観とプロ意識	
				専門実践技能	対人技能*1	分析技能*2			管理・指導技能
1	学習者は、最低レベルの基礎的な一般知識・技能を獲得し、指導の下で、基本的かつ極めて定型的な任務を行い、さらに学習を進め、責任感と倫理観ある職業人になるための準備をする。 地域社会や、地方・国の制度について認識し、自分以外の世界に好奇心を持つ。	分野や対象の狭い範囲内で、単純で基本的な知識と技能を言葉で説明し、非常に定型的で予測できる任務および学習を行う。	定型的で明確で予測できる任務において、指導を受けて、基礎的な知識を活用する。 成果や成績について、考え、改善する力を発揮する。	明確な任務について、各種の一般的な基本手法や材料を使う初歩的な技能を掌握する。	限られた状況の下で、観察可能な日常的な表現や簡単な言葉を伝える。	基礎的な数学的手法（記号など）を利用する力を示す。 教師の指導の下で、与えられた任務を行うのに十分な、いくつかの簡単な/基本的アプリケーションを利用する。	直接指導の下、支援を受けて、構成された活動/任務に取り組み、単独またはチームで作業や仕事を完了させる力を発揮する。	教師の働きかけと指導の下で、学習に一定の責任を負い始める。 教師の指導の下で取り組まれた任務について、検討・反省する力を示す。 学習や任務の中で、生かせる個人の価値観を明確にする能力を示す。	社会の責任あるメンバーとなり、自分以外の文化に対する配慮を示す。

*1 コミュニケーション技能等についても記述する。 *2 デジタル・数的技能等についても記述する。

各レベルの目安

- レベル8：専修学校専門課程 (2) 卒業後15～20年経過 (35～40歳)、博士
- レベル7：専修学校専門課程 (2) 卒業後10～15年経過 (30～35歳)、修士 [専門職]
- レベル6：専修学校専門課程 (2) 卒業後5～10年経過 (25～30歳)、高度専門士、学士、学士 [専門職]
- レベル5：専修学校専門課程 (2) 卒業 (20歳)、専門士、短期大学士、短期大学士 [専門職]、準学士
- レベル4：専修学校専門課程 (1) 卒業 (19歳)
- レベル3：高等学校卒業 (18歳)
- レベル2：中学校卒業 (15歳)
- レベル1：小学校卒業 (12歳)

資格枠組のレベル定義（概要）

レベル	知識	技能*1	責任と自律性*2
8	専門的実務／学問分野において最先端のフロンティア。新しい専門的実務や知見につながる分野横断的な視点・知識・理解	研究や革新の重要な課題を解決し、既存の知識や専門的実務を再定義するために必要な、最も高度な専門的スキル	専門的実務や学問の最前線で、新しいアイデア・プロセス開発に対する権威、自律性、学術的・専門的な誠実性および特長的な関与
7	高度に専門化された知識。その内いくつかは、仕事／学習分野における知識の最前線。異なる分野の知識・理解	実務／学問分野における主体的・批判的洞察と分野横断的知識の統合。新しい知識や方法論の研究・開発・革新に必要な問題解決技能	複雑で予測不可能な課題に対する革新的な取組が求められる仕事や学習の管理。専門的な知識・実践と管理への貢献・評価
6	理論や原理の批判的思考を含む、仕事／学習分野に関する高度な知識・理解	仕事／学習分野で、複雑で予測不可能な課題の解決のために必要な熟練と革新を実証する高度な技能	技術的・専門的活動を管理し、予測不可能な仕事や学習の場面で意思決定を行う責任。個人や団体の専門的な開発を管理する責任
5	仕事／学習分野における総合的、専門的、事実に基づいた知識と、その知識の批判的認識	抽象的な問題を創造的に解決するために必要な包括的な認知科学技術と実践的スキル	予期せぬ変化がある仕事／学習活動の主体的管理と監督。自己と他者の業績の点検・開発
4	仕事／学習分野における幅広い文脈の中で事実と理論の知識	仕事／学習分野における特定の課題の解決策を産み出すために必要な一連の認知・実践技能	通常は予測可能であるが変化する可能性のある仕事や学習の文脈の中での自己管理。他者の日常業務を監督し、仕事／学習活動の評価・改善
3	仕事／学習分野における事実、原則、プロセス、一般概念の知識	基本的な方法、手法、材料、情報の選択・利用によって、任務を達成し問題解決に必要な認知・実践技能	仕事や学習の完了に対する責任。問題を解決する際の状態に対する自己の行動の適応
2	仕事／学習分野における基本的な知識	簡単な規則と手法を利用した任務の実行。日常的な問題を解決する目的で関連情報の利用に必要な基本的な認知・実践技能	監督下で、ある程度の自律性を持った仕事や学習
1	基本的な一般知識	簡単な任務を実行するために必要な基本スキル	直接監督下で、構造化された状況での仕事や学習

*1 汎用的な（認知的）技能および職務上の（実践的）技能を記述

*2 知識と技能を自律的に、責任を持って適用する能力を記述

各レベルの目安

- レベル8：専修学校専門課程（2）卒業後15～20年経過（35～40歳）、博士
- レベル7：専修学校専門課程（2）卒業後10～15年経過（30～35歳）、修士、修士〔専門職〕
- レベル6：専修学校専門課程（2）卒業後5～10年経過（25～30歳）、高度専門士、学士、学士〔専門職〕
- レベル5：専修学校専門課程（2）卒業（20歳）、専門士、短期大学士、短期大学士〔専門職〕、準学士
- レベル4：専修学校専門課程（1）卒業（19歳）
- レベル3：高等学校卒業（18歳）
- レベル2：中学校卒業（15歳）
- レベル1：小学校卒業（12歳）

資料の出典：一般社団法人専門職高等教育質保証機構の文部科学省委託事業成果ページ
<https://qaphe.com/mexy/mext2020/competency2020/result/>
 特記、資格枠組のレベル定義（概要）については、下記のPDFファイル参照
<https://qaphe.com/wp/wp-content/uploads/competency2020outline-ja.pdf>



まとめ

- MDの意味
 - ・ Management Development
 - ・ FD・SDの上位概念としてのMDの意味
 - ・ 教育理念、学校経営、経営能力、経営成果などを、従来のFD・SDよりも上位のレベルで意識
 - ・ このプログラムではそのことを強く意識した心構えが必要
- 学修成果として資格枠組を意識する位置づけ
 - ・ レベルが国際的に共通
(一部、レベル分けが10段階の国もあるが、基本的には8段階)
 - ・ 属性もほぼ国際的に共通
 - ✓ 知識
 - ✓ 技能
 - ✓ 責任と自律性

学修成果マネジメント

学修成果指標 (美容分野)

ハリウッド大学院大学
2022年2月



学修成果指標 美容分野-美容師職種 (レベル8、7)

●レベル8、7

学修成果指標 (美容分野 - 美容師職種)

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能				責任と自律性	
			汎用的な技能	専門実践技能	対人技能	分析技能	管理・指導技能	自律性と責任感
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機能的かつ革新的な美容サロンの研究・模造・実践 ・ 付加価値の高い美容サービスの開発・マネジメント ・ 美容業界を代表する形での成果の表出 ★ レベル8のイメージ ・ キーワード ・ 革新、模造、最先端、マネージャー、マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> □ ビューティシアンとしての知識と専門的交際を促すこと □ 美容分野の最先端にある新しい技術の活用 □ 美容分野の最先端にある最新の知識・技術・介護 □ IT □ その他関連領域 □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流を促すための知識と理解 □ 美容サロンの組織、中長期経営計画の立案を促すための知識(経理・会計・法務・マーケティングなど) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流 □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流 □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流 □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流 	<ul style="list-style-type: none"> □ 研究、実務活動の質を高めるために、既習知識の活用 □ 美容分野の最先端にある最新の知識・技術・介護 □ 美容分野の最先端にある最新の知識・技術・介護 □ 美容分野の最先端にある最新の知識・技術・介護 	<ul style="list-style-type: none"> □ 美容サロンの組織、中長期経営計画の立案 □ 美容サロンの経営戦略 □ 美容サロンの経営戦略 □ 美容サロンの経営戦略 	<ul style="list-style-type: none"> □ 自分自身の仕事について、主体的に責任を負う責任感 □ 必要に応じて、所属する組織の経営管理活動に対する責任感 □ 専門学習に対する加見と、新しいアイデア・知識・スキル・ノウハウの開発・融合 □ 社会的、技術的、経済的発展に美容師の立場から貢献 	<ul style="list-style-type: none"> □ 組織的倫理観の形成 □ 倫理観の形成 □ 倫理観の形成 □ 倫理観の形成 	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 革新的な美容サロンの研究・模造・実践 ・ 付加価値の高い美容サービスの開発・マネジメント ・ 美容業界を代表する形での成果の表出 ★ レベル7のイメージ ・ キーワード ・ 革新、模造、最先端、マネージャー、マネジメント 	<ul style="list-style-type: none"> □ ビューティシアンとしての知識と専門的交際を促すこと □ 美容分野の最先端にある新しい技術の活用 □ 美容分野の最先端にある最新の知識・技術・介護 □ IT □ その他関連領域 □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流を促すための知識と理解 □ 美容サロンの組織、中長期経営計画の立案を促すための知識(経理・会計・法務・マーケティングなど) 	<ul style="list-style-type: none"> □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流 □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流 □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流 □ 美容分野、美容関連分野における有用な業界団体のリサーチと交流 	<ul style="list-style-type: none"> □ 研究、実務活動の質を高めるために、既習知識の活用 □ 美容分野の最先端にある最新の知識・技術・介護 □ 美容分野の最先端にある最新の知識・技術・介護 □ 美容分野の最先端にある最新の知識・技術・介護 	<ul style="list-style-type: none"> □ 美容サロンの組織、中長期経営計画の立案 □ 美容サロンの経営戦略 □ 美容サロンの経営戦略 □ 美容サロンの経営戦略 	<ul style="list-style-type: none"> □ 自分自身の仕事について、主体的に責任を負う責任感 □ 必要に応じて、所属する組織の経営管理活動に対する責任感 □ 専門学習に対する加見と、新しいアイデア・知識・スキル・ノウハウの開発・融合 □ 社会的、技術的、経済的発展に美容師の立場から貢献 	<ul style="list-style-type: none"> □ 組織的倫理観の形成 □ 倫理観の形成 □ 倫理観の形成 □ 倫理観の形成 	

レベル	学習者プロフィール	知識と理解	技能				責任と自律性		
			汎用的な技能	専門実践技能	対人技能	職務上の技能	分析技能	管理・指導技能	自律性と責任感
	<ul style="list-style-type: none"> 美容師として的一般常識・原則に関するひととのおりの知識の獲得 美容師としての基本的な技術の獲得 接客マナーの一員としての接客マナーの獲得 接客マナーに関する必要知識・技術の習得 接客マナーを卒業後2～3年程度の間継続して実践・向上させること 接客マナーを卒業後1～2年程度の間継続して実践・向上させること <p>★レベル5のイメージ 「わかる」・「美容師、ジュニアアシスタント」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 接客領域の知識 <ul style="list-style-type: none"> 現在の日本の美容師の実情 美容師としての一般常識・原則 美容師の職業倫理の認識・理解 接客マナーの重要性 接客マナーに関する必要知識・技術の習得 接客マナーを卒業後2～3年程度の間継続して実践・向上させること 接客マナーを卒業後1～2年程度の間継続して実践・向上させること 接客マナーに関する必要知識・技術の習得 接客マナーを卒業後2～3年程度の間継続して実践・向上させること 接客マナーを卒業後1～2年程度の間継続して実践・向上させること 	<ul style="list-style-type: none"> 国家試験実技事項（カット・ワックス・カラー）の習得 接客マナーに関する必要知識・技術の習得 接客マナーを卒業後2～3年程度の間継続して実践・向上させること 接客マナーを卒業後1～2年程度の間継続して実践・向上させること 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション能力 <ul style="list-style-type: none"> 接客マナーに関する必要知識・技術の習得 接客マナーを卒業後2～3年程度の間継続して実践・向上させること 接客マナーを卒業後1～2年程度の間継続して実践・向上させること 接客マナーに関する必要知識・技術の習得 接客マナーを卒業後2～3年程度の間継続して実践・向上させること 接客マナーを卒業後1～2年程度の間継続して実践・向上させること 	<ul style="list-style-type: none"> 接客マナーに関する必要知識・技術の習得 接客マナーを卒業後2～3年程度の間継続して実践・向上させること 接客マナーを卒業後1～2年程度の間継続して実践・向上させること 				

学修成果指標の応用



●学修成果指標の行列を変え→チェックシート化

分野	職種	レベル	人材特性	項目	指針
美容	美容師	8	知識と理解	ビューティ化ビジネスの諸領域と学際的交流を図ることが可能な各領域の知識	・医療 ・福祉・介護 ・IT ・その他関連領域
			汎用的な技能	美容分野、美容関連分野における有力な業界団体のリーダーと交流を図るための知識と理解 美容サロンの短期、中長期経営計画の立案を図るための知識	・経理 ・会計 ・法務 ・マーケティング
			専門実践技能	美容分野の最先端にある新しく複雑な抽象概念や課題を、批判的に分析・評価して、総合的に対応する技能。また、既存の概念や業務の高度化を図る技能 独創的かつ革新的な美容サービスの研究・創造 付加価値が高い美容サービスの開発・マネジメント技能 ビューティ化ビジネスの諸領域と他領域の学際的研究とその成果の実現	
			対人技能	組織的な研究活動の実現 美容分野、美容関連分野における有力な業界団体のリーダーとの交流	
			分析技能	研究・実務活動の質を高めるために、既存の手法/方法論を利用/選択/改善する、あるいは適切な新しい手法/方法論を開発 美容サロンの経営分析などにおいて、数値データや図表データの批判的評価	
			管理・指導技能	美容サロンの短期、中長期経営計画の立案 美容サロン経営の適切なPDCAサイクルの実践	
			自律性と責任感	組織的倫理対応のリーダーシップ 自分自身の仕事について、全面的に責任を負う責任感 必要に応じて、所属する組織の運営管理全般に対する説明の責任感 生涯学習に対する知見と、新しいアイデア、解決策、システムの開発・融合	
			倫理観とプロ意識	組織的倫理対応のリーダーシップ 倫理上、職業上の新たな課題を見出し、その複雑さや、美容分野における研究の進展や社会全体への影響の明確化 社会的、経済的発展に美容師の立場から貢献	



まとめ

- **学修成果指標の意味**
 - ・ 資格枠組とのレベルの一致性
 - どの分野でも同じレベル評価が可能
 - ・ 分野の具体性が明らかに
 - 適用可能性の増大
 - 美容サロン等で広められる
 - 美容サロンの差別化
 - ・ 指標化
 - スキルの棚卸（インベントリ）に有効
- **学修成果指標の応用**
 - ・ チェックシート化
 - スタッフの技術水準の目標に
 - 責任と自律性の水準の目標に

B2 ビューティビジネスの国際化

2021/10/31

 **ビューティビジネス学会**
第9回全国大会 
JABB JABB

ビューティビジネスの国際化
外国人美容師育成事業
国家戦略特別区域

六本木ヒルズ 7F
令和3年(2021年)10月31日(日)

学校法人 メイ・ウシヤマ学園
ハリウッド大学院大学
理事長・学長・教授 山中 祥弘

国家戦略特別区域外国人美容師育成事業

外国人美容師就労認める

養成施設卒業し資格取得などが要件

外国人美容師の就労を認めることにより、美容師の不足を補うとともに、美容師の国際化を促進する。国家戦略特別区域外国人美容師育成事業の養成施設卒業し資格取得などが要件。

外国人美容師の育成

(「国家戦略特別区域外国人美容師育成事業実施要領」
令和3年7月30日 内閣府・法務省・厚生労働省決定)

規制改革の内容

特例措置前

日本の美容師養成施設で修学する外国人留学生が、美容師免許を取得したとしても、日本で美容師として就労するための在留資格がない

特例措置

一定の要件の下、日本の美容師養成施設を卒業して美容師免許を取得した外国人留学生に対し、美容師として就労するための在留資格を最大5年間認める

効果

日本の美容製品の輸出による産業競争力の強化やブランド向上を含むクールジャパンの推進、インバウンド需要への対応

規制改革の概要

1

日本の美容師養成施設を卒業して美容師免許を取得後、一定の要件の下で、美容師としての就労が可能になる

2

最大5年間の就労で日本式の美容に関する知識と技能を修得

3

インバウンドの需要に対応

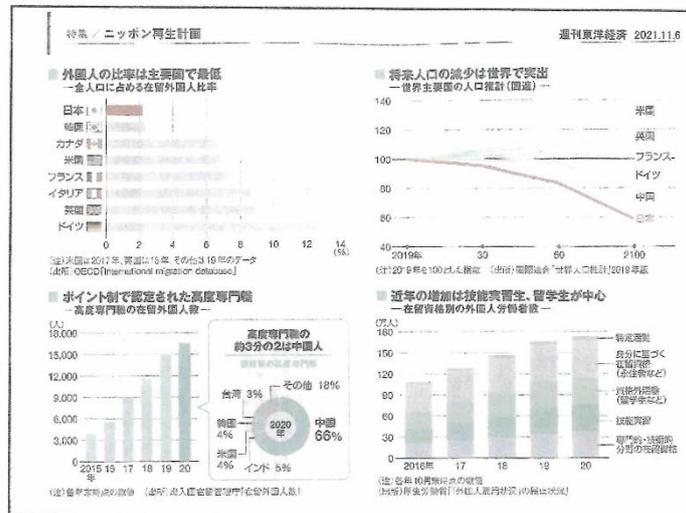
帰国

4

日本式の美容に関する知識・文化を世界に発信

5

日本の美容製品の輸出による産業競争力の強化



在日留学生の就労促進について

○国家戦略としての留学生の就労

1. 国際貢献 日本の先進的な専門職の知識・技能・態度を修得し、母国の経済社会の発展に指導者として貢献できる実践的な高度専門人材を養成する。

2. 国際交流 日本と海外とを運搬する人材(安全確保)
 ・ホームバウンド 日本文化(クールジャパン)を熟知し、海外に広める国際人の醸成
 ・インバウンド 日本の文化・観光・サービス・商品などを理解する親日家の増加

3. 海外展開 日本企業の海外展開への人材確保

・アウトバウンド 日本の企業等が海外展開(輸出・進出等)を円滑に推進するために必要な人材を育成する

4. 就労支障確保 国内就労者不足分に対する補充

(1) 人手不足(単純労働職種) 日本語教育機関卒業後の企業内職業訓練 技能実習生等
 (2) 人材不足(高度専門職種) 専門職教育機関卒業後の専門人材として就労 業務独占免許者等

4. 創業・M&A経営
 日本で修得した能力を活用し、投資経営し、将来、母国で事業展開



○美容技術等の海外普及人材の育成(内閣府)

我が国での美容に関する実践経験を積んだ人材が海外で活躍することを通じて、日本の美容製品の輸出による産業競争力の強化やブランド向上を含むクールジャパンの推進やインバウンド対応を図るため、日本の美容師免許を有する外国人人材を育成する特区制度の創設に向けて、令和2年度内を目途として所要の設置を講じる。

○専門学校卒業生の就労容認条件

1. 業務独占免許(国家試験・大臣免許)などの高度専門職資格を取得後、母国での就職・創業が可能となる実践能力を習得できる一定期間は就労を容認する。

2. 専門学校等で高度な専門職資格を修得した者がさらに母国で実践的な専門職指導者をめざすために、派遣する企業・団体などで就労し、実践力を養い、併せて関係業界・団体などの主催する研究会・研修会等に参加することを条件に就労を容認する

3. 外国人就労者の在留管理は東京都知事の権限監督の下で第一次管理責任者を雇用主(企業等)、第二次管理責任者を養成機関(学校等)とし、両者が連携し適正な管理をする。

専修学校による地域産業中核的人材養成事業
 国家戦略特区で就労を目指す外国人美容師育成プログラムの開発・実証事業

美容サロンアンケート調査 (国内 145 社中 47 社)

外国人美容師に対する期待感について

1. 後継者として迎えたい 9%
2. フランチャイズ展開の中核的存在として迎えたい 64%
3. 運営するサロンの海外進出の担い手として迎えたい 59%
4. インバウンド需要に応える戦力として迎えたい 79%
3. 日本に居住する外国人顧客のニーズに応える戦力として迎えたい 85%

外国人美容師に期待する人間力について

1. 対人能力
2. 分析能力
3. 管理・指導能力
4. 自覚性と責任感
5. 倫理観・プロ意識

日本に固有なことから関する知識等の教育について

1. 日本語日常会話
2. 美容日本語
3. 日本の美容文化
4. 日本の歴史・地理
5. 日本の生活文化
6. 日本の雇用制度
7. 日本の商習慣
8. 日本の接客マナー
9. 日本の課税制度
10. 日本の社会保障制度
11. 日本のトレンド ヘア・スタイル実習
12. 日本のトレンド メイク・ネイル実習

令和3年2月
 学校法人 メイ・ウシヤマ学園
 ハリウッド大学院大学・ハリウッド美容専門学校

留学の目的と進路

なぜ、多大な障壁を超えて、日本に留学したのか？

留学の目的



青雲の志
自己実現志向
BOYS, BE AMBITIOUS
人の尊さは志の高さによる
家族愛・郷土愛・祖国愛・人類愛
故郷へ錦を飾る
志を果たして、いつの日にか帰らん

留学生の進路

留学期間	卒業後の進路	就職・研社		創業・NISA	
		日本企業	外国企業	日本	外国
長期留学	大学院				
	大学				
	短大				
	専門学校				
短期留学	日本語学校				
	経営				
	技術				
	知識				
	見学				



ハリウッド大学院大学

ビューティビジネスの振興を先導する
中核企業の中核人材としての
創業・承継・再生の経営者育成をめざす
自己実現の場としての企業経営とは？

一流老舗企業・PRESIGE COMPANY

一流経営
FIRST CLASS MANAGEMENT



老舗経営
LONG LIFE MANAGEMENT





付加価値経営へ脱皮 付加価値を適正価格で表現（可視化）する



- ・ 価値 > 原価 < 価格 < 価値
りじゆん りえき りやく
- ・ 原価競争 → 価格競争 → 価値競争
- ・ 価格リターンシップ → 価値リターンシップ
- ・ $1 - 1 \times \text{ナバ} - 1 \times \text{レタ} = \text{アラト}$ 戦略
- ・ 経営理念を売るアラト経営

① 利潤・益日本書紀（754年） ② 利益りやく（仏）異音 ③ 利益りえき 漢音

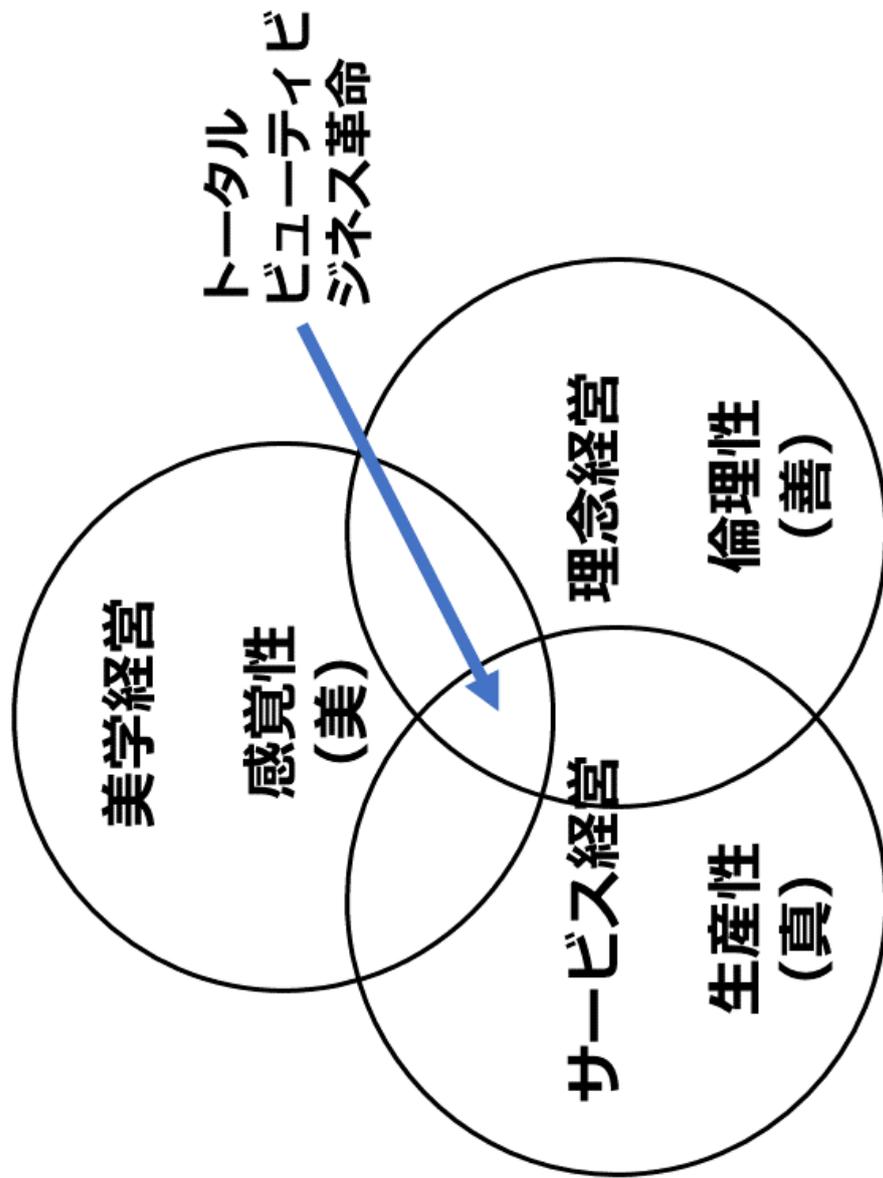


**ビュータイサロンの
ビジネスモデル・イノベーション
-トータルビュータイビジネス革命を目指して-**

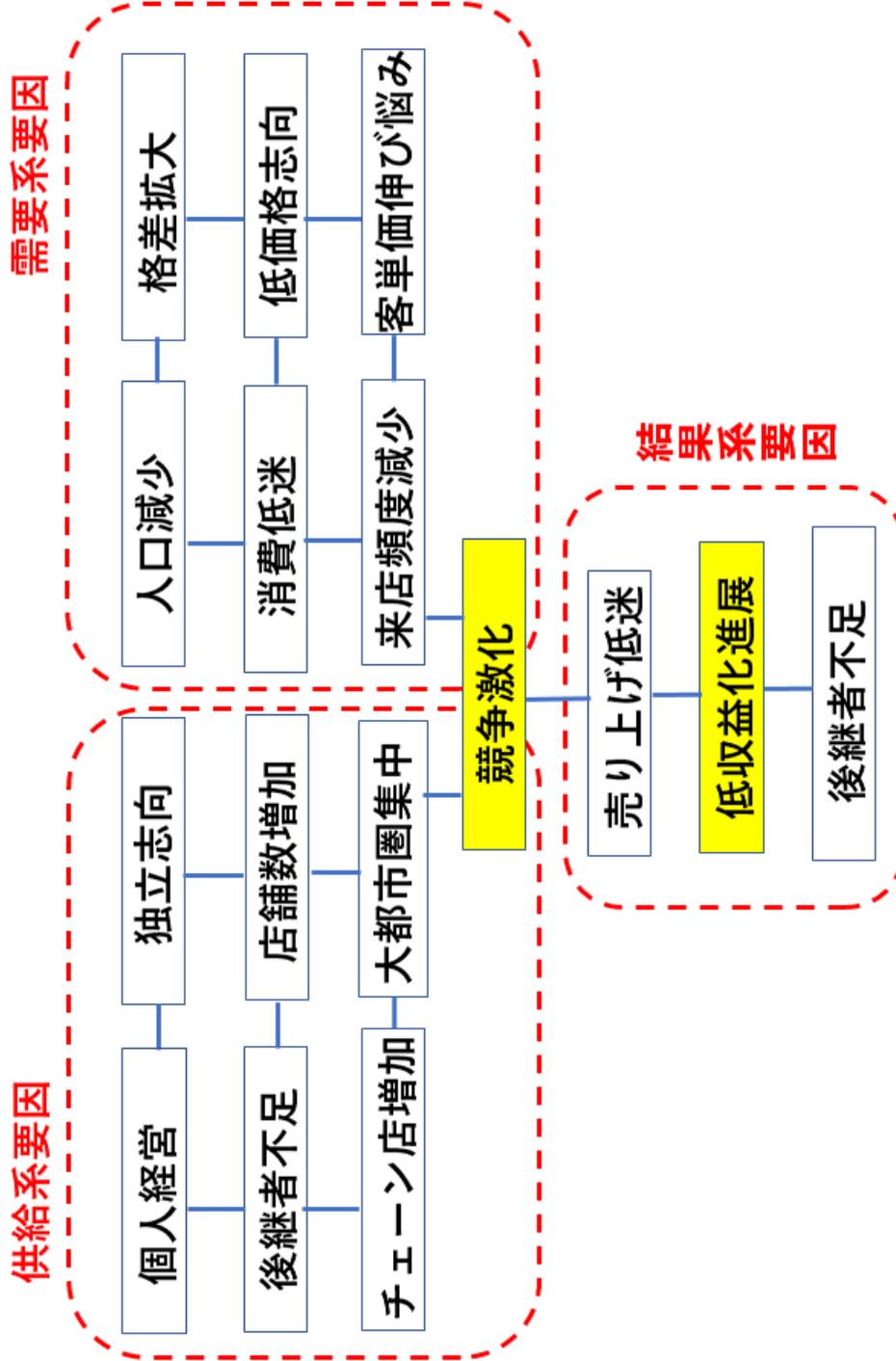
2021.10.30

**ハリウッド大学院大学副学長・教授
ビュータイビジネス学会会長
寺本 義也**

真善美の価値の総合としての
トータルビューティビジネス革命



ビューティサロンの低収益化の構造



ビュータイリストの就業環境



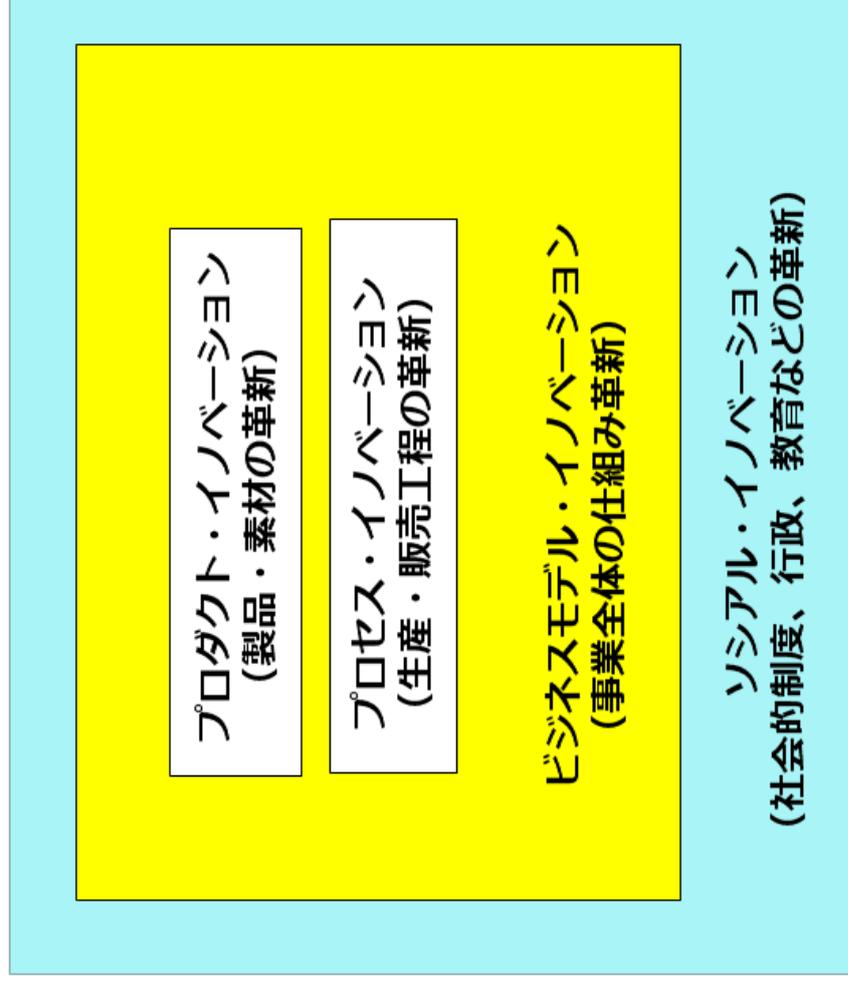
ビューティサロン高収益化のための 4つの経営課題

$$\text{総資本利益率} = \frac{\text{利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資産}} \quad (\text{総資産回転率})$$

1. 原価低減
2. 売価上昇
3. 資産圧縮
4. 業務加速

共通基盤：ビジネスモデルの革新

ビュータイサロンが挑戦すべき4つのイノベーション



4つの経営課題・経済原理・経営戦略

経営課題

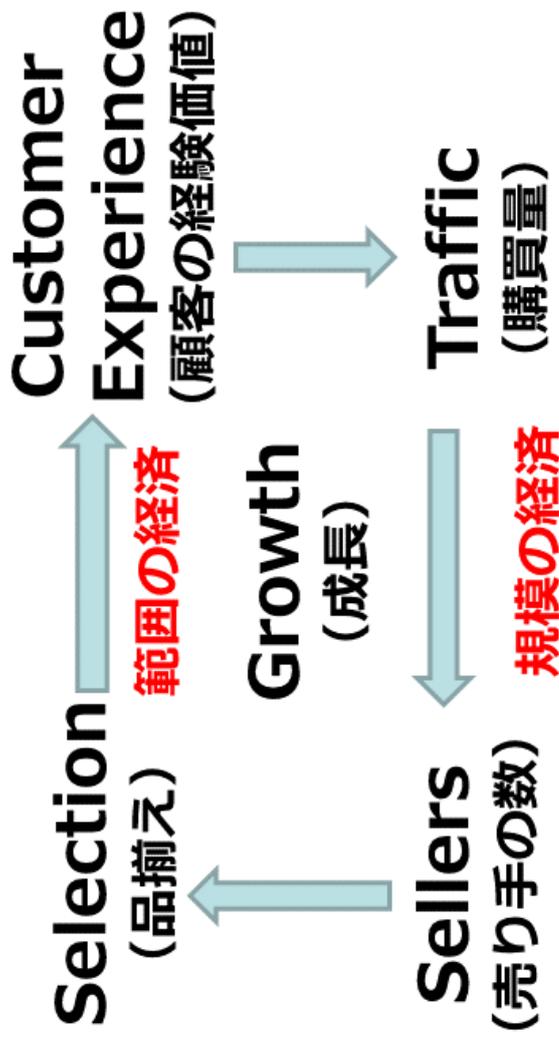
経済原理

経営戦略

- | | | |
|---------|-------|-----------------------|
| 1. 原価低減 | 規模の経済 | チェーン化 (FC) |
| 2. 売価上昇 | 範囲の経済 | トータルビュータイ化
サロンモール化 |
| 3. 資産圧縮 | 外部の経済 | FC化・業務委託化 |
| 4. 業務加速 | 速度の経済 | DX化 |

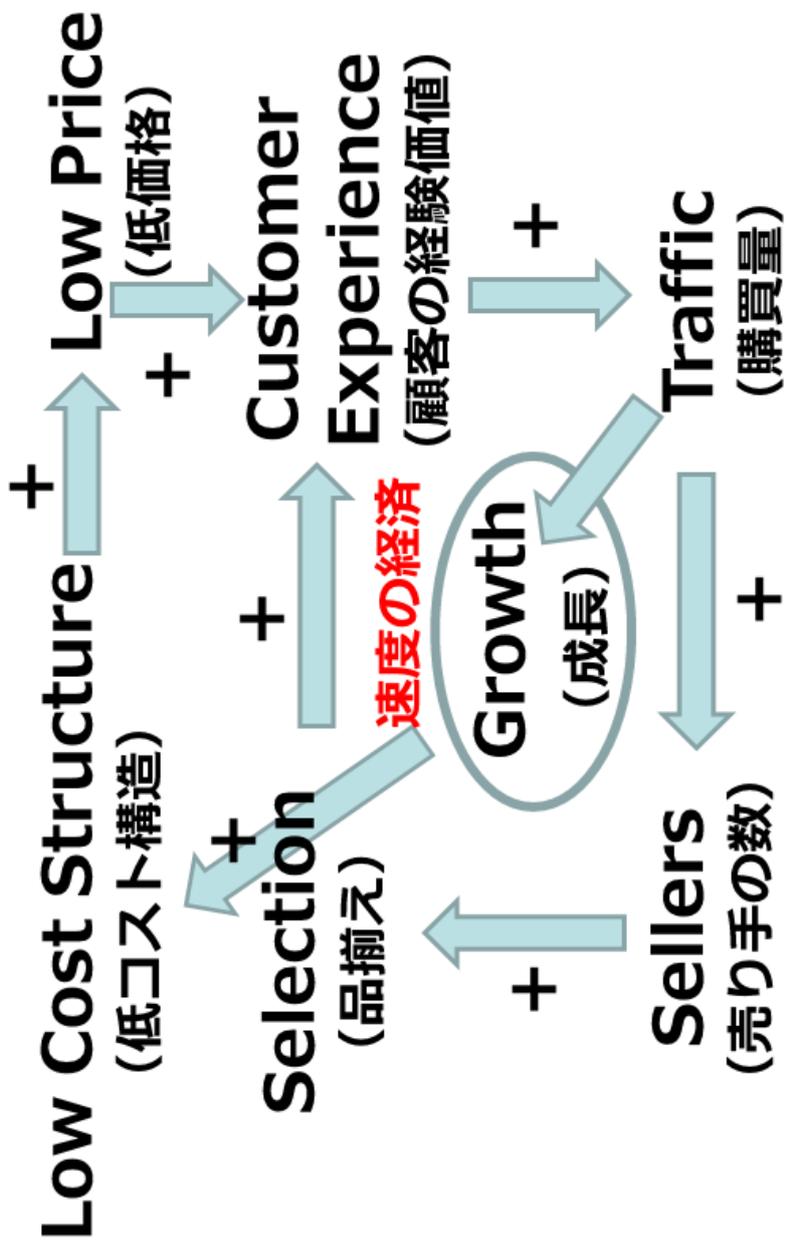
アマゾンのビジネスモデル (1)

ダブルハーベスト(売り手よし、買い手よし)

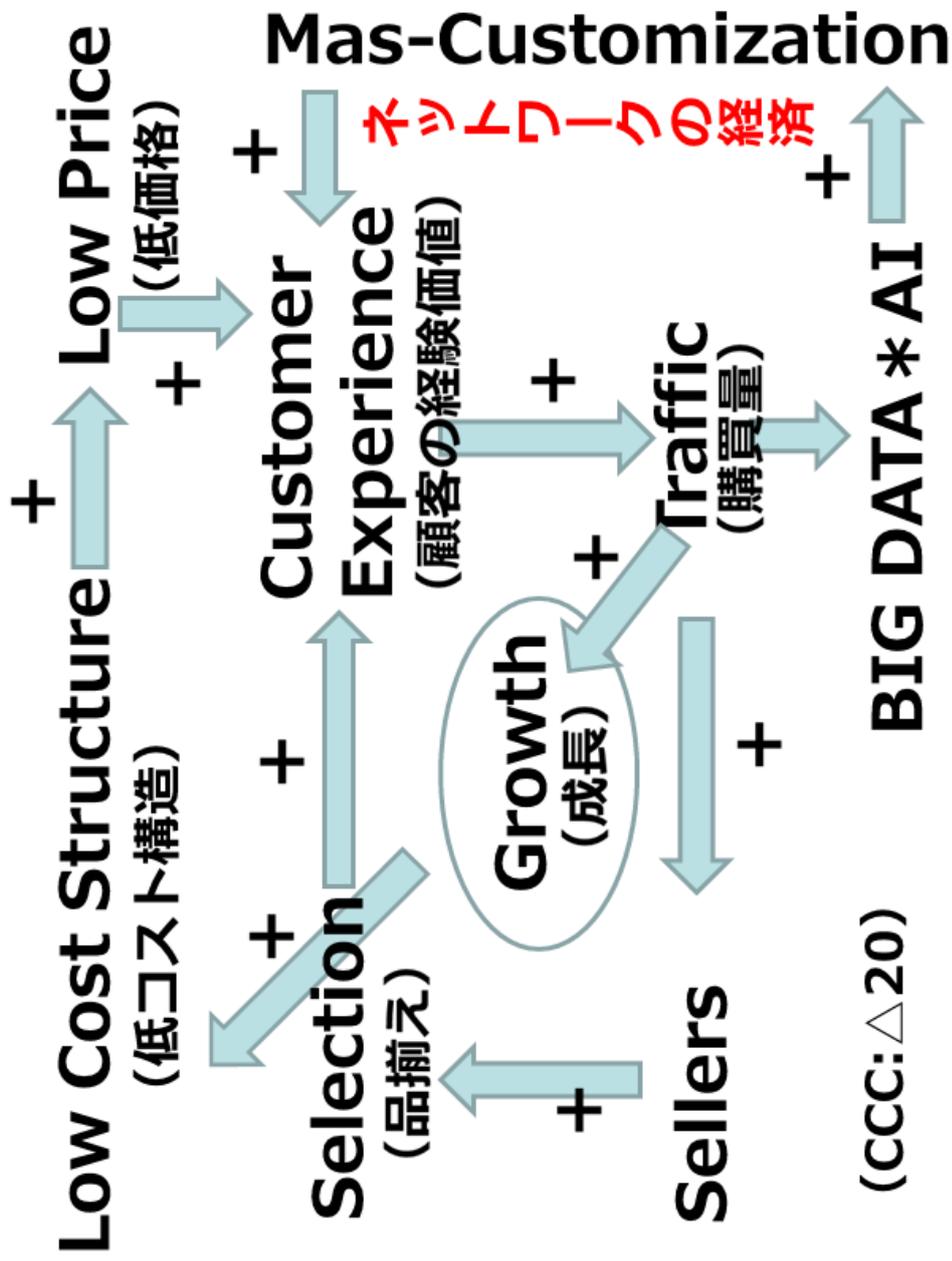


アマゾンCEO兼共同創業者のジェフ・ベゾスが、
同社を起業する際に紙ナプキンに書いた

アマゾンのビジネスモデル (2)



アマゾンのビジネスモデルの進化 (現在)



事例研究：AB&Company HAIR SALON **Agu.**

創業：2009.2(Alice hair salon:池袋)

会社設立：2018.3

フランチャイズ展開始動：2013.1

店舗数：300(2018.8) 529 (2020.10) 600 (2021.4)

来客者数：319万人 (2020.4~2021.3)

スタイリスト：2000人 (2019.11)

業績(2020.10期)

売上高：96.30億円

経常利益：9.12億円

純利益：5.84億円

NY店：2019.12

株式上場：2021.11.19

代表取締役：市瀬一浩 (1981年生まれ)

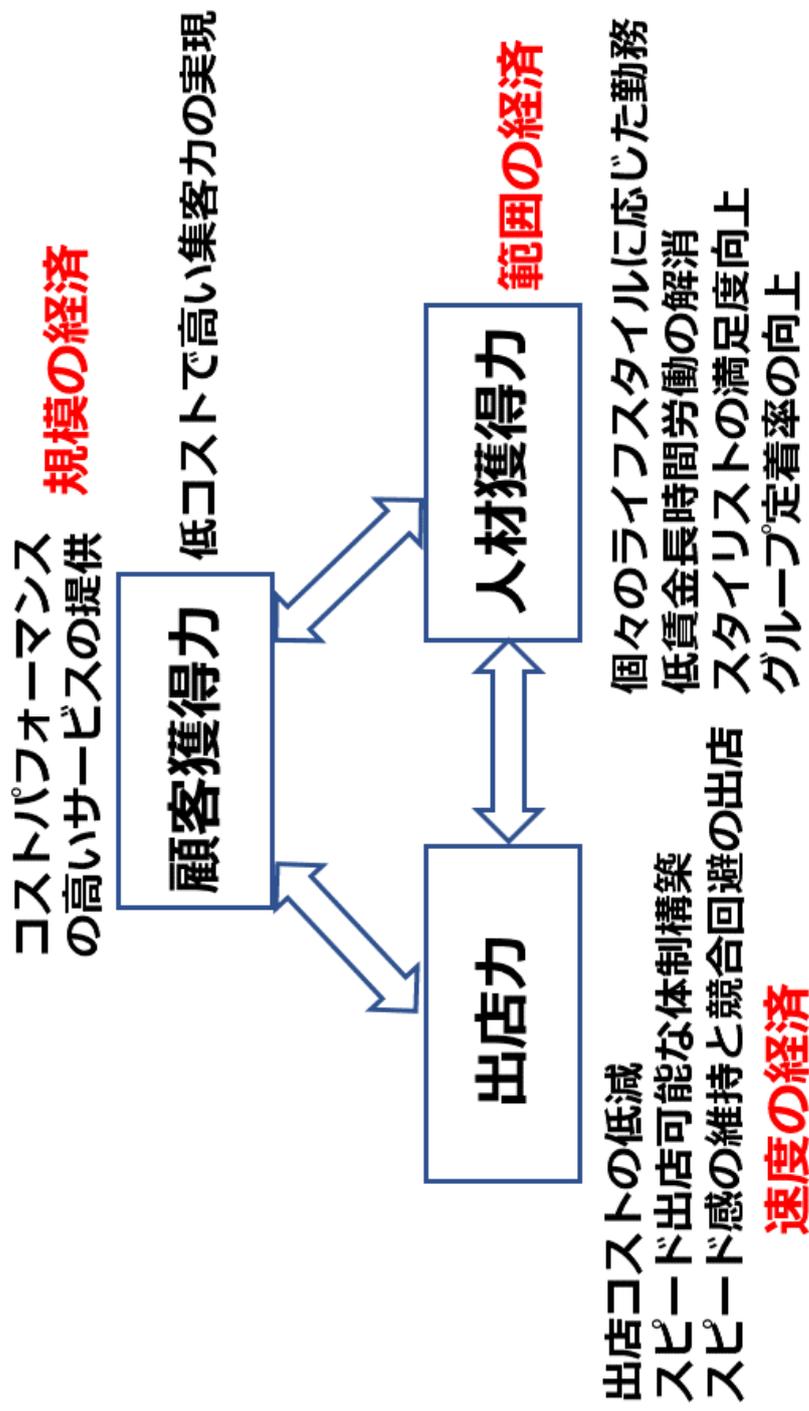
AB&Companyのビジネスモデル(1)

経営理念 “スタイリストファースト”

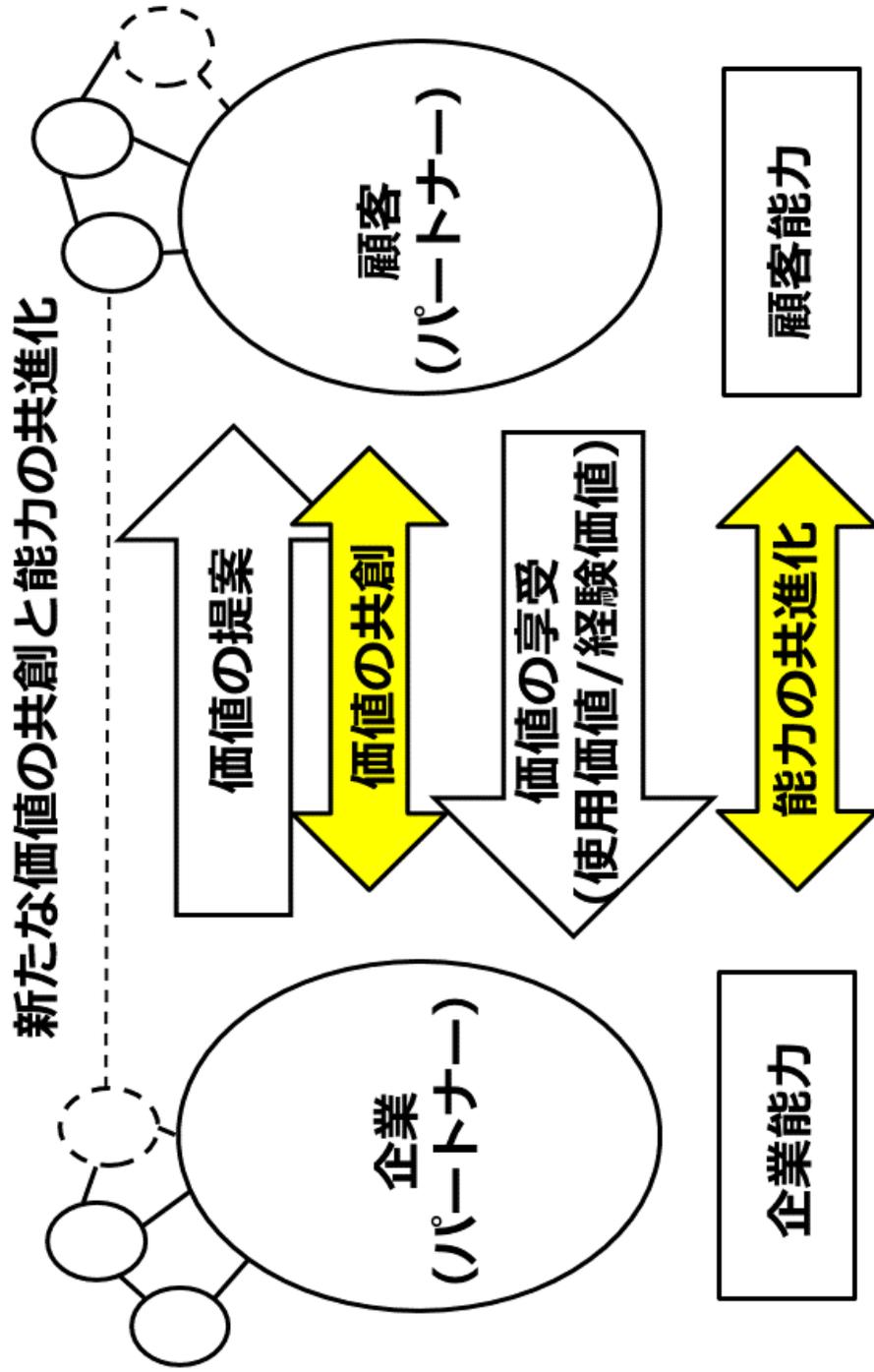
ビジネスモデルの3つの組織能力

1. 顧客獲得力
 - ・ スケールメリットを活かした材料費等の抑制
 - ・ ビルの空中階の活用・地方出店による地代家賃の抑制
 - ・ コストパフォーマンスの高いサービスの提供
 - ・ HOT PEPPER Beautyの効率的な運用ノウハウの蓄積
 - ・ 低コストで高い集客力の実現
2. 出店力
 - ・ M&Aによる内装業者のグループ化
 - ・ 出店コストの低減、スピード出店可能な体制構築
 - ・ 各エリアでシニアオーナーを選出し、必要に応じて出店調整可能
 - ・ スピード感を維持しつつ、競合を回避した出店が可能
3. 人材獲得力
 - ・ 多くのスタイリストが業務委託形態のため、個々のライフスタイルに応じた勤務が可能
 - ・ 多くの休眠美容師の現場復帰を支援
 - ・ 報酬が完全歩合で施術した分だけ報酬が得られる仕組み
 - ・ スタイリスト満足度向上、グループ定着率の向上

AB&Companyのビジネスモデル(2)



ビュータイビジネスにおける価値創造



新しい人間観の提唱

宇宙に存在するすべてのものは、つねに生成し、たえず発展する。万物は日に新たであり、生成発展は自然の理法である。

人間には、この宇宙の動きに順応しつつ万物を支配する力が、その本性として与えられている。人間は、たえず生成発展する宇宙に君臨し、宇宙にひそむ偉大な力を開発し、万物に与えられたそれぞれの本質を見出しながら、これを生かし活用することによって、物心一如の眞の繁栄を生み出すことができるのである。

かかる人間の特性は、自然の理法によって与えられた天命である。

この天命が与えられているために、人間は万物の王者となり、その支配者となる。すなわち人間は、この天命に基づいて善悪を判断し、是非を定め、いつさいのものの存在理由を明らかにする。そしてなにもものもかかる人間の判定を否定することはできない。まことに人間は崇高にして偉大な存在である。

このすぐれた特性を与えられた人間も、個々の現実の姿を見れば、必ずしも公正にして力強い存在とはいえない。人間はつねに繁栄を求めつつも往々にして貧困に陥り、平和を願いつつもいつしか争いに明け暮れ、幸福を得んとしてしばしば不幸におそわれてきている。

かかる人間の現実の姿こそ、みずから与えられた天命を悟らず、個々の利害得失や知恵才覚にとらわれて歩まんとする結果にはかならない。

すなわち、人間の偉大さは、個々の知恵、個々の力ではこれを十分に發揮することはできない。古今東西の先哲諸聖をはじめ幾多の人びとの知恵が、自由に、何のきまたげも受けずして高められつつ融合されていくとき、その時々の総和の知恵は衆知となって天命を生かすのである。まさに衆知こそ、自然の理法をひろく共同生活の上に具現せしめ、人間の天命を發揮させる最大の力である。

まことに人間は崇高にして偉大な存在である。お互いにこの人間の偉大さを悟り、その天命を自覚し、衆知を高めつつ生成発展の大業を営まなければならない。

長久なる人間の使命は、この天命を自覚実践することにある。この使命の意義を明らかにし、その達成を期せんがため、ここに新しい人間観を提唱するものである。

昭和四十七年五月

松下幸之助

松下幸之助年譜

年	年齢	事項
明治27 (1894)		11月27日、和歌山県海草郡和佐村千旦ノ木で松下政楠、とく枝の男3人、女5人の8人きょうだい末子として出生
32 (1899)	4	父・政楠が米相場に失敗、和歌山市内に移住
33 (1900)	5	次兄病没
34 (1901)	6	和歌山市雄（おの）尋常小学校入学 次姉、長兄相ついで病没
37 (1904)	9	雄尋常小学校を4年で中途退学、単身大阪に出る。大阪市南区（現中央区）八幡筋、宮田火鉢店に奉公
38 (1905)	10	大阪市東区（現中央区）船場堺筋淡路町、五代自転車商會に奉公
39 (1906)	11	四姉、三姉、父・政楠相つぎ病没
43 (1910)	15	五代自転車商會を辞め、桜セメント会社の臨時運搬工になる 大阪電燈（株）に内線見習工として入社
大正 2 (1913)	18	大阪市関西商工学校夜間部予科に入学 母・とく枝病没
3 (1914)	19	大阪市関西商工学校夜間部本科中退
4 (1915)	20	9月4日、井植むめの（19歳）と結婚
6 (1917)	22	大阪電燈（株）を退社、大阪市猪飼野でソケットの製造販売に着手
7 (1918)	23	3月7日、大阪市北区（現福島区）西野田大開町で松下電気器具製作所開設。 アタッチメントプラグ、二灯用差し込みプラグの製造販売を始める
8 (1919)	24	五姉病没
10 (1921)	26	長姉病没
11 (1922)	27	大阪市北区（現福島区）大開町に第1次本店・工場竣工
12 (1923)	28	砲弾型電池式自転車ランプを考案発売
昭和 2 (1927)	32	角型ランプにはじめて「ナショナル」の商標をつけて発売
4 (1929)	34	松下電器製作所と改称 綱領・信条を制定し、松下電器の基本方針を明示する 第2次本店・工場竣工 この年、世界的恐慌となったが半日勤務、生産半減、給与全額支給とし、従業員を解雇することなく不況を乗り切る
7 (1932)	37	宗教のもつ偉大さ、不思議さに感奮し、自らの経営の真の使命を悟る。5月5日を創業記念日に制定、第1回創業記念式典を挙行し、産業人の使命を闡明、この年を命知第1年とする
8 (1933)	38	事業部制を実施 朝会・夕会を実施 大阪府北河内郡門真村（現門真市）に第3次本店・工場竣工 松下電器の遵奉すべき五精神（のちに七精神となる）を制定
10 (1935)	40	松下電器製作所を株式会社組織とし、松下電器産業（株）を設立。従来の事業部制を分社制とし、9分社を設立
13 (1938)	43	高野山に物故従業員慰霊塔を竣工 紺綬褒章を受章

- | | | |
|------------|----|--|
| 15 (1940) | 45 | 第1回経営方針発表会を開催（以後、毎年開催） |
| 18 (1943) | 48 | 勲五等瑞宝章を受章 |
| 20 (1945) | 50 | 終戦。その翌日、幹部社員を集め、平和産業への復帰を通じて祖国の再建を呼びかける |
| 21 (1946) | 51 | 松下電器及び幸之助が、GHQから財閥家族の指定、公職追放の指定等7つの制限を受け、経営が苦境に陥る
11月3日、PHP研究所を創設、所長に就任 |
| 24 (1949) | 54 | 負債10億円となり、税金滞納王と報道される |
| 25 (1950) | 55 | 財閥家族の指定をはじめ諸制限の解除によって状況はようやく好転、経営も危機を脱する
PHP研究活動を中断（昭和36年再開） |
| 30 (1955) | 60 | 所得番付で初の日本一になる |
| 31 (1956) | 61 | 経営方針発表会で5カ年計画を発表
経済団体連合会常任理事に就任
藍綬褒章を受章 |
| 36 (1961) | 66 | 松下電器産業（株）社長を退き、会長に就任
和歌山市名誉市民となる
京都東山南禅寺畔真々庵にてPHP研究を再開 |
| 37 (1962) | 67 | 『タイム』誌のカバーストーリーで世界に紹介される |
| 39 (1964) | 69 | 熱海で全国販売会社代理店社長懇談会を開催。その後、営業本部長代行として経営の指揮にあたる
『ライフ』誌が「松下幸之助とその事業」について特集 |
| 40 (1965) | 70 | 週休2日制を実施
（財）国立京都国際会館理事長に就任
勲二等旭日重光章を受章
早稲田大学名誉法学博士の学位を受ける |
| 43 (1968) | 73 | 松下電器創業50周年記念式典を挙行
発明協会会長、霊山顕彰会初代会長に就任 |
| 45 (1970) | 75 | 勲一等瑞宝章を受章 |
| 46 (1971) | 76 | （財）飛鳥保存財団初代理事に就任
慶應義塾大学名誉博士の学位を受ける |
| 48 (1973) | 78 | 松下電器創業55周年。会長を退き、相談役に就任 |
| 50 (1975) | 80 | 同志社大学名誉文化博士の学位を受ける
神道大系編纂室設立に伴い会長に就任 |
| 54 (1979) | 84 | 和歌山県から名誉県民の称号を受ける
（財）松下政経塾を設立、理事長兼塾長に就任 |
| 56 (1981) | 86 | 勲一等旭日大綬章を受章 |
| 57 (1982) | 87 | （財）大阪21世紀協会会長に就任 |
| 58 (1983) | 88 | 新政策研究提言機構「世界を考える京都座会」（座長 松下幸之助）発足
（財）日本国際賞準備財団を設立、会長に就任 |
| 62 (1987) | 92 | 勲一等旭日桐花大綬章を受章 |
| 63 (1988) | 93 | （財）松下国際財団を設立、会長に就任
（財）松下幸之助花の万博記念財団を設立 |
| 平成元 (1989) | 94 | 4月27日午前10時6分、死去 |

C3 日本的経営論 ～経営の美学～

令和三年十一月二十六日

ハリウッド大学院大学

| 1

理想に生きる

理想とは何か

1. 定義 = 理想とは、人類がこの世に誕生した根源的実在を言う。それは肉体を超越して魂の進化に向かうことを促す働きを持つ。そういう清く美しいものを言う。
2. 理想は、人間が自分の人生と生命を捧げ尽くす目的と成り得るものである。 → 愛と犠牲的精神
3. 人間の生命は大きい目的を持つことによって、エネルギーの凝縮を行なうことが出来る。したがって、人生の目的は大きいほど人生は確実なものとなる。 → 到達不能の憧れ
4. 人間存在を考察した歴史的な哲学者に、ドイツのヘーゲルと日本の田辺元がいる。この二人は、人間存在を「類・種・個」の三要素に分けた。類は人類の存在理由、種はそれに反発して生まれた各民族の歴史、個はその歴史に反発する個人の存在（個性）を表わす。
このうち理想は類に含まれる。それを人生の一番最上段に据えることによって、次の種や個を乗り越えることが初めて可能となる。 → 相克エネルギーの苦悩を乗り越える。

5. 理想を構築するエネルギーには次のようなものがある。愛や信
や義そして自由や平等。また美や崇高ならびに高貴性である。
 これらの巨大エネルギーに身を捧げることによって、自分の生
 命が完全燃焼することが出来る。↳壁との戦い
 →理想がなければ生命の完全燃焼は出来ない。つまり現世に呑
 み込まれる。

理想を考え始めたいわれ

1. 小学生のときから『葉隠』が座右の書だった。その中に
 「同じ人間が、誰に劣り申すべきや」という言葉があった。
 これによって真の自負心を考え、高貴なものに憧れ、真の平
等というものを考えた。→平等の理想。
2. 中学生のとき、三島由紀夫の『美しい星』が肚に落ちた。
命よりも大切なもののために生きることの感覚を知った。
 「人間の肉体でそこに到達できなくても、どうしてそこへ到達
 できないはずがあるか」 → 魂の無限進化の理想。
3. 高校のときアーノルド・トインビーの講演を聞き、理想が人
 間と民族の精神を創り上げたことを知った。そして「理想を
失った民族は亡びる」という結論の言葉に衝撃を受けた。
 → 理想を立てることが、逆に人類の歴史を知ることだと考
 えた。歴史を背負うという理想。

理想に向かう覚悟

1. 理想に向かう生き方に自己の人生と生命を捧げる決意が必要である。命よりも大切なもののために生きそして死ぬ。
→それには自己の本当の生命の価値を信じなければ出来ない。外面的な損得や成功に流されない自己の確立が大切。
→理想に生きることによって、人間としての真の人生を創ることが確信できるようになる。そのためには歴史上の大人物についての読書が必要。それらと魂の交流をする。

2. 私は自分の生命と運命を信ずることによって理想のために人生を捧げる覚悟が出来た。→体当たりによって獲得する。
→自己を信ずるためには不幸や挫折そして他者の評価を一切恐れない自己が必要。
→社会の不合理を愛する心。自分の魂と生命を愛する心。
不断の読書によって信じるべき自己が徐々に確立する。

3. 大学生のときにT・S・エリオットの『荒地』に感動し、その中にあった中世スペインの神秘思想家・十字架の聖ヨハネ（サン・フアン・デ・ラ・クルス）の思想を自己の一生の信念として打ち立てた。
→それによって理想に向かう生き方が生まれ、71才の今日まで続いている。
→「お前の知らぬものに到達するために、
お前の知らぬ道を行かねばならぬ」

4. 理想は崇高なる真の夢を生む。現世のことは夢にはならない。
そして夢こそが、生涯に亘る「青春」をもたらしてくれる。
私はそれを倉田百三『愛と認識との出発』において学んだ。
→「夢見ることをやめたとき、その青春は終わるのである。」

理想が生み出す人生

1. 運命への愛 (amor fati: アモール・ファーティー) を得る。
- ・自己の人生を超越する理想に向かうことによって、人生のあらゆる矛盾や不合理そして苦悩を受け入れることが出来るようになる。→自己の運命を信じられるようになるのだ。
 - ・先ほど挙げたトインビーは「人生とは、運命の挑戦に対する応戦のことである」と言った。
 - ・運命への愛というものを得れば、善悪を超越して自己の人生のすべてに体当たりすることが出来るようになる。
 - ・体当たりの生き方が生み出した日本の代表的文化である「武士道」について、フランスの哲学者モーリス・バンゲはこの運命への愛こそが武士道を生み出したと言った。正に武士道の本質を言い当てて妙なるものと思う。
- つまり運命への愛は自己責任と独立自尊の人生を生み出す。

2. 現実的人間 (der wirkliche Mensch: デア・ヴィルクリッヒ
エ・メンシュ) になれる。

・二十世紀最大の神学者カール・バルトは、崇高な理想に向かう人間こそが、現世のあらゆる矛盾の中を生き抜く真の力を持つと言った。そしてそれを真の人間的意味における現実的人間と名付けたのだ。→ 現世を勝ち抜く人間。

・理想を打ち立て、自己の運命を愛する人間は、自己の生命の地上的展開の術が身について来る。

→中国の辛亥革命を成功させた孫文と黄興は何十回にも及ぶ挫折と失敗を乗り越えて、民主主義と民族自決の革命に成功した。→それを百折不撓と自ら呼んだ。理想が現実を従える力を持った。

→その心を支え続けたものこそが自由と正義だった。

死ぬほどに求め続けたその理想への思いが不断の持続力を生んだ。

・日本最大の文学者のひとり三島由紀夫は、先述した言葉に表わされた理想のために命を投げ打つ人生観によって、その巨大な芸術を創り上げていった。→理想が現実を創った。

・日本最大のクリーニング会社である「白洋舎」を築いた五十嵐健治は神の愛を地上に実現したいという理想によって、その現実的事業を打ち立てたのだ。つまり無限の人間成

長。理想による天職 → 『夕あり朝あり』三浦綾子

3. 魂の無限進化に生きることが出来るようになる。

- ・現代の物質文明を乗り越え、自分自身の本当の運命と生命に基づく真の成功、真の人生を手に入れることが出来る。
→人間社会の真実は、人間の魂にある。

- ・ロシアの哲学者ニコライ・ベルジャエフは『歴史の意味』において不合理と神秘をすべて抹殺しようとする現代文明を批判した。そして現代が人間から奪ったものが「翼」だと言ったのだ。その翼を与えてくれるものが理想なのだ。

「人間は翼を失った」

- 理性とヒューマニズムにがんじがらめにされ、現代人は人間が飛翔できることを忘れてしまった。
→その翼を復活するためには理想に向かうことが必要なのだ。

- ・翼によって、人間存在と歴史の持つすべての矛盾と不合理を乗り切り、魂の故郷（永遠性）へと向かうのだ。

それによって、自己固有の真の個性が芽生えて来る。

- ヘーゲル『哲学史』で、「民族の精神こそが、真の個性である」と言っていた。

- ・理想に向かい魂の進化に向かって生きる人間は、自分にとっ

ての命よりも大切なものが見えるようになる。だからこそ、そこに向かう自己の運命を愛することが出来るようになるのだ。

- ・理想に生きることによって見出された自己の魂の本当の願いこそが真の成功の人生を自分にもたらすことが出来る。

→この魂を得た者こそが、完全な生命燃焼を行なうことになるのだ。そして真の人類愛と愛国心そして縁ある人々への真の友情を得ることとなる。

- ・先述した倉田百三は『出家とその弟子』において、「自分の魂の本当の願いを殺すのが、一番深い罪なのだ」と言っていた。

- ・真の成功とは、自己の魂が生き切ることである。

→そのためには人生の最上段に、理想が据えられなければならないのである。

令和三年八月 執行草舟 記

C5 企業を永続的に発展させる理念経営



氏名 _____



講師紹介



アチーブメントグループ CEO

アチーブメント株式会社 代表取締役会長 兼 社長

青木 仁志

一般財団法人 日本プロスピーカー協会(JPSA)代表理事
一般財団法人 ウィリアムグラッサー記念財団 理事長
一般社団法人 日本ビジネス選択理論能力検定協会 会長
日本選択理論心理学会 副会長
一般社団法人日本CBMC 理事長
認定特定非営利活動法人 日本リアリティセラピー協会 理事
「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査員(2011年~2017年)
一般社団法人日本ベンクラブ 正会員
東京中央ロータリークラブ 会員
公益社団法人 経済同友会 会員
法政大学大学院 政策創造研究科 客員教授(2010年~2013年)
復旦大学 日本研究センター 客員研究員(2017年~)
一般社団法人パフォーマンス教育協会 理事(2019年4月~2022年3月)
東京商工会議所 教育・人材育成委員会 委員(2020年1月~2022年10月)
株式会社メディロム 人材教育最高顧問(2021年5月~2021年12月)

プロフィール

北海道函館市生まれ。若くしてプロセールスの世界で腕を磨き、トップセールスマン、トップマネジャーとして数々の賞を受賞。その後能力開発トレーニング会社を経て、1987年、32歳で選択理論心理学を基礎理論としたアチーブメント株式会社を設立。会社設立以来、延べ44万名以上の人財育成と、5,000名を超える中小企業経営者教育に従事している。

自ら講師を務めた公開講座『頂点への道』講座スタンダードコースは28年間で毎月連続700回開催達成。現在は、経営者向け『頂点への道』講座アチーブメントテクノロジーコース特別講座を担当する。

同社は、Great Place To Work® Institute Japanが主催する「働きがいのある会社」ランキングにて6年連続ベストカンパニーに選出(2016-2021年度、従業員100-999人部門)され、また、日経新聞による『就職希望企業ランキング』では、社員数300名以下の中小企業にて最高位(2014年卒対象 就職希望企業ランキング第93位)を獲得。2019年4月からは一般社団法人 日本経済団体連合会に加入。

著書は、30万部のベストセラーとなった「一生折れない自信の作り方」シリーズ、松下政経塾でも推薦図書となった『松下幸之助に学んだ「人が育つ会社」の作り方』(PHP研究所)、『志の力』など累計61冊。

■ **タイムライン**

<2021年12月10日>

第1部

13:00-14:30 企業を永続的に発展させる「理念経営」
—理念経営とは—

第2部

14:40-16:10 企業を永続的に発展させる「理念経営」
—採用・育成力と営業マーケティング力—

<2022年1月14日>

第3部

14:30-16:00 企業を永続的に発展させる「理念経営」
—戦略構築力、商品開発力、財務管理能力—

【第1部】企業を永続的に発展させる「理念経営」



MEMO

A series of horizontal dashed lines for taking notes.

■ 経営者が考えるべきこと

■ 経営の入口・出口戦略

入口＝起業、事業創造、事業承継

出口＝①自分の代で終わらせる

②社員から後継者を選び

オーナーとして支えながら承継する

③信頼のおける会社にバイアウト(M&A)をし承継する

④親族から後継者を選び

オーナーとして支えながら承継する

⑤IPOをすることで資本と経営を分離させ

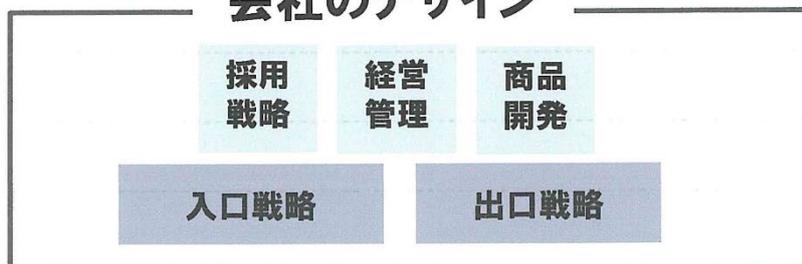
適正能力のある人材に経営を託す

判断軸となるのは
経営者個人の**ライフデザイン**

■ 個人のライフデザインの上に会社をデザインする

経営者個人のライフデザイン

会社のデザイン



■理念経営とは

■経営とは

経
営

… 意味:縦糸。縦線。
原則に従い縦に貫く

… 意味:いとなむ。仕事を切り盛りする
怠ることなく精一杯励む 参考:漢字源(学研)

人・モノ・金、限られた資源を効果的に活用し
価値を生み出すこと

■理念とは

理念

…物事の本来こうあるべきあるという根本となる考え方

■理念経営とは

■理念経営とは

理と利の統合

「道」と「経済」の融合

(理) 理念の理、真理の理、理想の理

(利) 利益の利、利潤の利、営利の利

目標に焦点を
あてた経営



商品偽装や燃費偽装など
「売れば良い」と考える
誤った経営につながっていく。

目的を軸に
据えた経営



理念を中心に据えて利益を
目指す経営であり、「理と利
の統合」を目指す経営。

【第1部】企業を永続的に発展させる「理念経営」



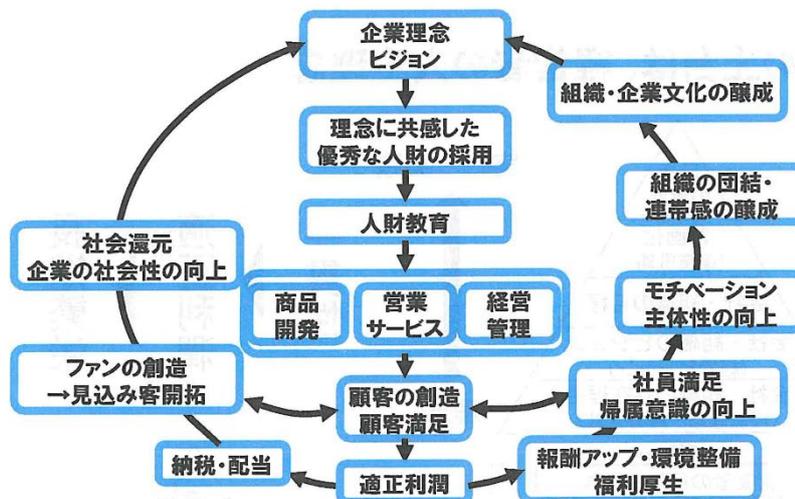
■理念経営とは

■経営の目的とは何か

×利益・利潤のため

○縁あるすべての人を
物心共に幸せにするため

■理念経営のループ図



【第1部】企業を永続的に発展させる「理念経営」

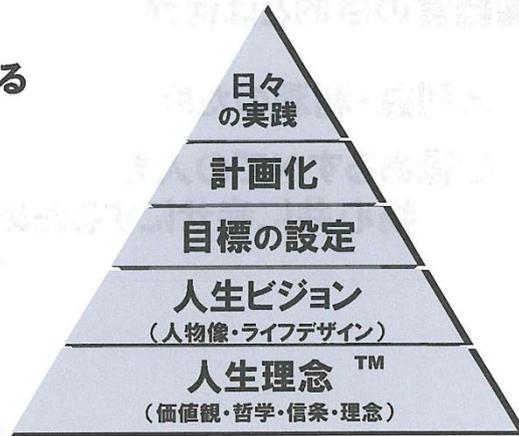


■ 経営者自身がライフデザインを明確にする

経営者の人生の目的が
企業の目的・存在理由になる

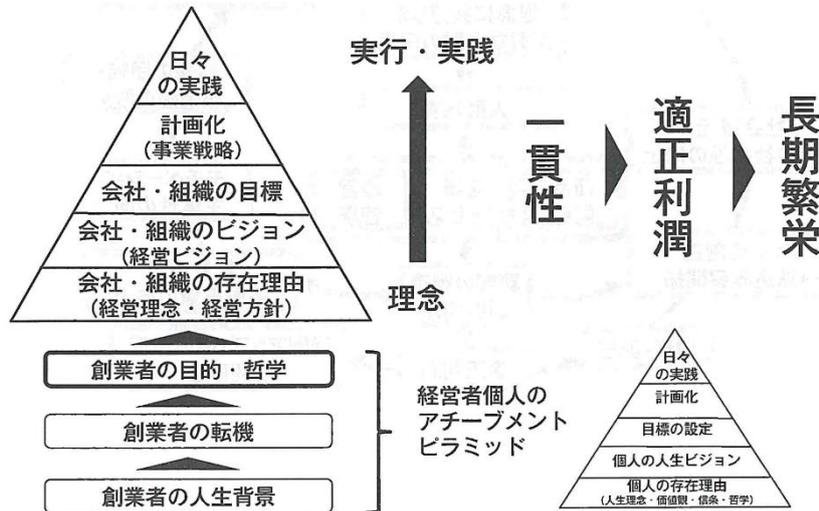
誰のために、
何のために、
なぜ、
私は
存在しているのか？

目的



アチーブメントピラミッド®

■ 経営の土台は、経営者の人生理念



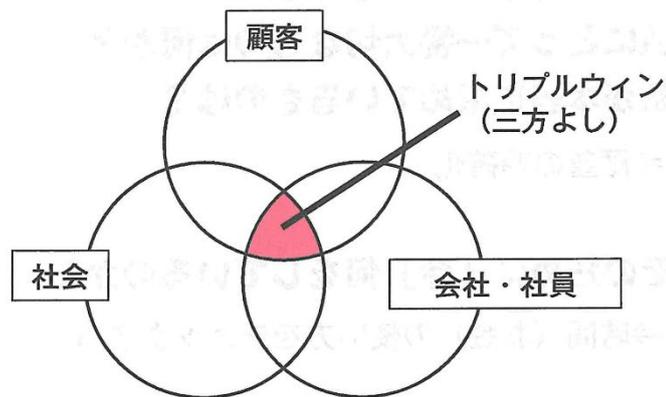
■ 経営者自身がライフデザインを明確にする

■ セルフカウンセリング

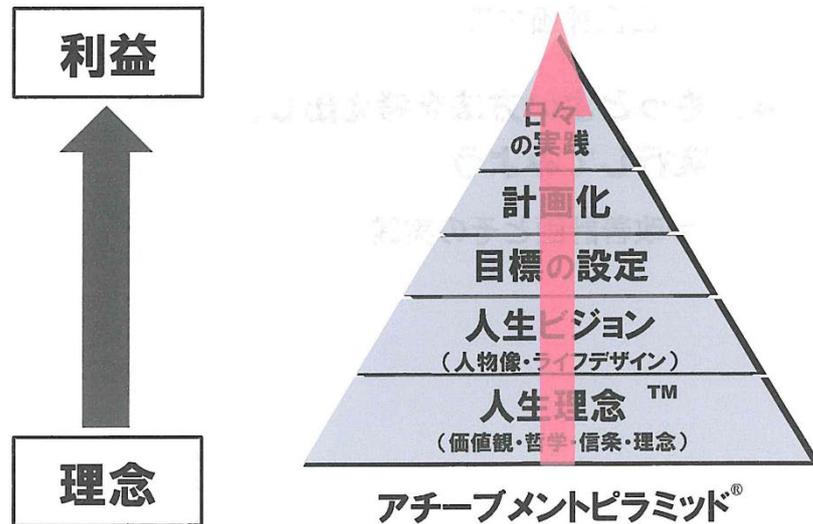
1. 私は何を求めているのか？
私にとって一番大切なものは何か？
私が本当に求めているものは？
⇒願望の明確化
2. そのために「今」何をしているのか？
⇒時間（お金）の使い方をチェックする
3. その行動は私の求めているものを
手に入れるのに効果的か？
⇒主観を絶対視せず、客観的に行動を
自己評価する
4. もっとよい方法を考え出し、
実行してみよう
⇒改善計画とその実践

■ 永続的に繁栄する企業の原則

■ 3方良しの企業理念をもつ



■ “理と利の統合”を目指す



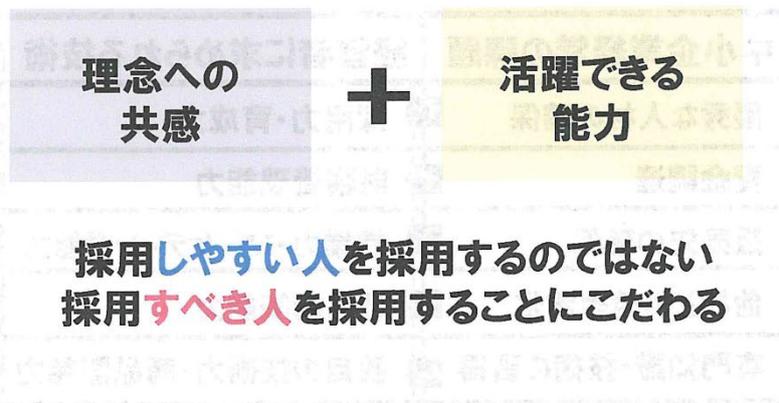
■ 経営者に求められる5つの技術

■ 経営者に求められる5つの技術

中小企業経営の課題	経営者に求められる技術
優秀な人材の確保	採用力・育成力
資金調達	財務管理能力
販売先の確保	営業力・マーケティング能力
他社との競争激化	戦略構築能力
専門知識・技術の習得	独自の技術力・商品開発力

■採用・育成功力

■徳と才を兼ね備えたAランク人材の採用



■経営者に求められる5つの技術

理想の会社像

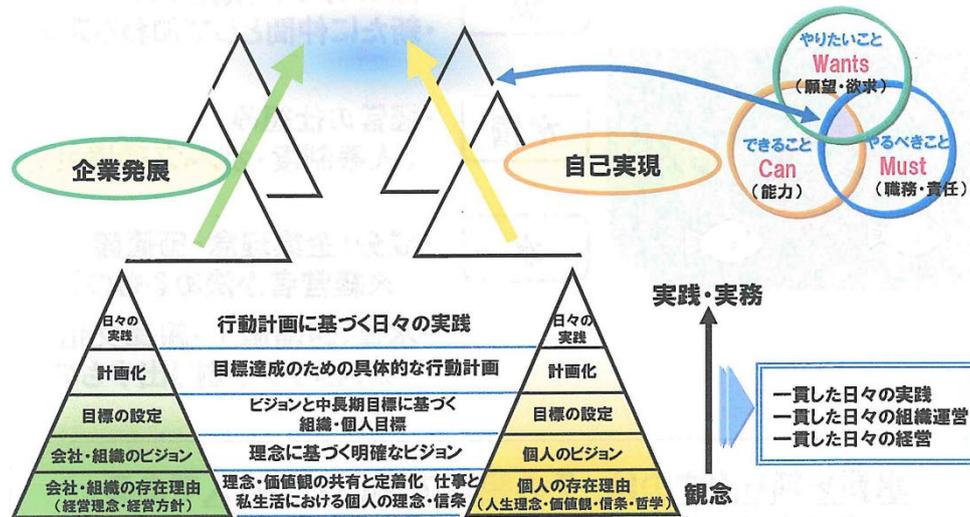
採用戦略	育成戦略
<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 何人採用するのか<input type="checkbox"/> どんな価値観を持った人か<input type="checkbox"/> どんな能力を持った人か<input type="checkbox"/> どの職種を募集するか<input type="checkbox"/> どんな要件で募集するかなど	<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 入社後に期待する成長<input type="checkbox"/> どの役職に何人必要なのか<input type="checkbox"/> 昇進昇格基準はなにか<input type="checkbox"/> 社内研修は何を行うのか<input type="checkbox"/> どのくらいの定着率なのかなど

【第2部】企業を永続的に発展させる「理念経営」



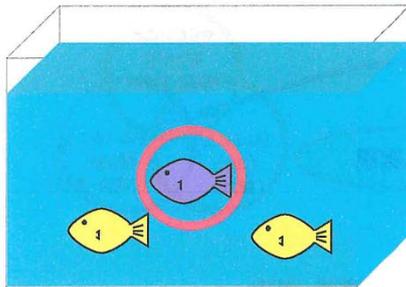
■採用・育成才

■企業と社員のピラミッドを一致させる



■採用・育成才

■企業と社員のピラミッドを一致させる



魚

- ・働くスタッフ(既存スタッフ)
- ・新たに仲間として加わるスタッフ

水槽

- ・経営の仕組み
(人事制度・オフィス環境etc)

水

- ・成分:企業理念・価値観
(※経営者が決めるもの)
- ・水質:組織風土・組織文化
(※スタッフが創り出すもの)

**水質を創り出すのは、その組織で働いている人である。
そのため、組織で働く一人ひとりの発言や態度が
組織風土や組織文化を創り出す。**

【第2部】企業を永続的に発展させる「理念経営」



採用・育成才

選択理論心理学とは

ウェスタン・リザーブ大学医学部で博士号取得。今までの精神医療とは違った、全く新しいアプローチ『現実療法』で広く世の中に影響を与え、精神医学の分野で「現実」と「願望」に焦点を当てたカウンセリングをはじめとした幅広い活動を続けていた。

グラッサーの提唱する選択理論はカウンセリングのみならず、学校運営にも広く適用され、「クオリティ・スクール」と称された選択理論の取り組みを行う学校は全米で250校を越える。また選択理論を地域社会に浸透させる試みがニューヨークの一地区で始められ、ピバリーヒルズでも同様の取り組みが開始されている。

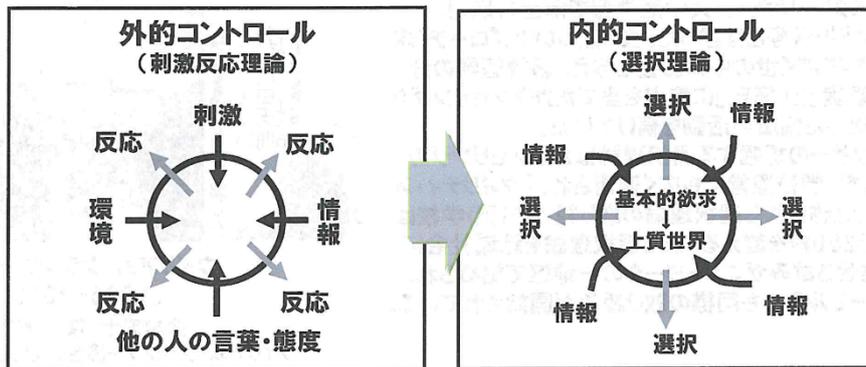


ウィリアム・グラッサー
(1925-2013)

医学博士 精神科医
ウィリアム・グラッサー協会理事長

■採用・育成功力

■人の行動のメカニズム



■良好な人間関係を実現する

人間関係破壊の原則

人間関係構築の原則

致命的な7つの習慣 外的コントロール理論	思いやりを示す7つの習慣 内的コントロール理論
<input type="checkbox"/> 1. 批判する <input type="checkbox"/> 2. 責める <input type="checkbox"/> 3. 文句を言う <input type="checkbox"/> 4. ガミガミ言う <input type="checkbox"/> 5. 脅す <input type="checkbox"/> 6. 罰する <input type="checkbox"/> 7. 自分の思い通りに しようとして褒美で釣る	<input type="checkbox"/> 1. 傾聴する <input type="checkbox"/> 2. 支援する <input type="checkbox"/> 3. 励ます <input type="checkbox"/> 4. 尊敬する <input type="checkbox"/> 5. 信頼する <input type="checkbox"/> 6. 受容する <input type="checkbox"/> 7. 意見の違いについて 常に交渉する

■採用・育成才

■人の行動を駆り立てるもの



欲求	特徴
生存の欲求	健康や身の安全、長生きの願い、病気をしたくないといった、身体に関する欲求。
愛・所属の欲求	家族、友人、会社などに所属し、愛し愛される人間関係を保ちたいという欲求。
力の欲求	何事かを成し遂げるにより、自分が価値あるものであることを確認したいという欲求。
自由の欲求	束縛から離れ、自立したいという欲求。多くの収入を得、経済的に豊かな人生を送りたいという欲求。
楽しみの欲求	義務感にとらわれることなく、自ら主体的に喜んで何かを行いたいという興味・関心・知的好奇心といったものに関する欲求。
上質世界 (願望)	自分の基本的欲求を満たすとされる人、物、状況、理想、価値観、哲学などが入っている記憶の世界。

【第2部】企業を永続的に発展させる「理念経営」



■採用・育成力

■社員が会社に求める5つの要素

生存の 欲求	将来の安定と保障 適度な休暇 衛生的で過ごしやすい職場環境
愛・所属 の欲求	欲求充足できる良質な人間関係 会社とのつながり
力の欲求	社会的地位と公平な評価 やりがいや充実感
自由の 欲求	高い報酬のとれる仕組み 裁量のある仕事 風とおしのよい風土
楽しみの 欲求	仕事とおした自己実現 学びや自己成長



■営業・マーケティング能力

■経営とは

$$\text{経営} = \text{単価} \times \text{数量} \times \text{利益率}$$

単価 低い

単価 高い



お客様は買いやすいが
利益は少ない

お客様を説得する努力が必要
利益は多い

■ブランディングとは

人の知覚に影響を与え、
価値があると認めてもらう活動

1万円でも高いものがあり
10万円でも安いものがある

■ 営業・マーケティング能力

■ 経営者がもつべき考え方

目に見えない価値を
目に見える経済に換える
健全な考え方をもつ必要がある



「価値と価値の交換」
提供した価値にふさわしい適正利潤をいただく

■ 営業マーケティング戦略 アchievementの例

BtoF戦略 (Business to Fun)

一回のセールスで、一生の協力者をつくる
満足したお客様が最大の協力者になる

■ 営業・マーケティング能力

■ 一回のセールスで、一生の協力者をつくる



一連のセールスプロセスを通じて、
感動（期待を超える満足）をつくり出し
お客様からご紹介（口コミ）をいただく。

■ 感動を売る

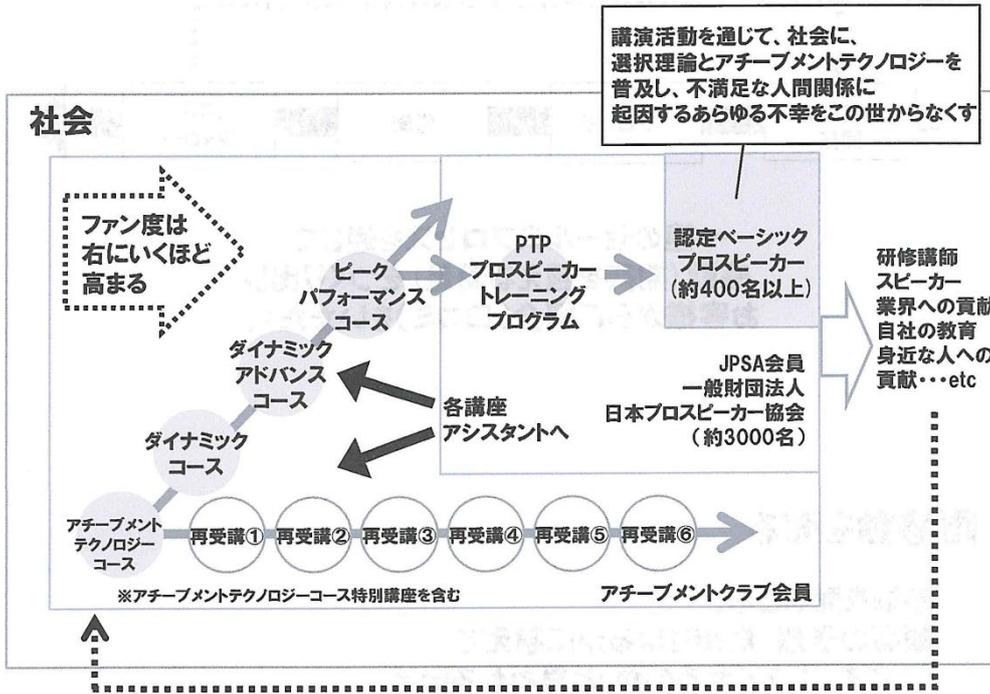
感動を売るとは、
顧客の予想・期待をはるかに超えて
「ここまでしてくれるのか」と思われるほど
尽くして、尽くして、尽くしきることである。
尽くすということは、私心をすてて、誠意・真心を
傾けるといことである。
そのときに、あなたの存在が相手から見ると、かけがえのない存在
に変わり、パワーパートナーに変わる。

【第2部】企業を永続的に発展させる「理念経営」



■ 営業・マーケティング能力

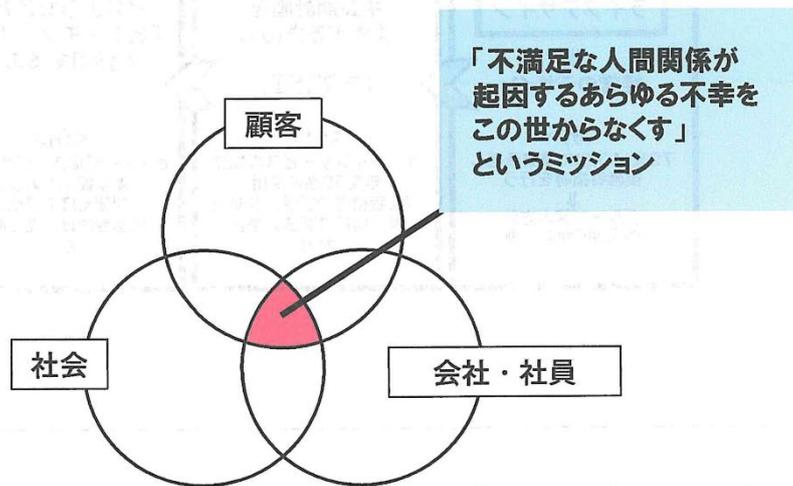
■ BtoFの仕組み アチーブメントの例



■ 営業・マーケティング能力

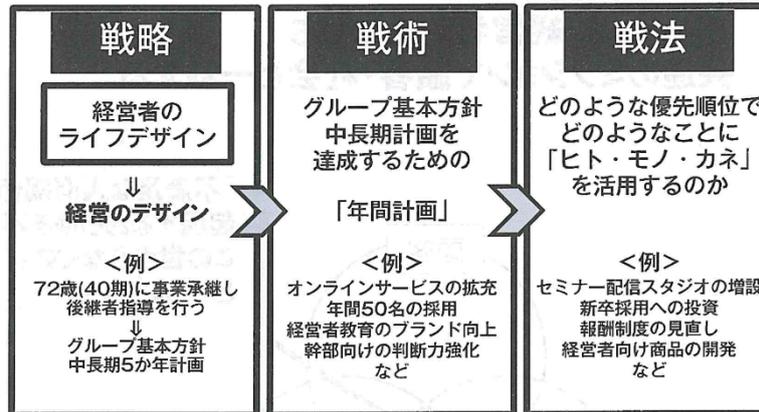
■ BtoF実現の必要条件

経営者が志をもち
共通のミッションで顧客・社会と一致する



■ 戦略構築力

■ 経営者が考えるべきこと



■ **戦略構築力**

■ **理念、目的から一貫した戦略を描く**

会社の未来を描くことは
経営者にしかできない

■ **永続的に繁栄する企業をつくる**

“今”打った布石が
5年後10年後に果実となる

▼
会社の未来を明確に描くことで
何に、どのような布石を打つかが決まる

■技術力・商品開発力

■商品・サービスが生まれる源泉

お客様の求めていることを
徹底的に追求する



商品・サービスのアイデアが
経営者の中から湧き上がってくる

■違いをつくり出す「差別化・区分化・専門化」

差別化 = 競合他社の商品と比較して
機能やサービス面において差異を設ける

区分化 = ある基準で分ける

専門化 = ある分野に専門特化させる

【第3部】企業を永続的に発展させる「理念経営」



■技術力・商品開発力

■差別化を図るために必要な力

独創的創造力

独創的創造力とは、完全にゼロからイチをつくる力である。

合成的創造力

合成的創造力とは、既にあるものを組み合わせて、新たなものを生み出す力である。



『頂点への道®』講座スタンダードコース

※毎月連続700回開催で終了

横綱千代の富士
「頂点への道」



デイトイマー手帳



青木の講師力



=『頂点への道®』講座スタンダードコース

■技術力・商品開発力

■差別化を図るために必要な力

3年6回の再受講割引制度 / 無料の担当コンサルタント制度



売りやすさ、売上だけを見れば

- ・会場動員数の最大まで新規受講生のみ
- ・3日間ではなく2日間

などをしたほうが良いかもしれない

しかし、効率ではなく効果性を追う
どうしたら本当に成果が出る研修になるか？

(お客様にとっての価値を最大化する)

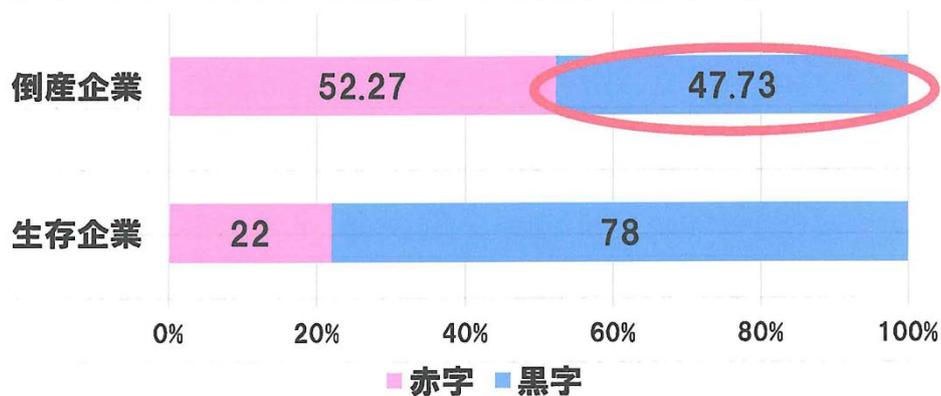
■ 財務管理能力

■ 財務戦略の要諦

最も大切なことは
身の丈を知ることである

「これくらいは入ってくるだろう」
という甘い考え方が
黒字倒産を引き起こす

■ 違いをつくり出す「差別化・区分化・専門化」



東京商工リサーチ「2018年倒産企業の財務データ分析調査」

キャッシュフローを回し続けることが
企業存続には必要不可欠である

■財務管理能力

■経営者自身が無から有を生み出す能力をもつ

稼ぎに追いつく貧乏なし

▼
経営者が
圧倒的な営業力が商品開発力で
稼ぐ必要がある

■効果的なお金の使い方

投資 … 投じた金額 < 得られる価値

消費 … 投じた金額 = 得られる価値

浪費 … 投じた金額 > 得られる価値

最も利回りが良いのは自分自身への投資
その次が社員への投資である

■ 企業を発展させる経営者とは

■ 経営者自身の成長が企業の発展になる

ヤドカリのごとく
経営者自らの成長に合わせて
会社を発展させる

企業は経営者の器以上に
発展することはない

未来のキャリアを切り拓く 『目標達成の技術』



講師：青木 仁志
アチーブメントグループ CEO

氏名 _____



講師紹介



アチーブメントグループ CEO
アチーブメント株式会社 代表取締役会長 兼 社長
青木 仁志

一般財団法人 日本プロスピーカー協会(JPSA)代表理事
一般財団法人 ウィリアムグラッサー記念財団 理事長
一般社団法人 日本ビジネス選択理論能力検定協会 会長
日本選択理論心理学会 副会長
一般社団法人日本CBMC 理事長
認定特定非営利活動法人 日本リアリティセラピー協会 理事
「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 審査員(2011年～2017年)
一般社団法人日本ベンクラブ 正会員
東京中央ロータリークラブ 会員
公益社団法人 経済同友会 会員
法政大学大学院 政策創造研究科 客員教授(2010年～2013年)
復旦大学 日本研究センター 客員研究員(2017年～)
一般社団法人パフォーマンス教育協会 理事(2019年4月～2022年3月)
東京商工会議所 教育・人材育成委員会 委員(2020年1月～2022年10月)
株式会社メディロム 人財教育最高顧問 (2021年5月～2021年12月)

プロフィール

北海道函館市生まれ。若くしてプロセールスの世界で腕を磨き、トップセールスマン、トップマネジャーとして数々の賞を受賞。その後能力開発トレーニング会社を経て、1987年、32歳で選択理論心理学を基礎理論としたアチーブメント株式会社を設立。会社設立以来、延べ44万名以上の人財育成と、5,000名を超える中小企業経営者教育に従事している。

自ら講師を務めた公開講座『頂点への道』講座スタンダードコースは28年間で毎月連続700回開催達成。現在は、経営者向け『頂点への道』講座アチーブメントテクノロジーコース特別講座を担当する。

同社は、Great Place To Work® Institute Japanが主催する「働きがいのある会社」ランキングにて6年連続ベストカンパニーに選出(2016～2021年度、従業員100～999人部門)され、また、日経新聞による『就職希望企業ランキング』では、社員数300名以下の中小企業にて最高位(2014年卒対象 就職希望企業ランキング第93位)を獲得。2019年4月からは一般社団法人 日本経済団体連合会に加入。

著書は、30万部のベストセラーとなった「一生折れない自信の作り方」シリーズ、松下政経塾でも推薦図書となった『松下幸之助に学んだ「人が育つ会社」の作り方』(PHP研究所)、『志の力』など累計61冊。

■キャリアとは

仕事の経験を積むという事だけではなく、
その仕事に取り組むプロセスの中で、
身につけていく技術・知識・経験に加えて、
人間性を磨いていくこと、
そしてプライベートも含めた
自分自身の生き方を磨いていく事

厚生労働省『キャリア形成を支援する労働市場政策研究会』報告書

■成功とは

■成功の5つの分野

1. 心身共に健康である状態
2. 愛に満たされた人生を生きている状態
3. 自己重要感を得ている状態
(職業における卓越)
4. 経済的な不安から解放されている状態
5. 人生を楽しんでいる状態

■5つの基本的欲求

■人の行動を駆り立てるもの



欲求	特徴
生存の欲求	健康や身の安全、長生きの願い、病気をしたくないといった、身体に関する欲求。
愛・所属の欲求	家族、友人、会社などに所属し、愛し愛される人間関係を保ちたいという欲求。
力の欲求	何事かを成し遂げることにより、自分が価値あるものであることを確認したいという欲求。
自由の欲求	束縛から離れ、自立したいという欲求。多くの収入を得、経済的に豊かな人生を送りたいという欲求。
楽しみの欲求	義務感にとらわれることなく、自ら主体的に喜んで何かを行いたいという興味・関心・知的好奇心といったものに関する欲求。
上質世界 (願望)	自分の基本的欲求を満たすとされる人、物、状況、理想、価値観、哲学などが入っている記憶の世界。

■ 選択理論心理学における幸せの定義

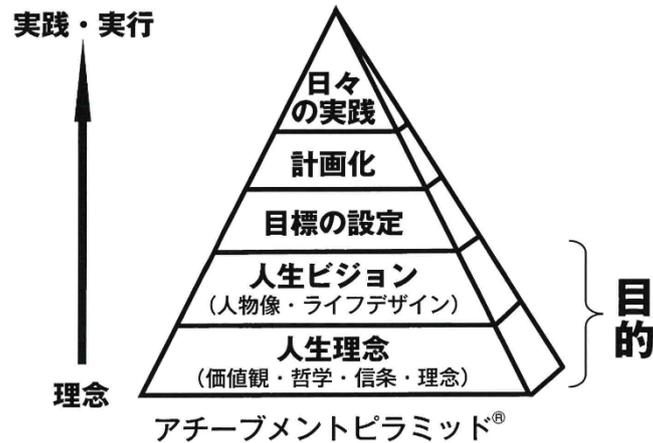
人の幸せとは、
5つの欲求が満たされている状態
のことである。

ロバート・ウォホルディング
米国ウィリアム・グラッサー協会 シニア・インストラクター
米国ゼービア大学教授 教育学博士

■セルフカウンセリング

1. 私は何を求めているのか？
私にとって一番大切なものは何か？
私が本当に求めているものは？
⇒願望の明確化
2. そのために「今」何をしているのか？
⇒時間（お金）の使い方をチェックする
3. その行動は私の求めているものを
手に入れるのに効果的か？
⇒主観を絶対視せず、客観的に行動を
自己評価する
4. もっとよい方法を考え出し、
実行してみよう
⇒改善計画とその実践

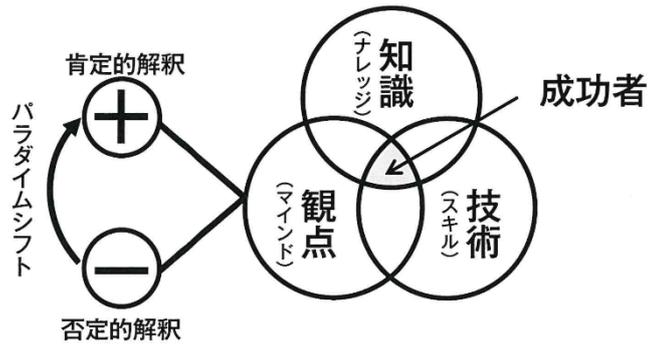
■アチーブメントピラミッド



- ① 人生の土台となる価値観をまず固める
(存在理由、最も大切にすべき価値観、哲学、信条、理念)
- ② その上に構築するビジョンや将来のあるべき姿を明確にする
- ③ 目的を遂げるための目標を設定する
(何をいつまでに実現するかを決める)
- ④ 目標を達成するための計画を立てる
(具体的な行動計画を立てる。目標達成の手順、方法、内容を決める)
- ⑤ 最終的に日々の実践に落とし込み、行動する
(目的、目標達成に役立つことを優先する)

■事実と解釈

■事実の一つ、解釈は無数



思考の中に未来がある。
(青木仁志)

専門職教育マネジメント(美容) 履修証明プログラム

受講の手引き

この文書は、本プログラムをオンライン受講するための具体的手順・方法・諸注意などをまとめたものです。
本プログラムの円滑な受講のためにご活用ください。

令和4年2月28日

ハリウッド大学院大学

一般社団法人専門職高等教育質保証機構

- オンライン学修環境
 - ・ 下図は、本プログラムの学修を進めるためのサイトのトップページです（未ログインの状況）。
<https://fdsd.qaphe.com/>
 - ・ このサイトは、Moodle（ムードル）という学習管理システム（LMS、Learning Management System）を使って構築されています。
 - ・ Moodleのトップページには、開講している授業（コース、科目等）やお知らせなどが表示されています。

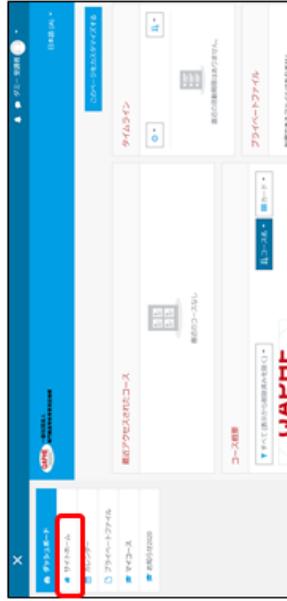


- ログイン
 - ・ すべての受講はログインから始まります。
 - ・ トップページ上の右上にある [ログイン] をクリックします。



- ・ 表示された [ログイン] 画面で次の操作を行います。
 - ✓ ① ユーザー名を入力
 - ✓ ② パスワードを入力
 - ✓ ③ [ログイン] ボタンをクリック
- ・ もしパスワードを忘れた場合は、「あなたのユーザー名またはパスワードを忘れましたか？」をクリックし、「ユーザー名」または「メールアドレス」を入力して [検索] ボタンをクリックし、その後表示されるメッセージに従って操作を行うと、パスワードリセット用のURLを記述したメールが届きます。そのメールに記載された内容に従って新しいパスワードを設定することができます。
- ・ そのメールアドレスに届くメールは必ず本人が開封するという前提の上に成り立つリセット方法です。

- Moodleのトップページ
 - ・ 初めてログインすると下図のように表示されます。何
度もログインすれば、「最近アクセスされたコース」
欄にいくつかのコース（科目のこと）を示す画像が表
示されますが（初めてのときは何も表示されません）。



- ・ この画面で、左上にある「サイトホーム」をクリック
すると、受講可能なコースの一覧が表示されます。



この一覧の中から
専門職教育マネジメント
(美容) 履修証明プログラム
を見つけてください。

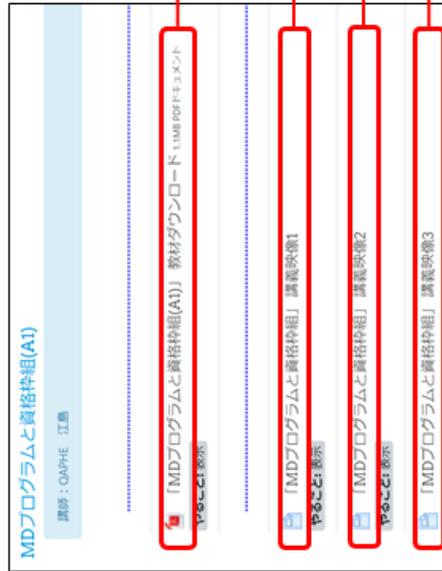
- ・ この画面でコース名やその下にある「ReadMore」ボ
タンをクリックすると、そのコース（科目）を受講で
きます。



- ※何か全員に伝えたいことがあれば、「コース受講者へのお知らせ」
へのお知らせ」にアップロードいたします。

画面構成

- 各コース（科目）の画面
 - ・ 先頭の科目「MDプログラムと資格枠組（A1）」をクリックすると、次のような画面になります。



MDプログラムと資格枠組(A1)

講師：QAPHE 江藤

「MDプログラムと資格枠組(A1)」教材ダウンロード 1,1MB PDF ファイメント

「MDプログラムと資格枠組」講義映像1

「MDプログラムと資格枠組」講義映像2

「MDプログラムと資格枠組」講義映像3

- ここをクリックすると、教材をダウンロードできます（PDFをブラウザ上に表示。必要に応じてその状態からダウンロードしてください）。

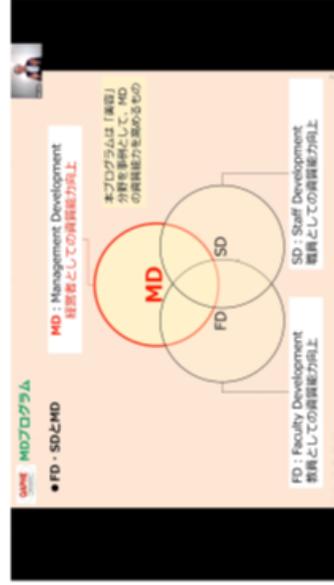
- 映像はすべてYouTube上にあります。ここをクリックすると、YouTubeのその動画が表示されます。



MDプログラムと資格枠組

ハリウッド大学院大学
2022年2月

資料の事例



MDプログラム

MD : Management Development
経営者としての資力向上

FD : Faculty Development
教員としての資力向上

SD : Staff Development
職員としての資力向上

本プログラムは「管理」分野を事例として、MDの資力向上を目的とする。

映像の事例

● 標準的な学修の流れ (科目ごと)

学修目標を理
解する

オンデマンド
授業を受け、
理解を深める

修得レポート
課題に取り組
んで、課題を
提出

● 補足説明

・ オンラインスクーリングの案内について (実施する科目の場合)

- ✓ 前々日になったら下記のようにリンクを表示します。



- ✓ このリンクをクリックすると、ZoomのURL、ミーティングID、パスワードなど、オンライン授業に参加するために必要な情報を表示したページに遷移いたします。

・ 修得レポート課題について

- ✓ 3月1日以降、順番に下図のようなリンクを表示します。



- ✓ これをクリックして操作を進めると、
 - ・ 問いかげの内容 (課題)
 - ・ 解答欄
 が表示されます。



- ✓ 原則的に、文字による解答のみを求めています。そうではない場合は別途指示いたします。字数については、問いかげの内容に従ってください。何も指示がない場合は、1,000字程度～1,200字程度を目安にしてください (原稿用紙2～3枚、ワープロソフトA4サイズで1ページ分程度)

・ お問い合わせ・質問等について

- ✓ 各ページの下に記述した「お問合せ」に従って、メール、電話、FAX等の手段でお願いたします。

お問合せがある場合下記のいずれかの手段でお願いたします。

- ・ フォームから
当機構のホームページの問合せフォームからお寄せください。
<https://qaphe.com/contact/>
- ・ メール
jimukyoku@qaphe.com までメールしてください。
- ・ お電話
03-3403-3432 (土・日・月・祝祭日除く 10:30～16:30)
- ・ FAX
03-6734-0541

令和3年度文部科学省

職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進

(2) 教職員の資質能力向上の推進 ② 教職員研修プログラムの構築

体系的な教職員研修プログラムの実用化に向けた改善・普及・展開

事業成果報告書

発行日 令和4年3月

発行者 一般社団法人専門職高等教育質保証機構

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-33 六本木ヒルズノースタワーアネックス 3F

■禁無断転載■